

左右ニ廣ク且ツ深ク糸ヲ結膜ニ通シテ創口ヲ構ニ縫合ス
手術ヲ施シタル反對方側ニ(ガーゼ)ヲ置キ固定筋帶ヲ施ス
后方ニ退去シタル睫ヲ糸ニテ再ヒ前方ニ轉セシム

(二)内直筋作用不全症 潜伏性外斜視

本症ハ内直筋外直筋ニ掣セラレテ筋ノ麻痺ニ等シキ症狀ヲ呈スル内直筋疲勞症
之レナリ

原因 近視眼ニ尤モ多シ之レ近視ニアリテハ著シク輻輳運動ヲ要シ且ツ楕圓形ニ
ノ亞爾波角ハ小ナル爲メニ之レヲ營ムニハ自然困難ナルカ故ニ内直筋疲勞スル
ニ由ルナラン而シテ近視ハ盡ク然リト云フニアラス且ツ又正視或ハ遠視モ亦之レ
ニ罹ルヲアルヲ以テ見レハ恐クハ内外直筋ノ筋力初メヨリ不等ナルニ由ルナラ
シ(グレイブエ氏)ハ眼病百人中一人ノ比例ナリト云フ又我カ日本ニハ甚タ多シト
云フ

症候 本症ノ特徴ハ久シク近業ニ就ク能ハサルニアリ例ハ書見ニ際シテ初メハ何
等ノ苦痛ナク文字ヲ讀ミ得ルト雖ヒ暫時ニシテ文行ノ移動スルカ如ク重複混乱シ

テ(キヲ)トシ眼邊壓重疼痛ノ感アリ遂ニ課業ヲ廢止セサルヲ得サルニ至ル眼
ヲ閉シ暫ク休止スレハ前症頓ニ去ル再ヒスレハ再ヒ起リ到底久シク業ニ耐ユル
能ハス之レヲ名テ眼精疲勞ト云フ

診斷 患者ニ自ラ指頭ヲ四十仙計ニ於テ着視セシメ漸次目ニ近接スレハ初メハ兩
眼共ニ輻輳スレヒ内直筋作用不全ナル目ハ遂ニ輻輳機ヲ廢止スルニ至ル
其不全ノ度ヲ定ムルニハ左ノ法ニ據ル可シ

抑々健眼ニアリテハ三稜鏡ノ基底ヲ外方ニ向ケ裝置スルニ十三度||卅度迄テハ
複視ヲ避ケ又内方ニ置クハ六度乃至八度迄テハ複視ヲ避ケ得ルナリ甲ハ内直
筋乙ハ外直筋ノ力ヲ示スモノナリ

(二)愛ニ於テ内外直筋ノ比較の力ヲ定ムヘシ即チ患者ヲ拾フリスノ距離ニ於テ燭
火ヲ固視セシメ其基底ヲ外方ニ向ケ複視ヲ單視シ得ル三稜鏡ノ度ハ内直筋ノ力
ヲ示ス内方ニ置クハ外直筋ノ力ヲ示スモノナリ由テ前述生理的力ニ比較スレ
ハ筋力ノ減少ヲ知ルヲ得ルナリ 第一百十八圖ノ如シ

(二)今一眼ニ基底ヲ下方ニ置キ拾度計リノ三稜鏡ヲ裝シ白紙ノ中央ニ黒点ヲ有ス

ル一直線ヲ畫キ大凡四拾仙ノ處ニ置キ兩眼ヲ以テ視ルルキハ兩眼健全ナレハ複像ハ鉛直線中ノ上位ニアルコト第百十九圖ノ如シ若シ之レニ反シテ内直筋作用不全ナルルキハ複像ハ鉛直線中ニアラズシテ側方ニアリテ交叉性ニ來ス爰ニ於テ更ニ他眼ニ基底ヲ内方ニ向テ裝置シ複像ヲ上下直線中ニ來ルヲ度トス其之レニ要スル三稜鏡ノ度若シ拾度ナレハ偏限内直筋作用不全ノ度ハ即チ拾度ナリ第百廿圖ノ如シ之レヲ(クレフエー氏)ノ平衡試驗ト云フ

右二法共ニ確實ヲ告クルコト難キモノナリト云フト雖ヒ先ツ前二法ニ據ルテ法則トス療法作用不全ノ度六度以下ナレハ三稜鏡ヲ以テ矯正ス若シ之レヨリ以上ナレハ分色スル弊アルコト由リ不可ナリ然ルルキハ半折シテ兩眼ニ分配ス強度ノモノニハ外直筋ノ后轉法ヲ施スベシ之レヲ施スニ二三ノ注意アリト雖ヒ爰ニ畧ス

第廿一章 眼窩諸病

(一) 眼窩蜂巣織炎

- (二) 眼窩骨膜炎
- (三) テノン氏嚢炎
- (四) 眼靜脈血栓
- (五) 眼窩内腫瘍

右等ノ疾病アリト雖ヒ敢テ貴重ノ疾病ニアラス由テ只其名稱ヲ記スノミ

(六) パセトウ氏病

本病ハ元來内科ニ屬スヘキ疾病ナリト雖ヒ其主症候タル二三ノ徵候アルニ由リ眼科ノ症候的疾科トシテ論ス

症候眼科トシテ論スヘキ症候ニ參アリ曰ク眼球突出曰ク(クレフエー氏及ヒ(ステルツグ)氏症候之レナリ一般症候ノ必要ナルモノハ眼球突出、心悸亢進、腺肥大之レナリ

(一) 眼球突出ハ兩眼ニ來タルモノ多シ其突出強キルハ眼瞼ヲ閉鎖スルコト能ハス故ニ角膜潰瘍ニ陥リテ失明スルコトアリ時トシテ突出缺如スルコトアリ或ハ一眼ニ止マ

ルヲアリ然レモ如此キハ希ナリ

(二)グレイフェ氏症候トハ眼ヲ下方ニ轉スルニ當リ上眼瞼ハ眼球ト共ニ下垂セサルヲ云フ之レ(ミユルレル)氏筋ノ痙攣ニ由ルナリ該筋ハ平滑筋ニシテ眼瞼舉筋ノ下に在リテ軟骨上縁ニ附着シ其作用ヲ助ク

(三)ステルワグ氏症候ハ眼瞼ノ瞬動(マタキ)希レナルヲ云フ之レカ爲メ眼球ハ乾燥シ易シ

原因ハ婦人ニ多シ殊ニ生殖器病、春季發動期、産后ニ尤モ發シ易シ又精神的煩悶、苦慮、激動等其誘因トナル男子ハ時トシテ神經質ノ人ニ發スルヲアリ

療法ハ營養療法ヲ專一トシ規那劑、鉄劑、ホルレル水等ヲ與ヘ其他實多利私臭糾等臨期ノ所置ヲナン平流電氣ヲ頸部ニ通スルキハ間々効ヲ奏スルヲアリ

眼球ニ對シテノ所置ハ只角膜病ヲ防ク爲メ之レヲ被覆シ或ハ瞼裂ヲ縫合スルヲアリ

眼科學講義終

緒方病院院長醫學士 緒方收二郎
大阪慈惠病院醫學校顧問
宮内眼病院長
大阪慈惠病院醫學校講師 宮内重志講義

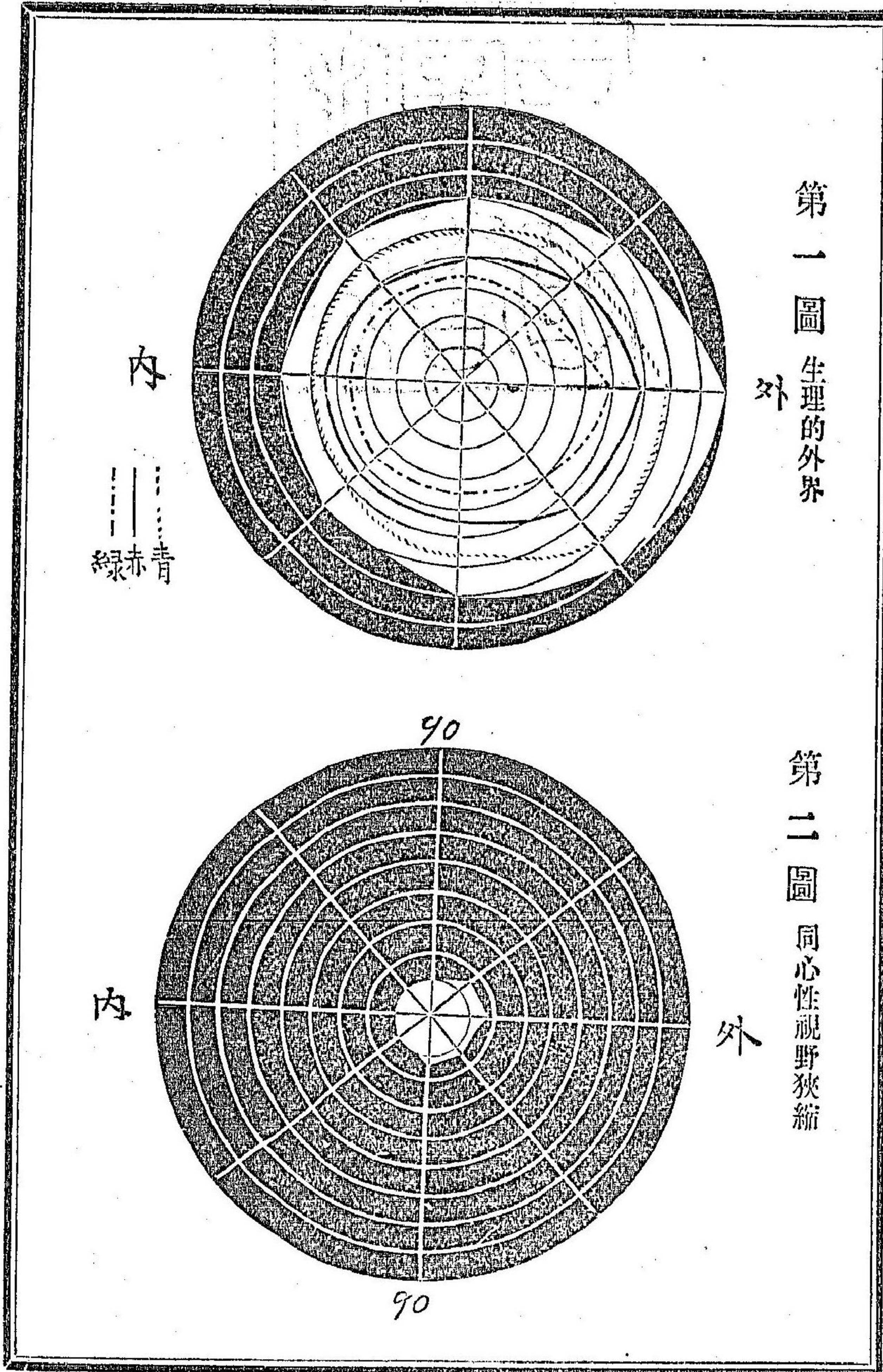
眼科學
附錄圖式
講義全

非賣品
宮内眼病院藏版

緒方病院院長醫學士
緒方收二郎閱
大阪慈惠病院醫學校顧問
宮內重志講義
宮內眼病醫院
大阪慈惠病院醫學校講師

眼科學
附錄圖式
講義
全

非賣品
宮內眼病院藏版



第一圖 生理的外界

第二圖 同心性視野狹縮

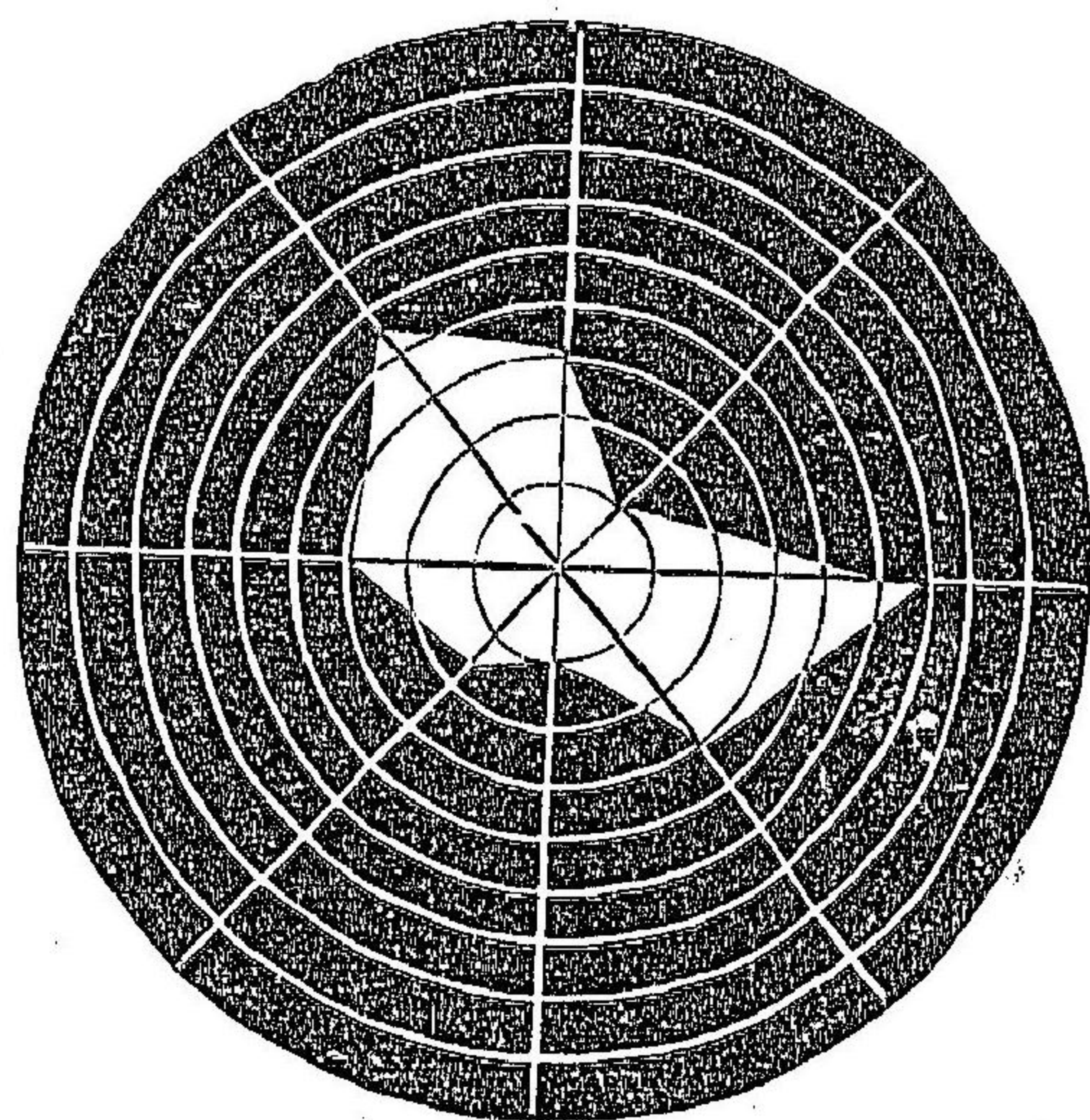
內
綠 青

內

外

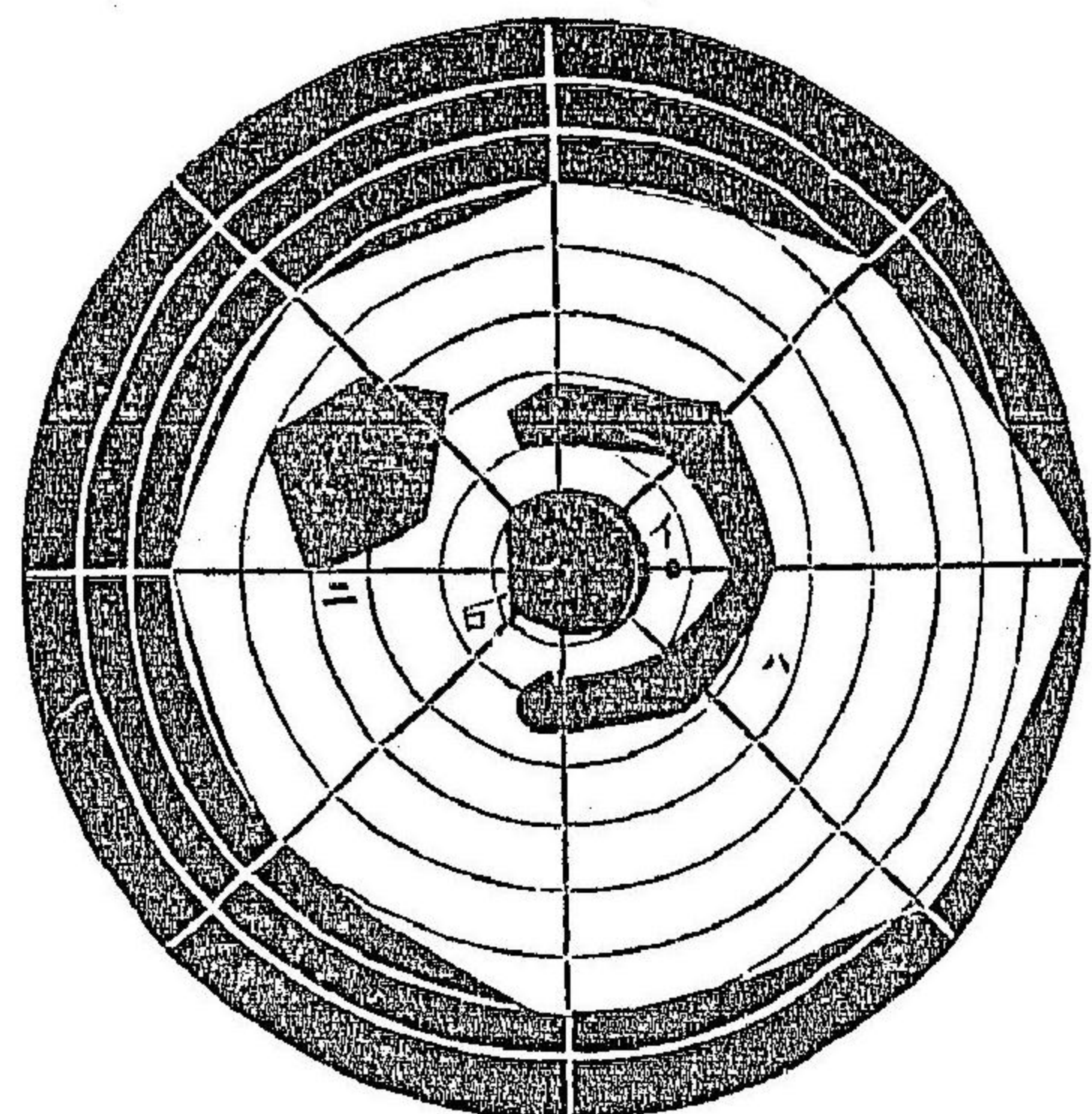
90

90



第三圖

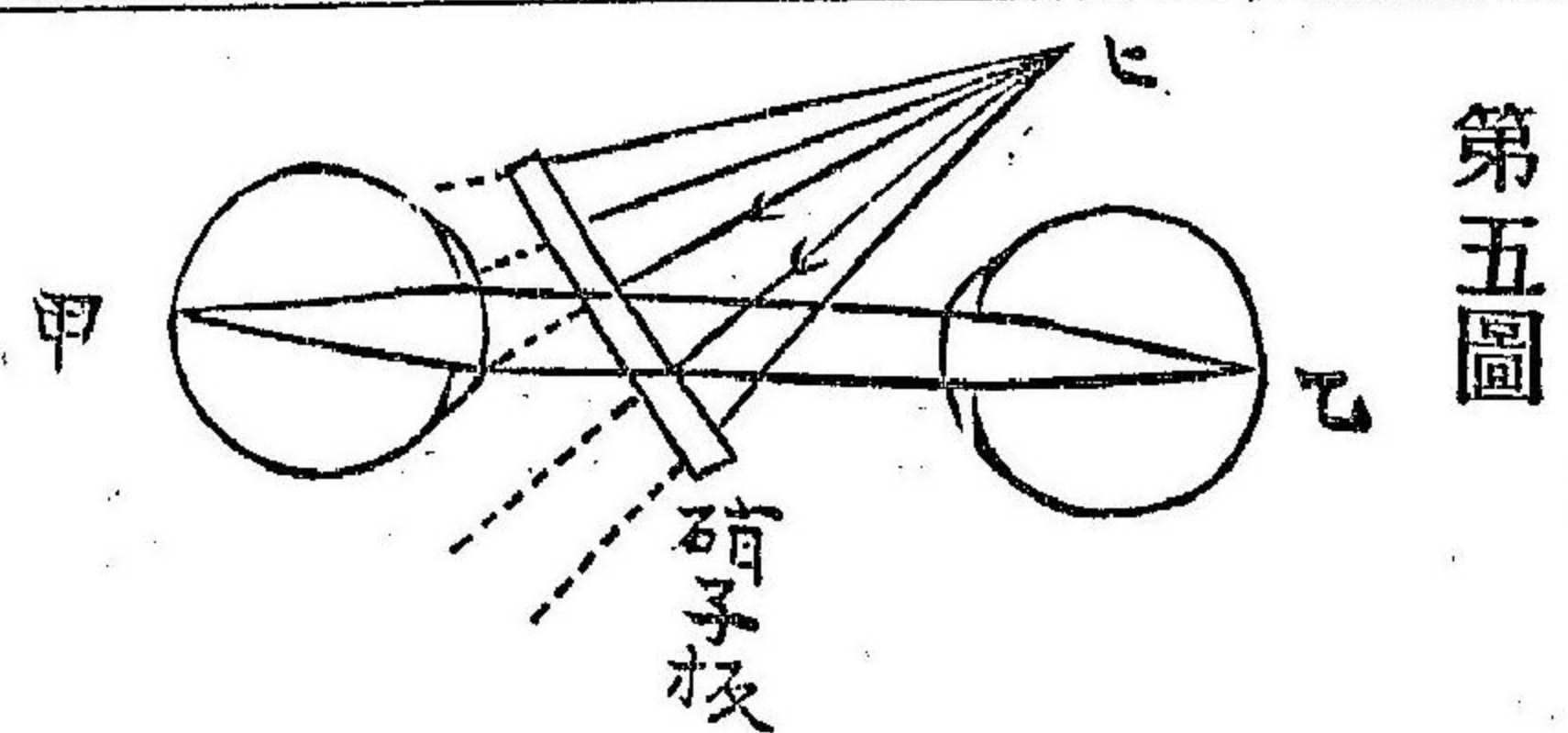
截痕狀狹縮



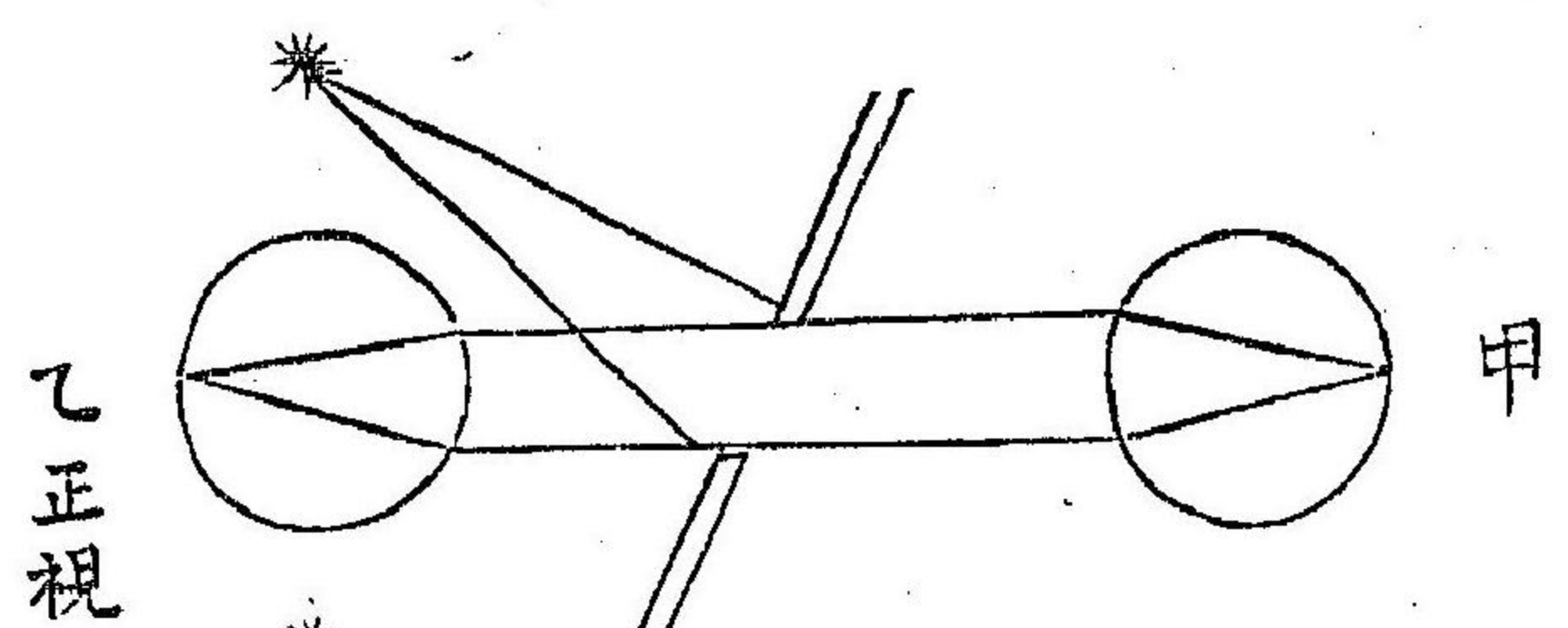
第四圖 (1)生理的暗点

(2)中心暗点 (3)輪狀暗点
(三)周邊暗点

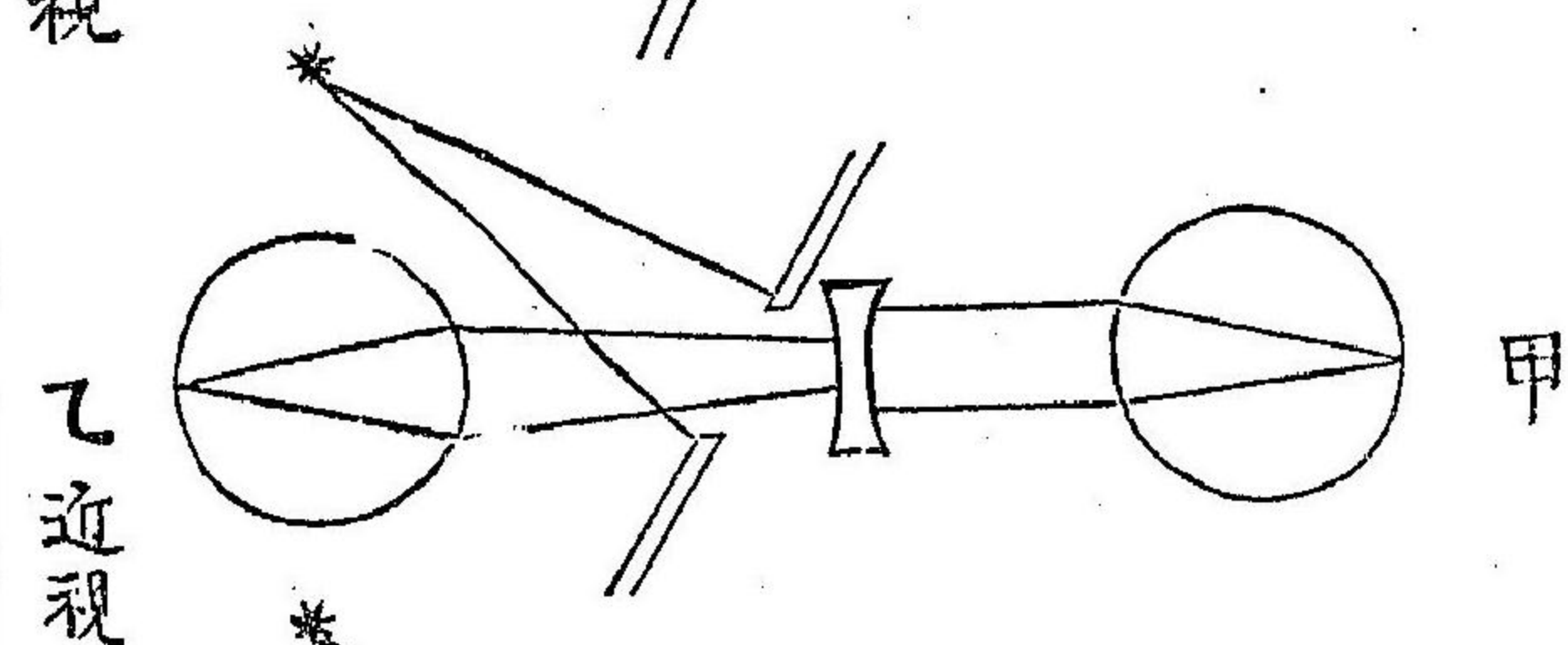
二



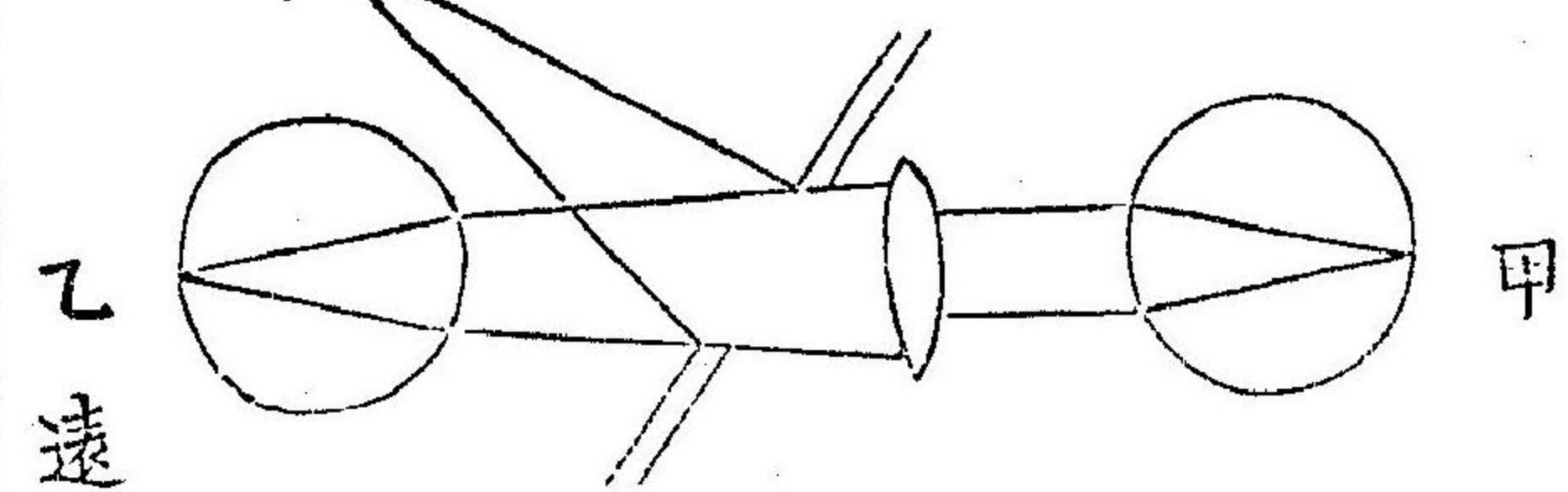
第五圖



第六圖

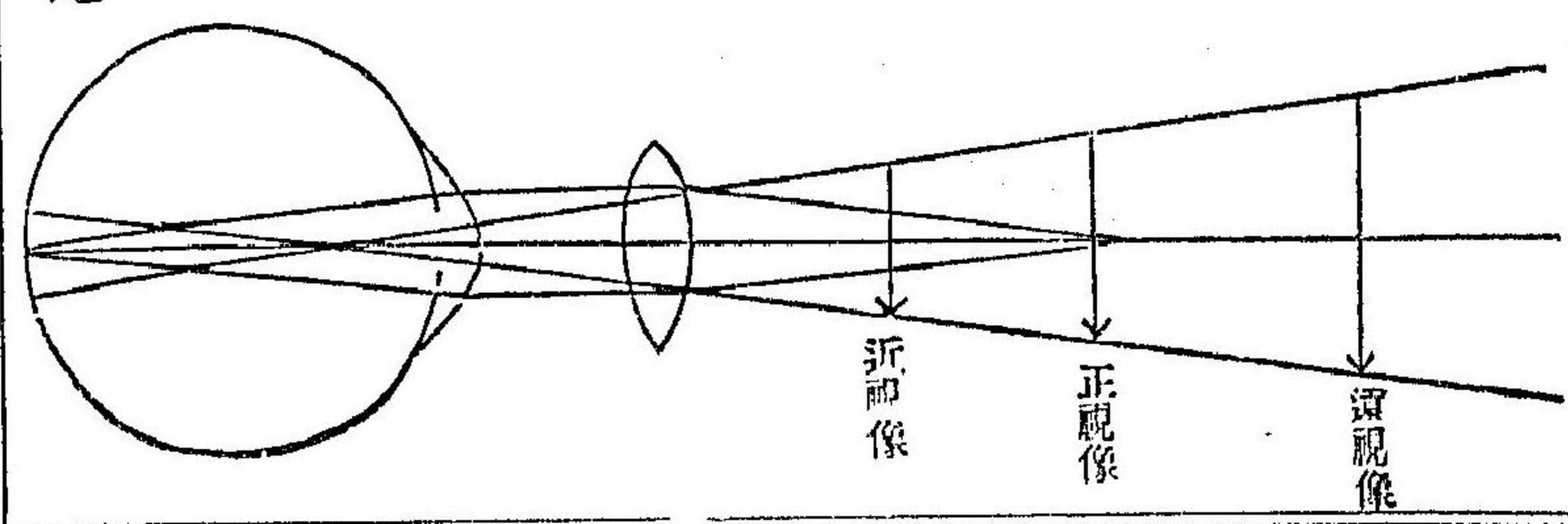


乙近視



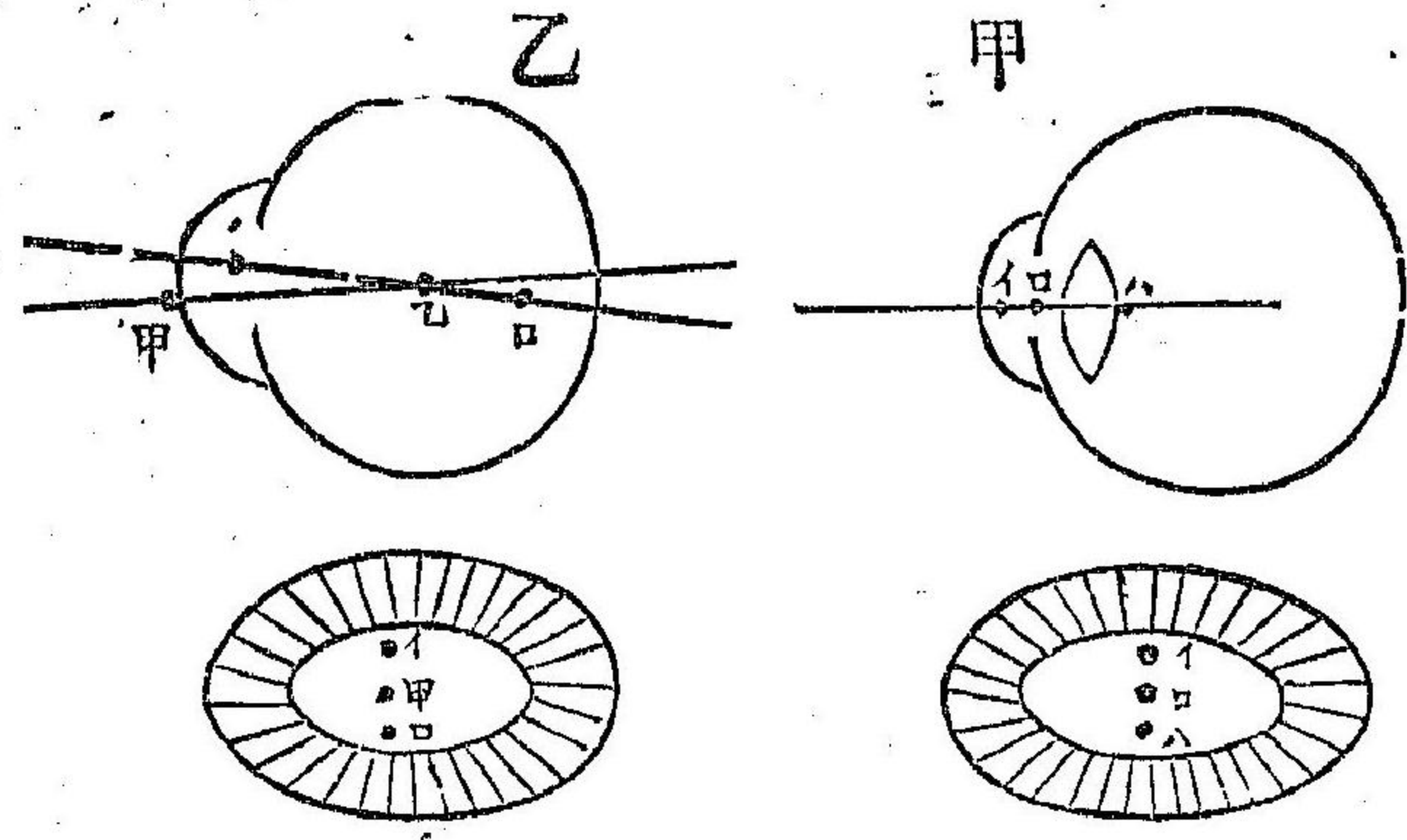
乙遠視

第七圖

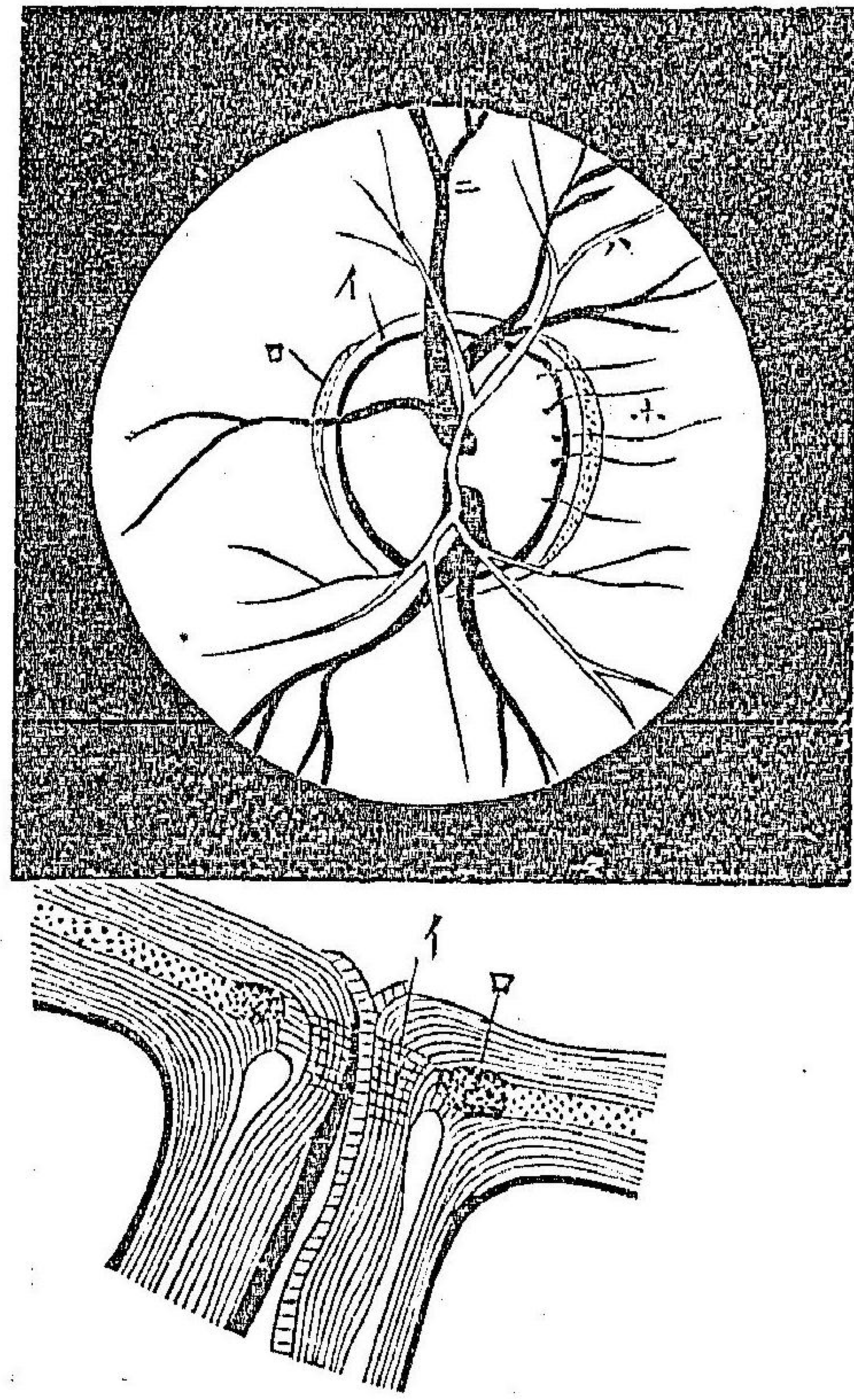


三

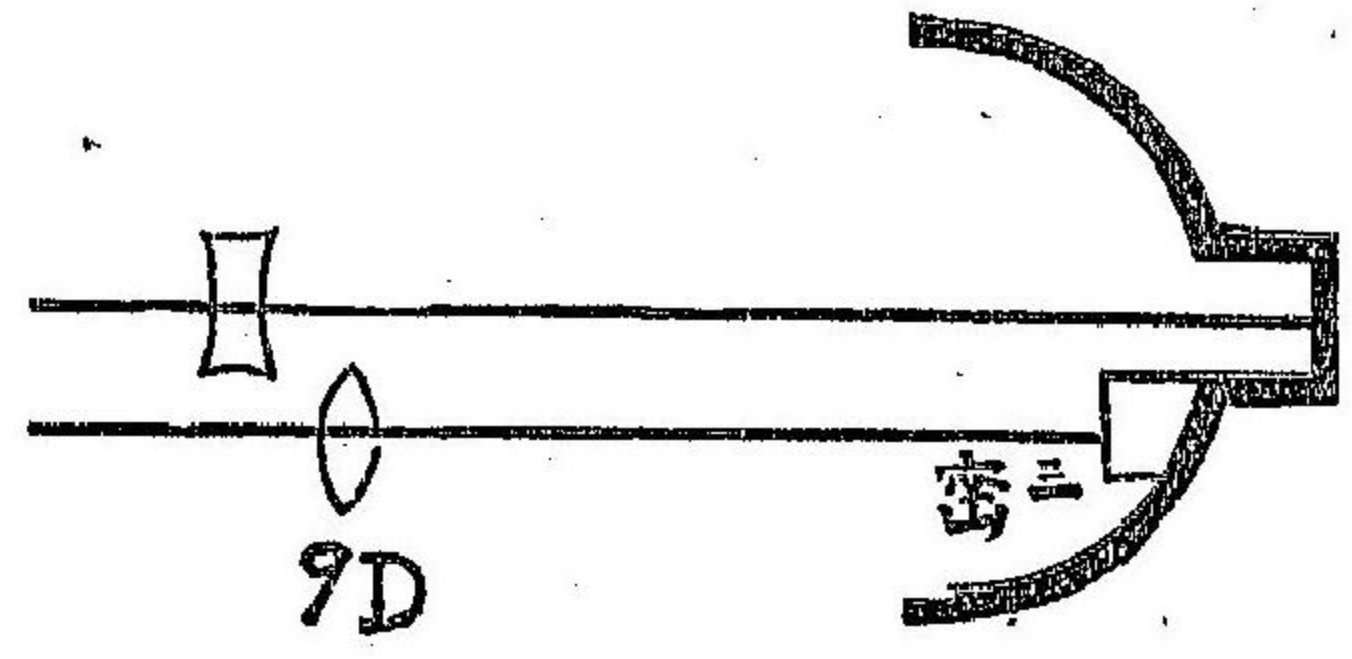
第八圖 甲ハ濁濁ノ部位ヲ定ム
乙ハ返射像ヲ以テ之ヲ定ム



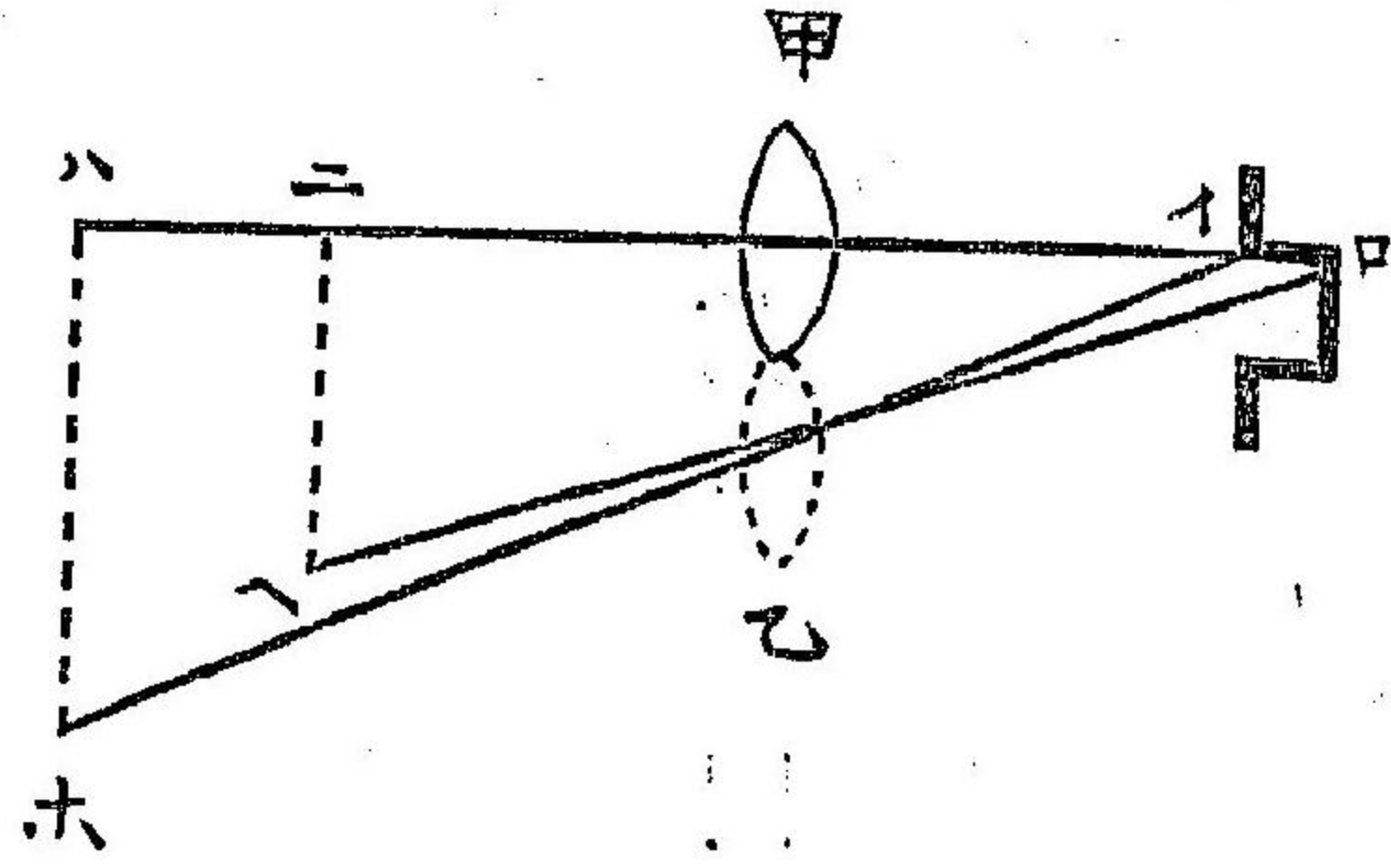
第九圖 (イ) 鞏膜輪 (ロ) 脈絡膜輪
(ハ) 動脈 (ニ) 靜脈 (ホ) 網膜毛様動脈



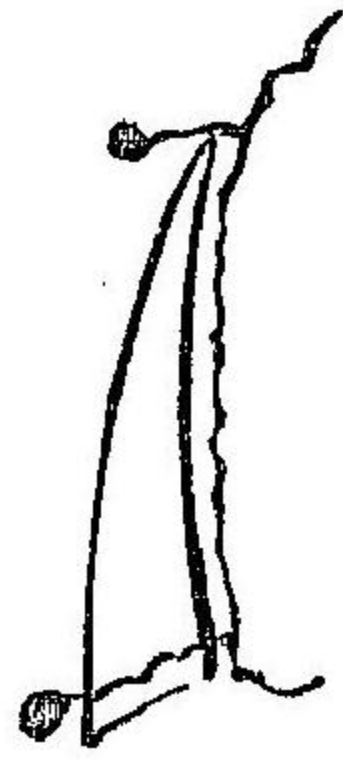
第十圖



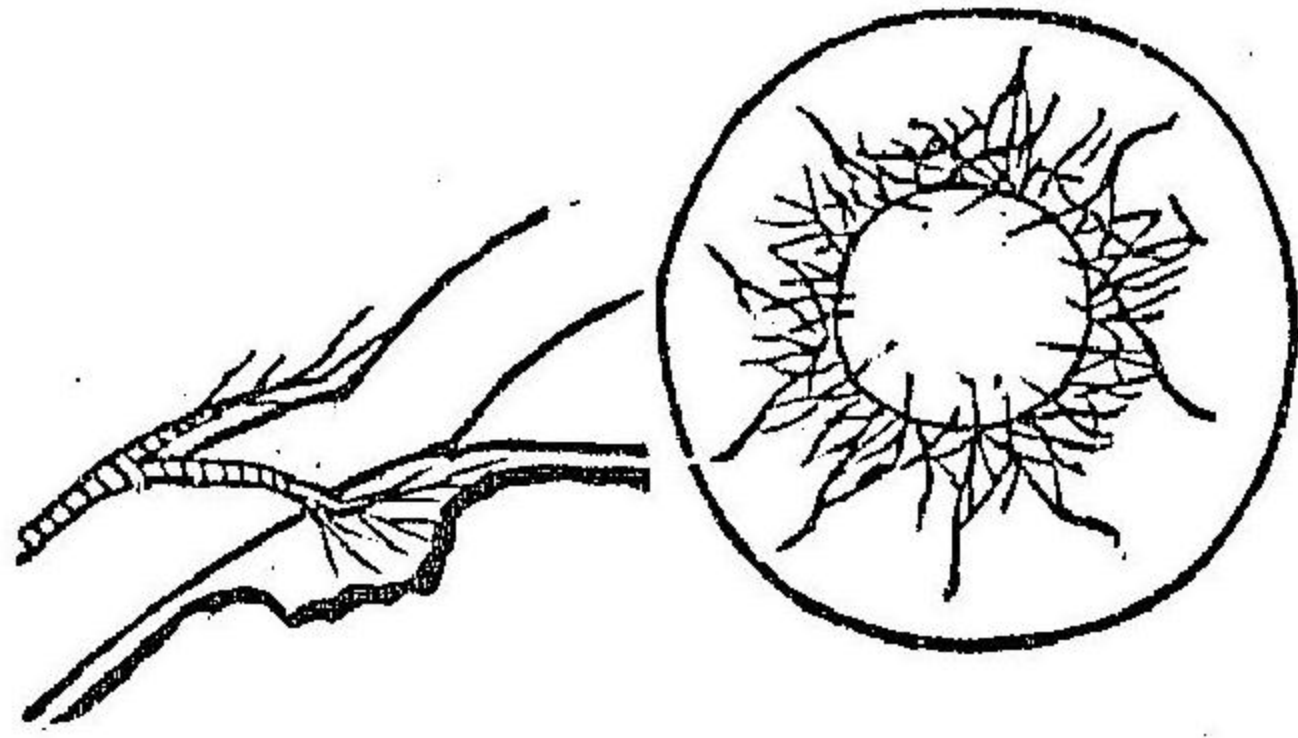
第十一圖



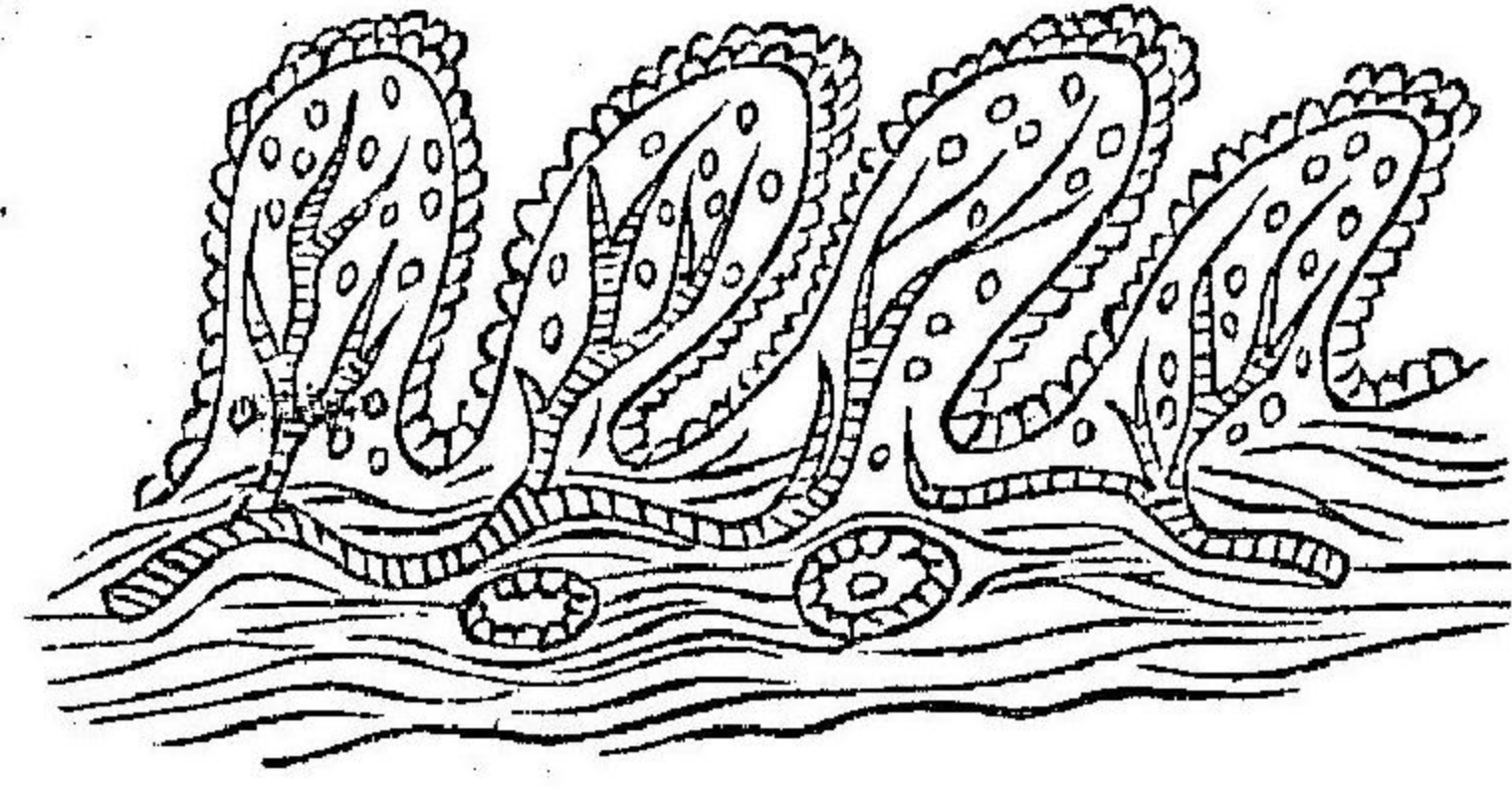
第十三圖



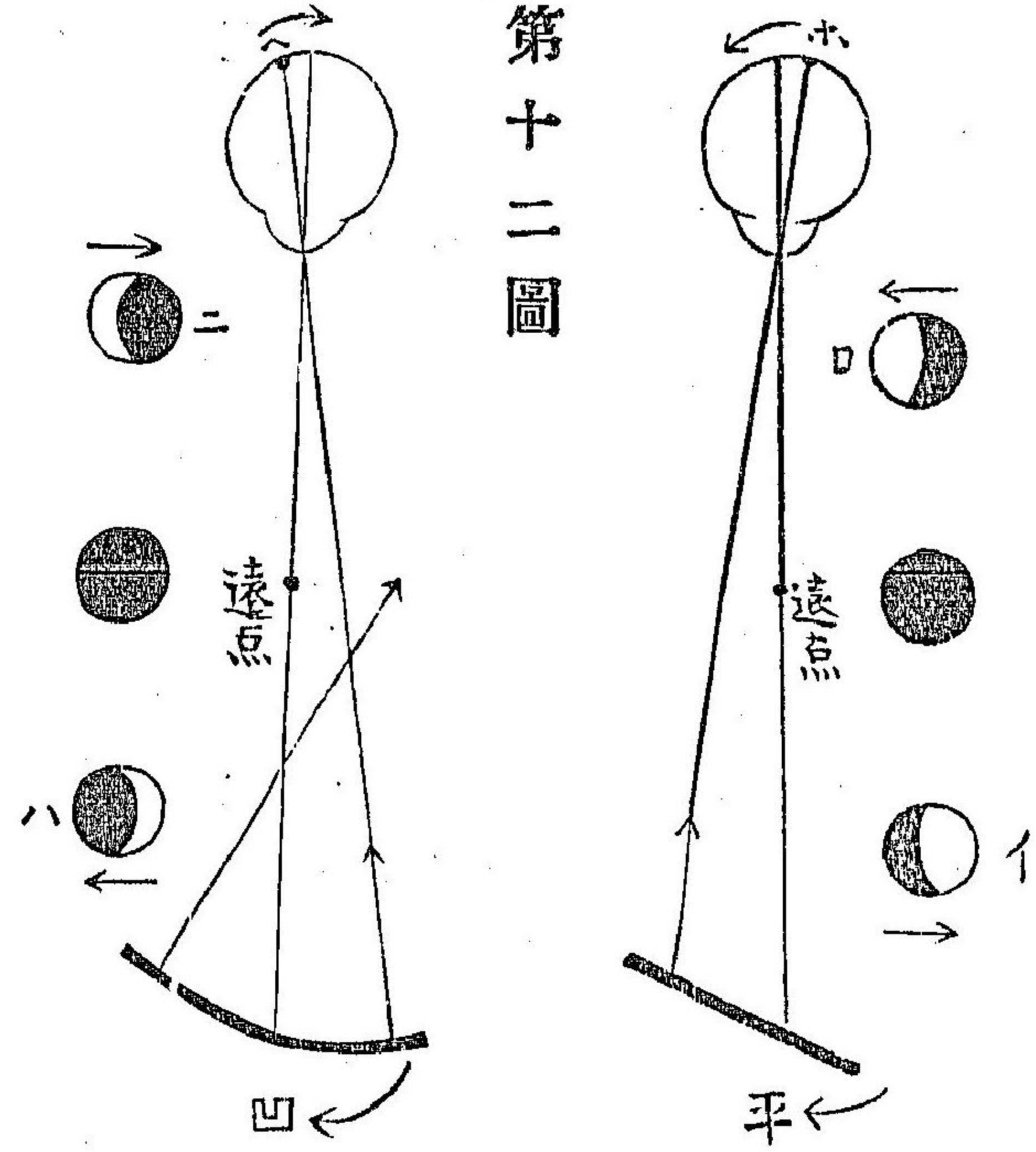
第十四圖



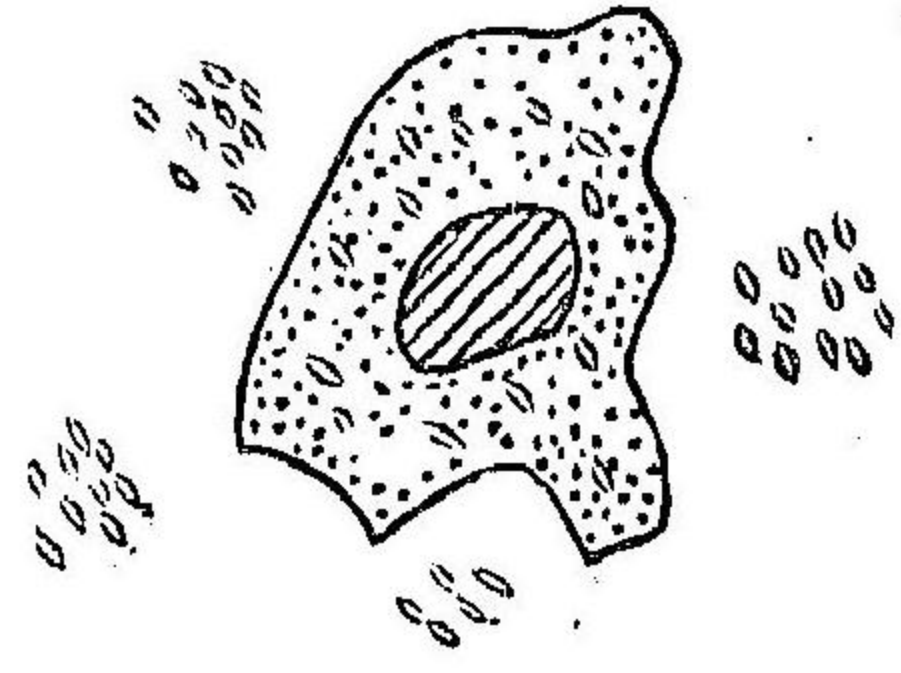
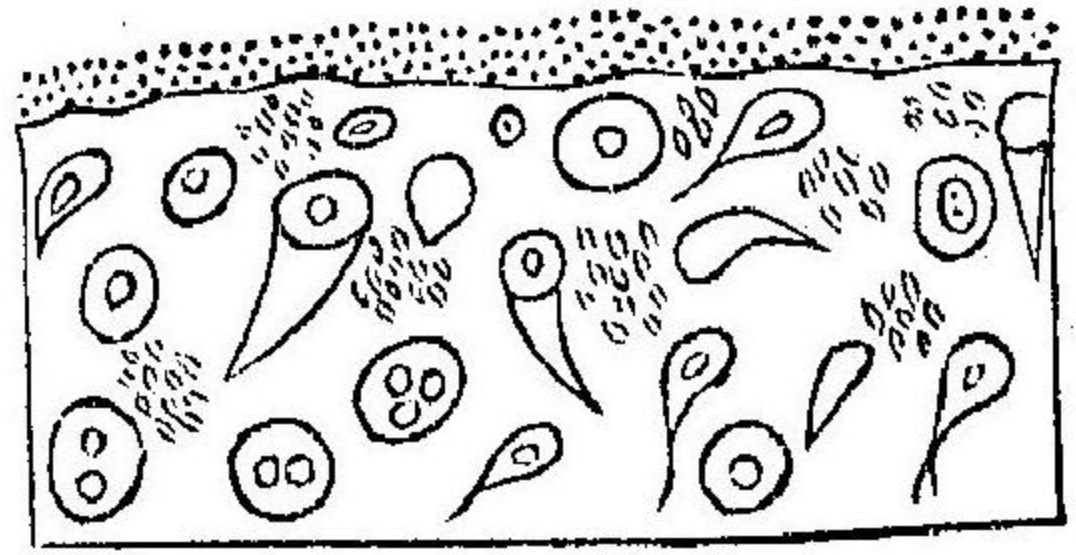
第十五圖 乳頭ノ肥大ヲ示



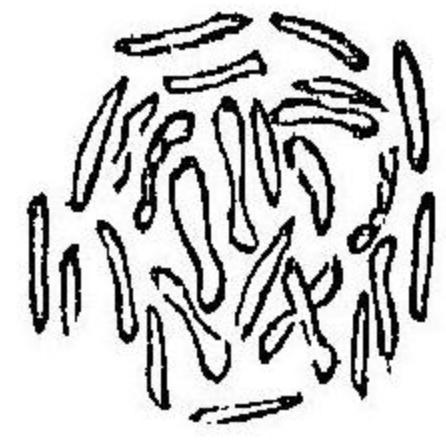
第十二圖



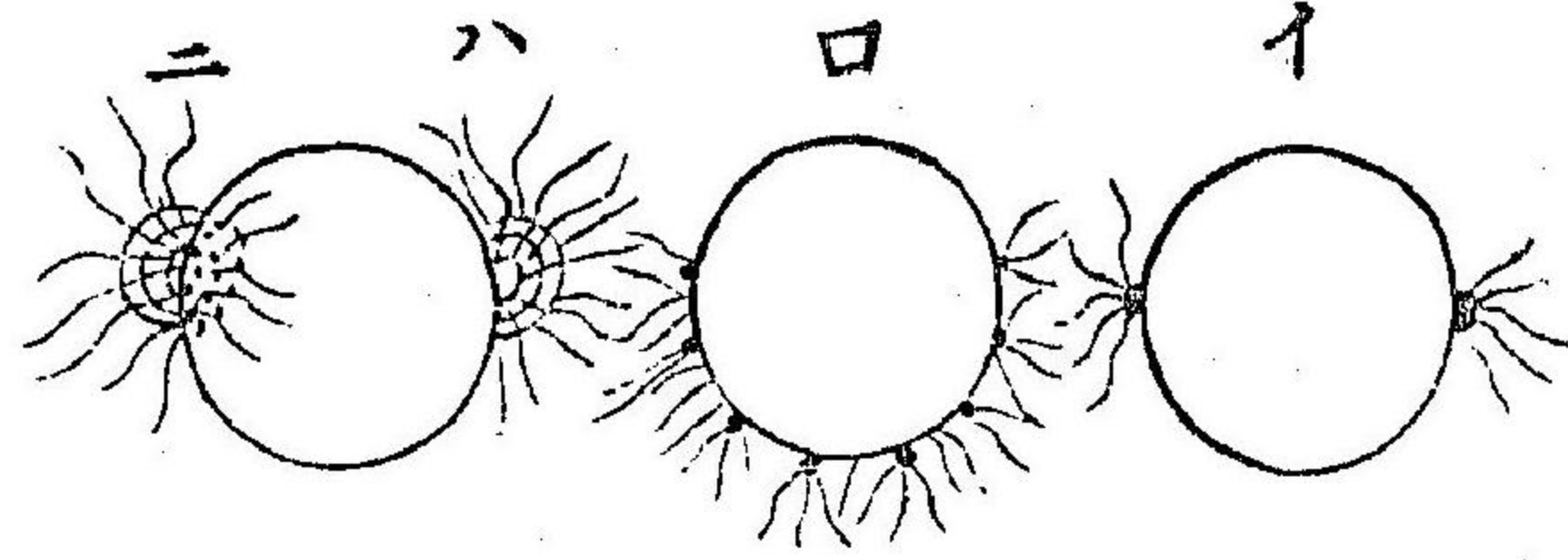
第十六圖



第十七圖

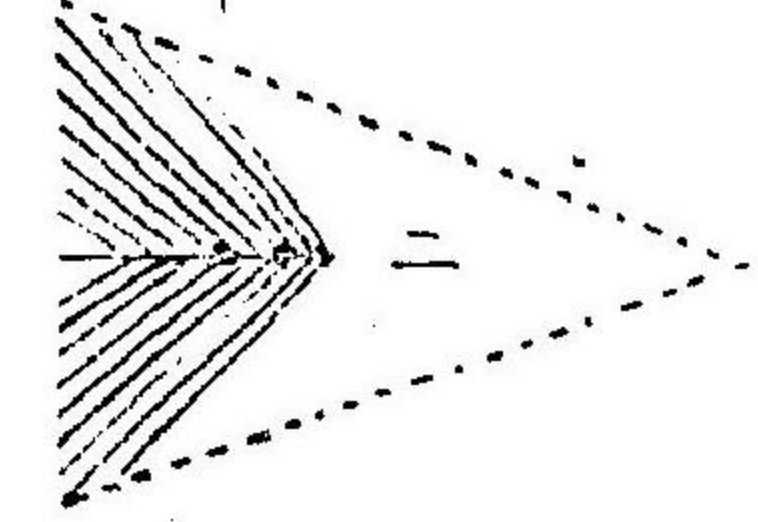
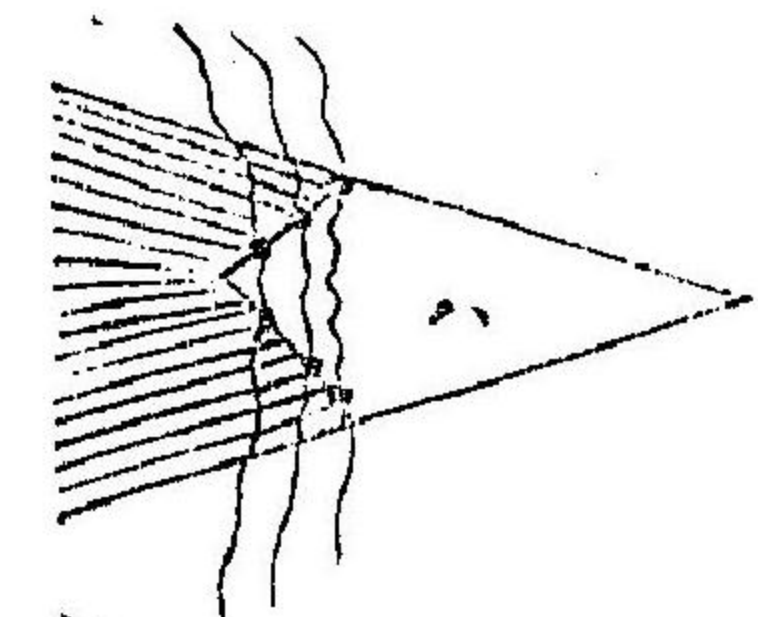
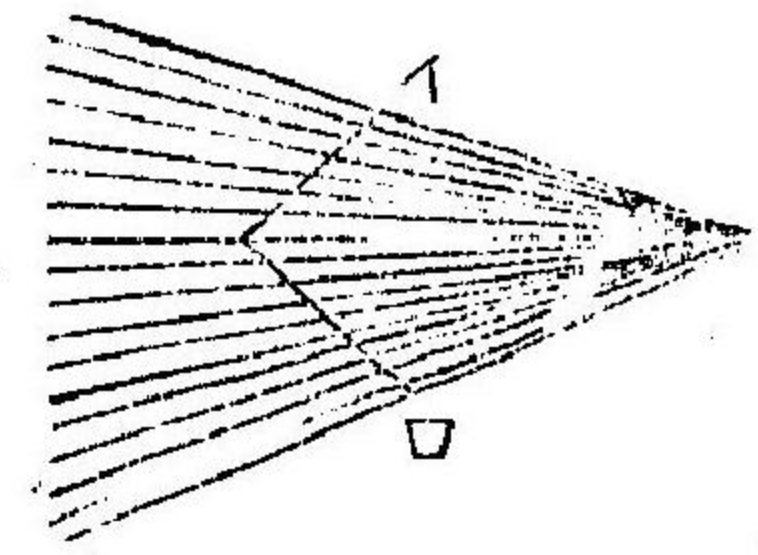


第十八圖

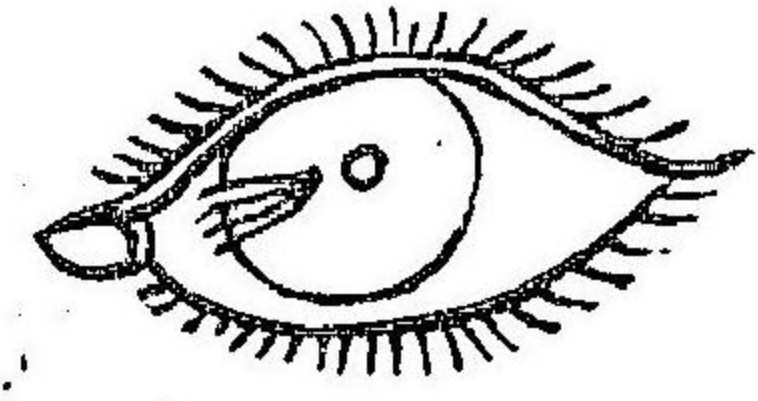


第十九圖

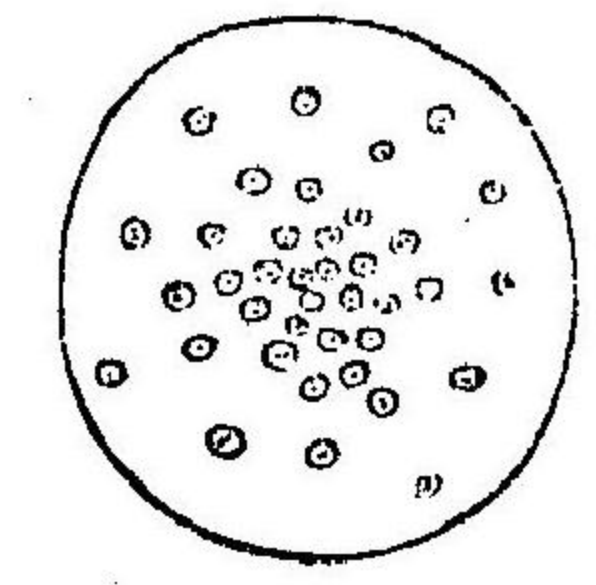
(一)切斷面
(二)切除部
(三)縫合ノ状



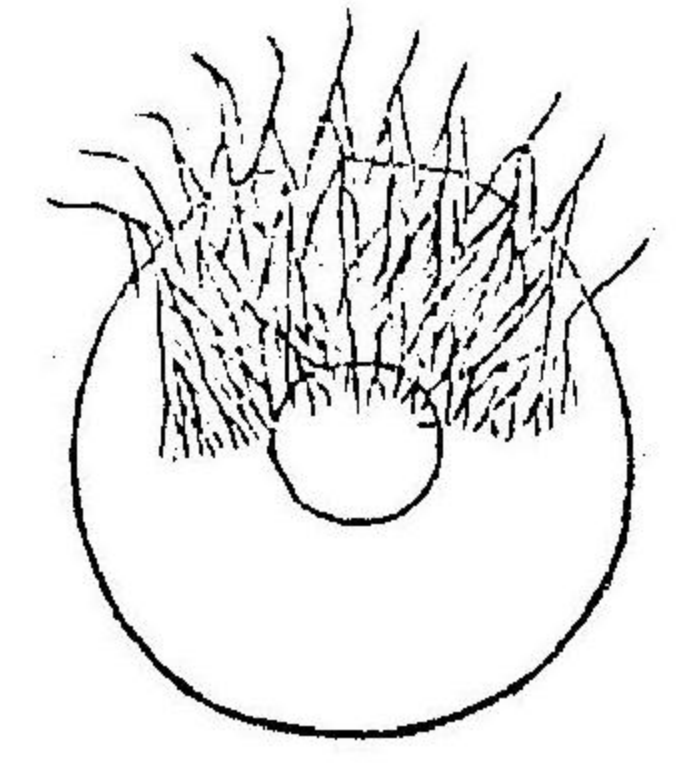
第二十圖



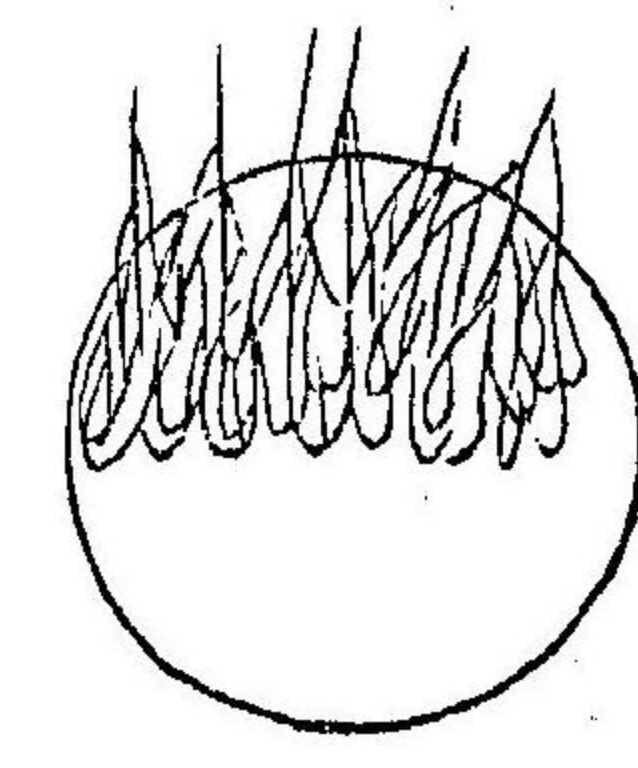
第二十一圖



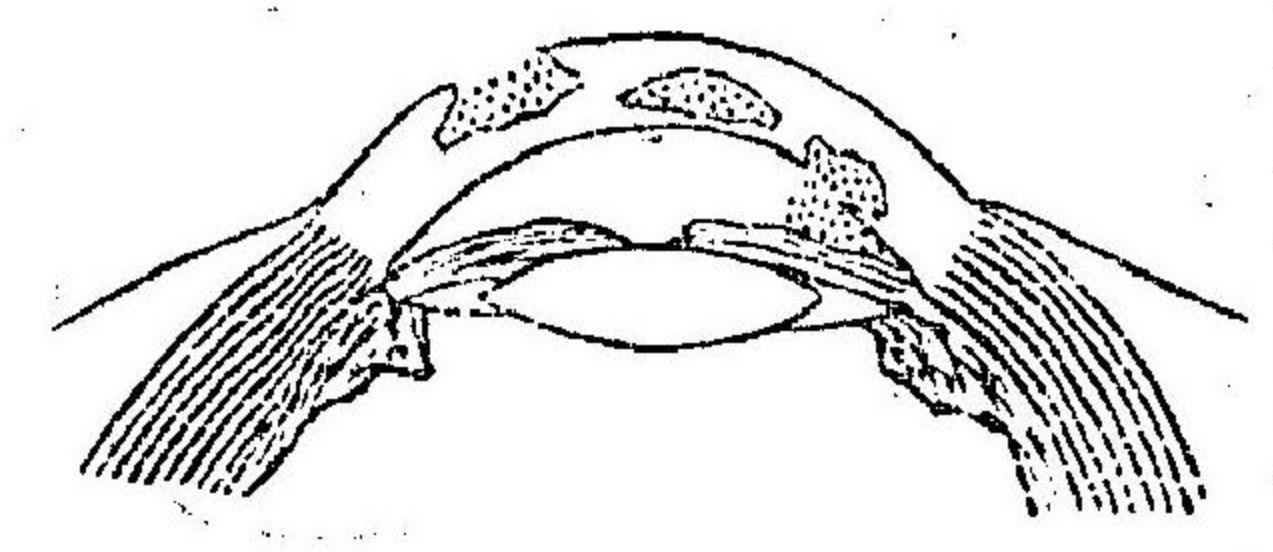
第二十二圖



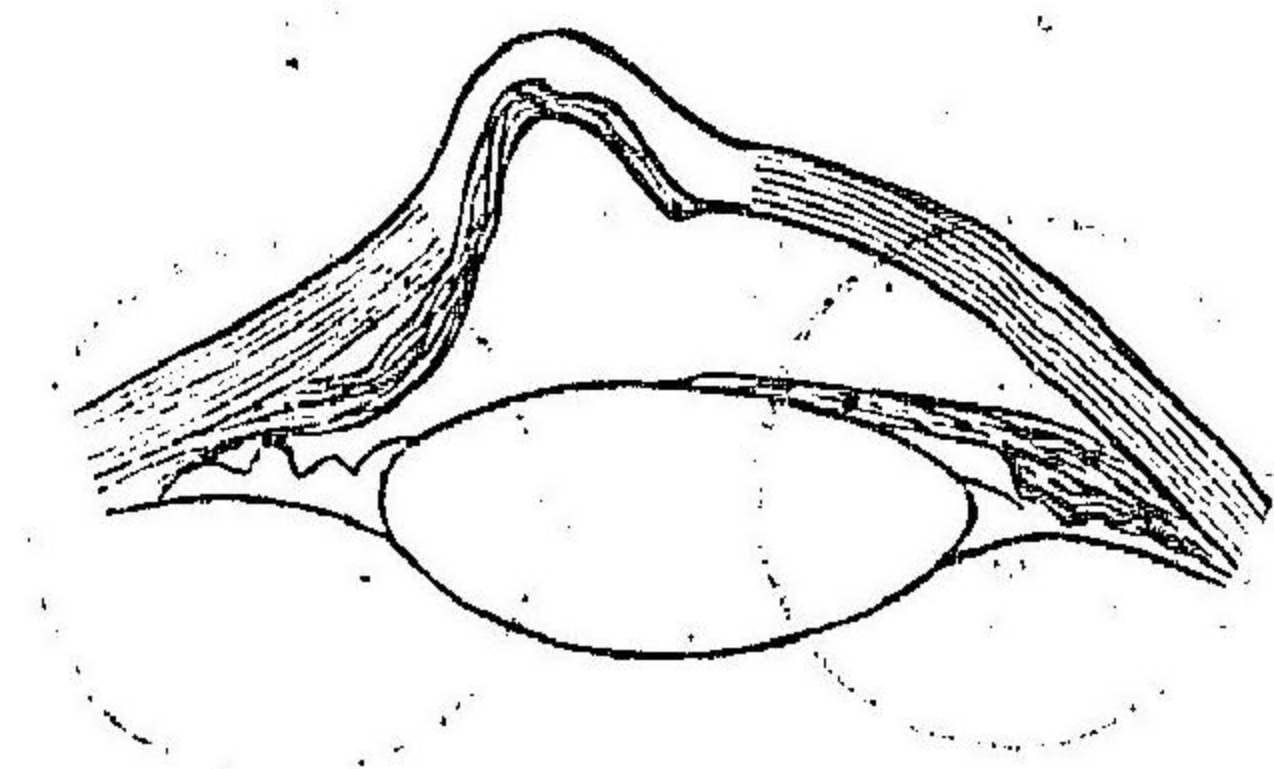
第二十三圖



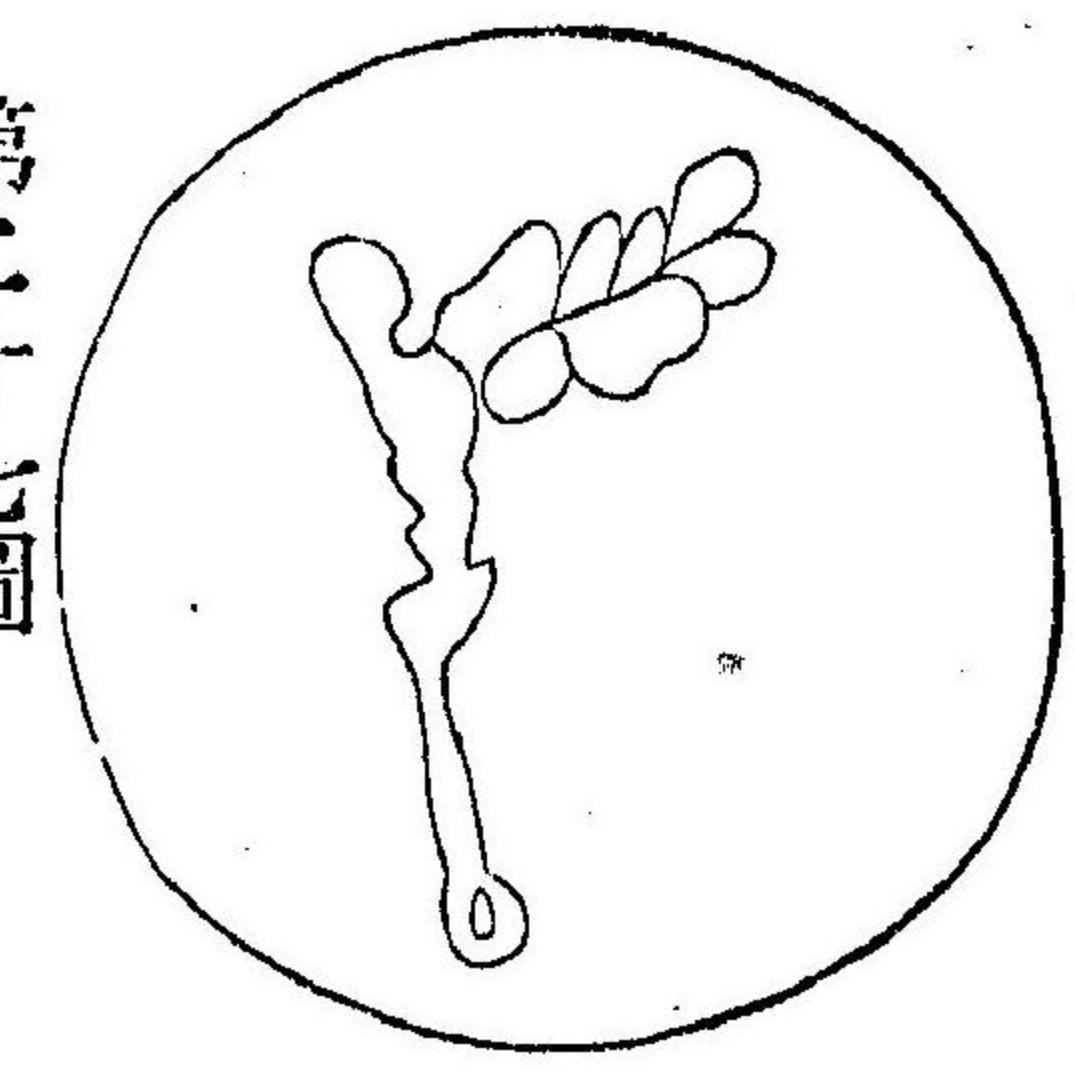
第二十四圖



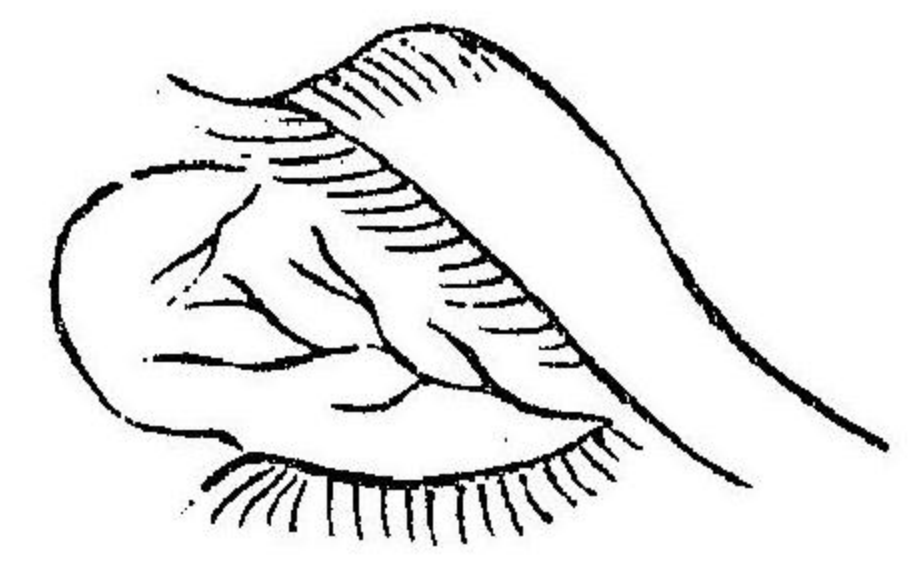
第二十五圖



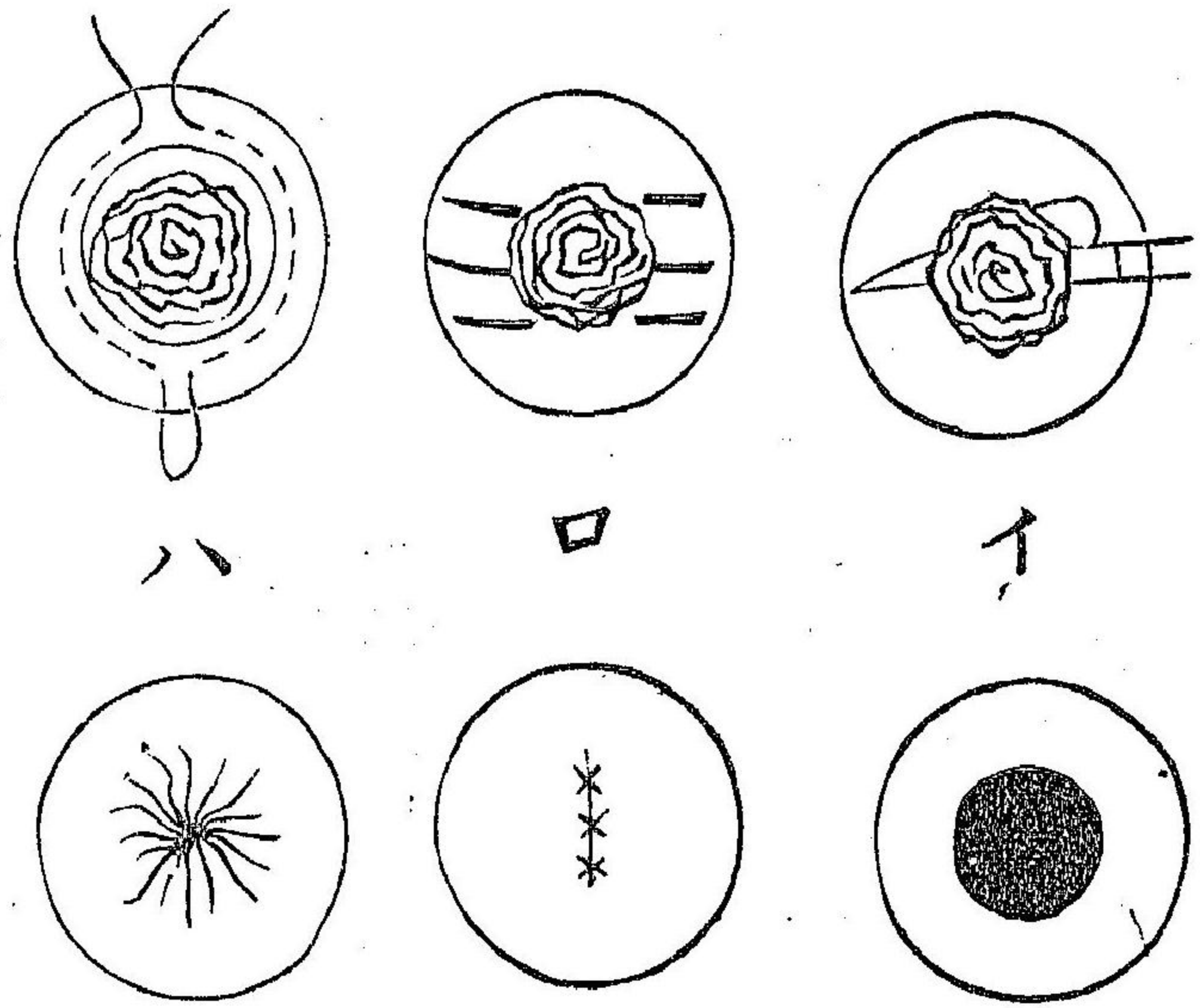
第二十六圖



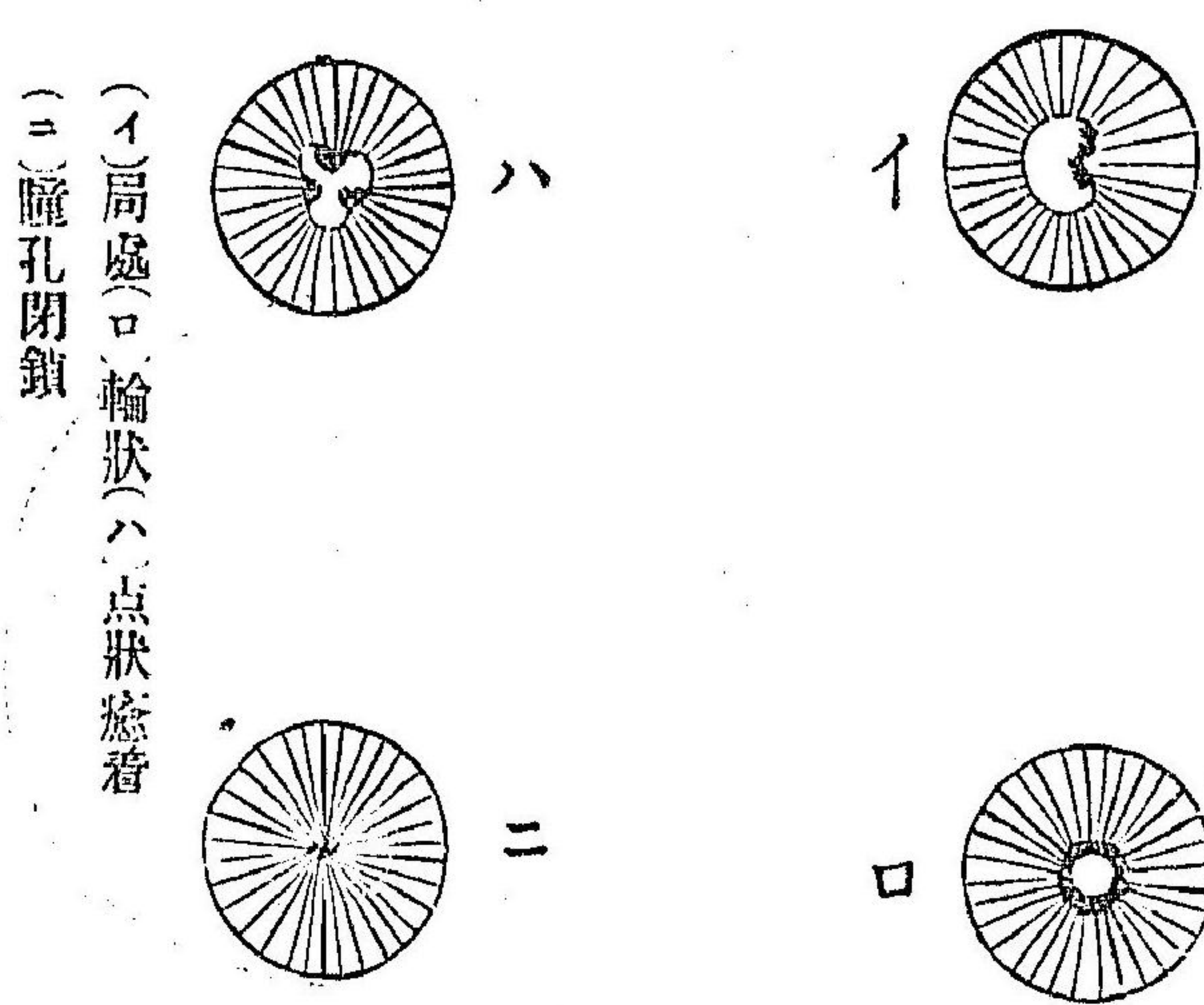
第二十七圖



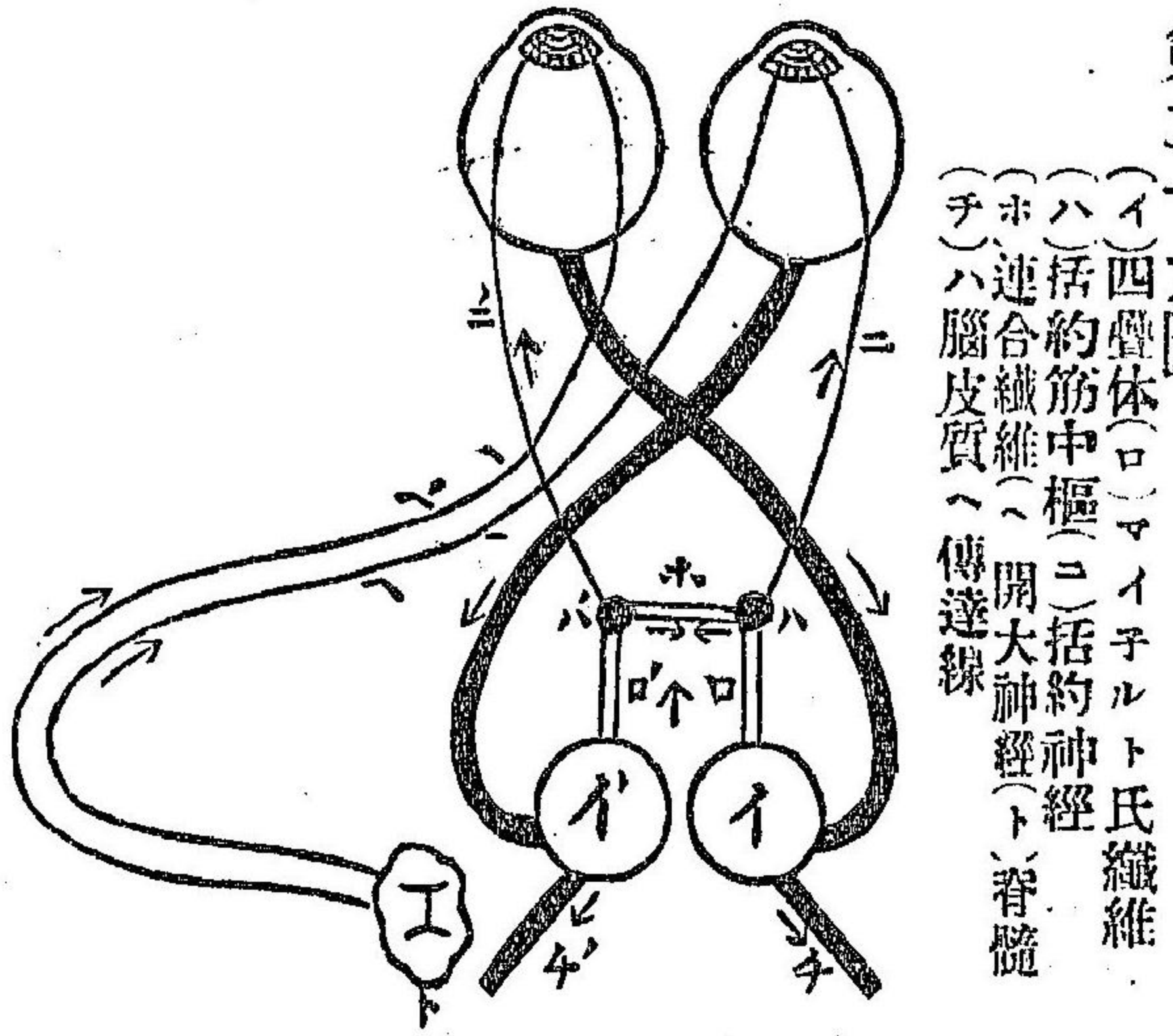
第二十八圖



第三十圖

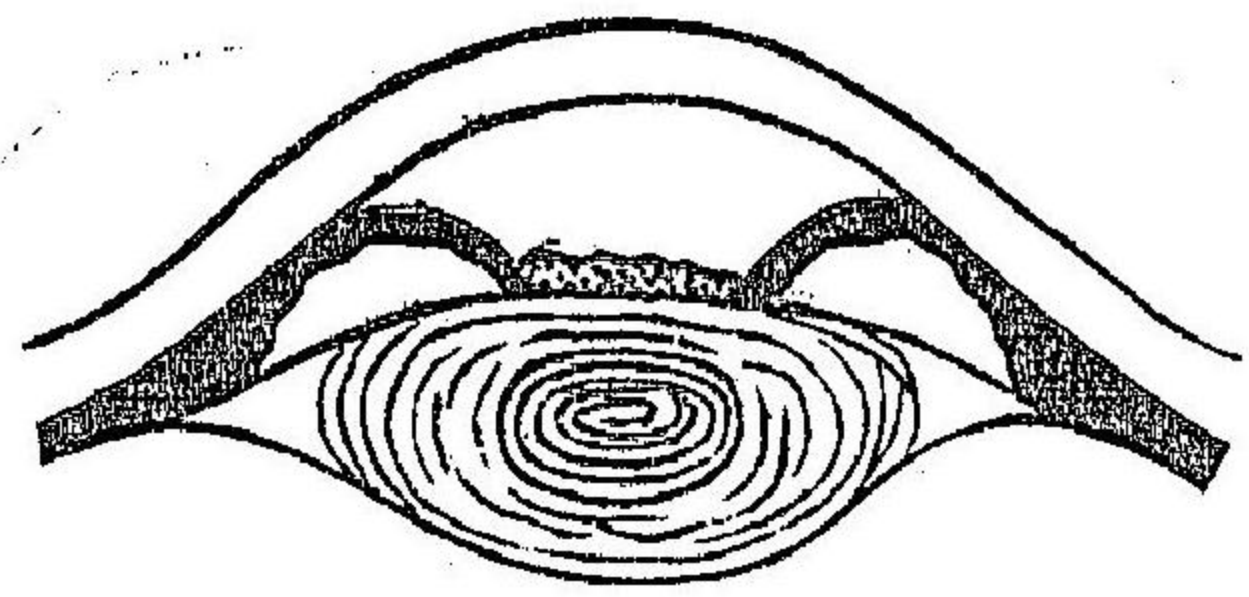


第二十九圖

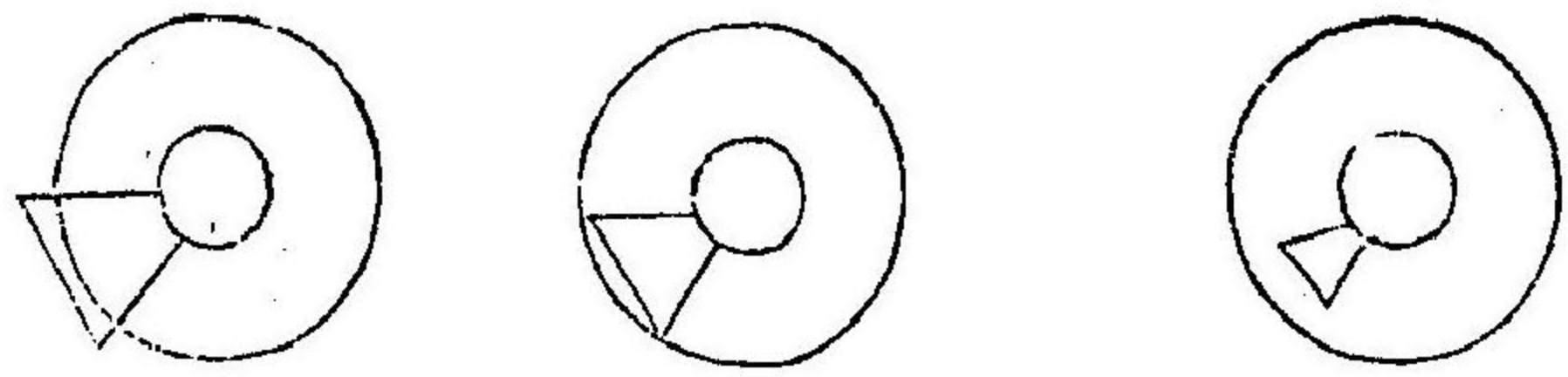


(イ)四疊体(ロ)マイネルト氏纖維
 (ハ)括約筋中樞(ニ)括約神經
 (ホ)連合纖維(ヘ)開大神經(ト)脊髓
 (チ)ハ腦皮質へ傳達線

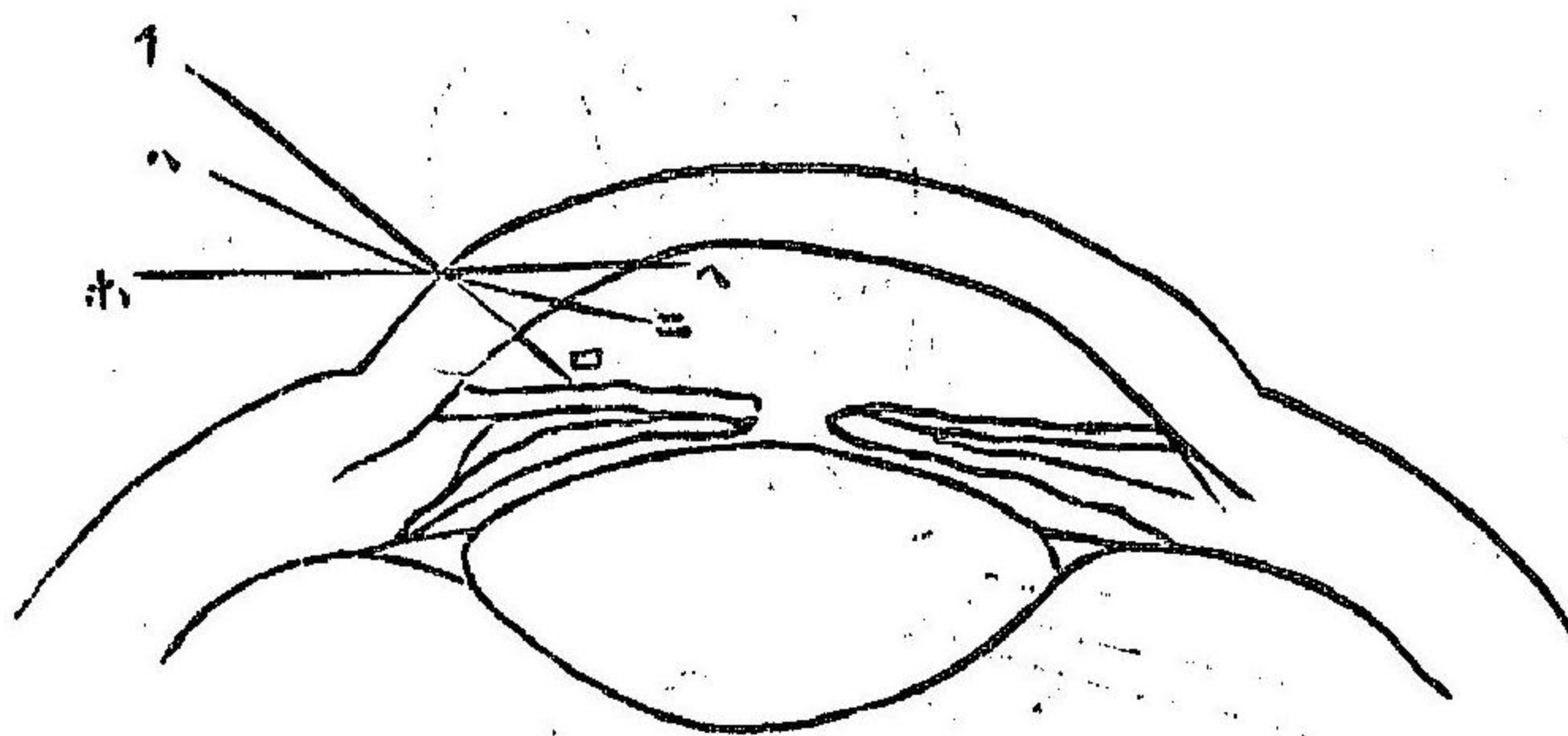
第三十圖



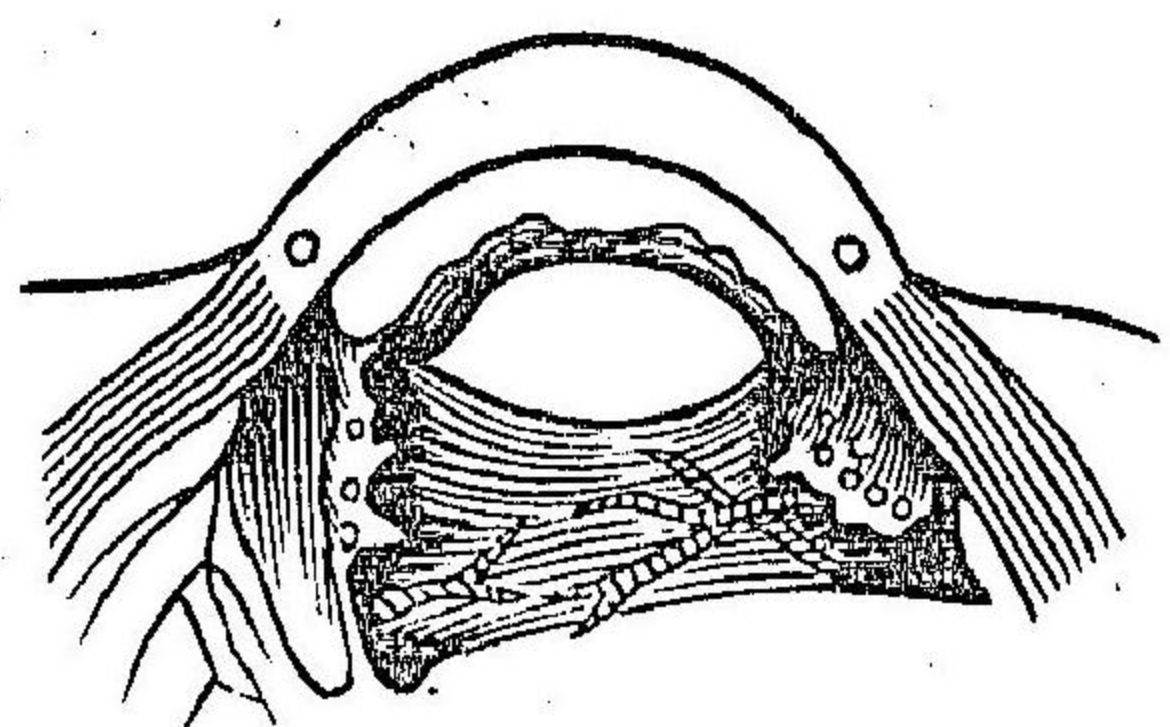
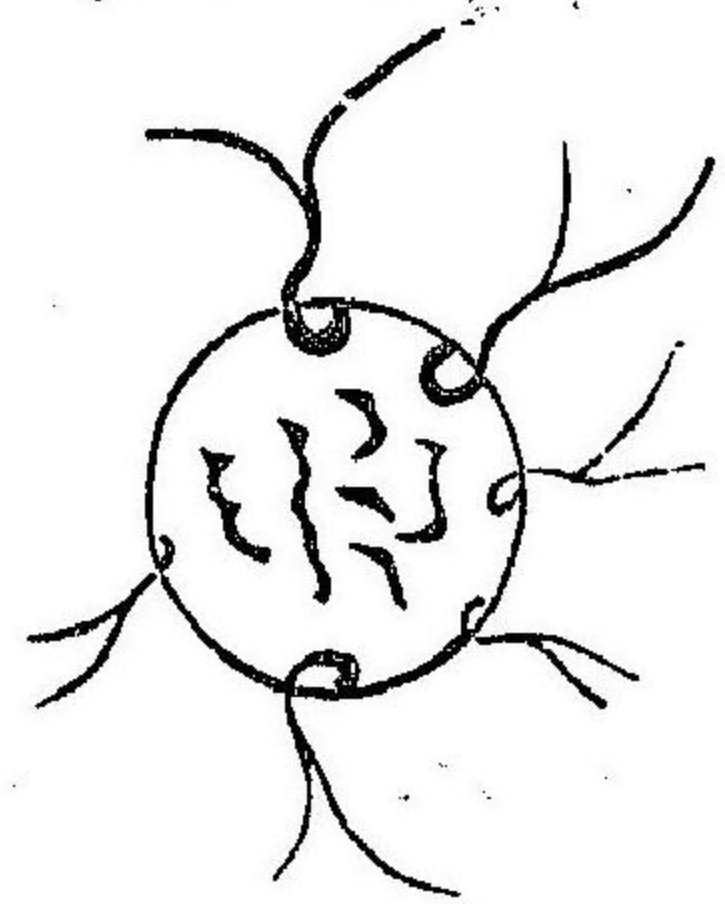
第三十一圖



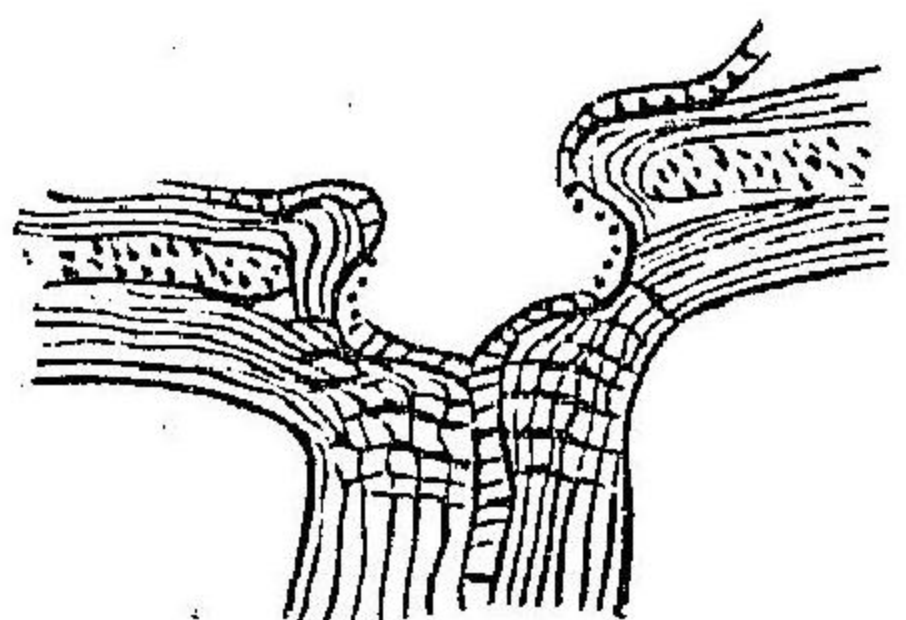
第三十二圖
 通常(イロ)ノ方行ニ刺ス
 若シ(ハニ)(ホヘ)ノ如ク
 斜ニ過クレハ不可ナリ



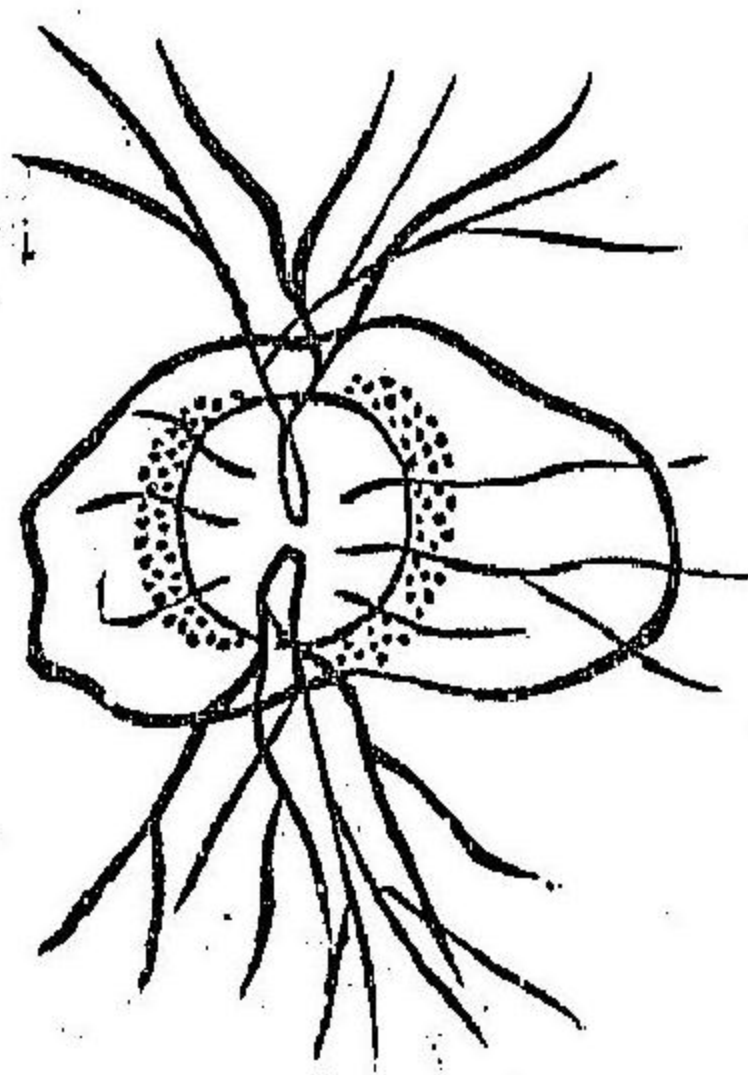
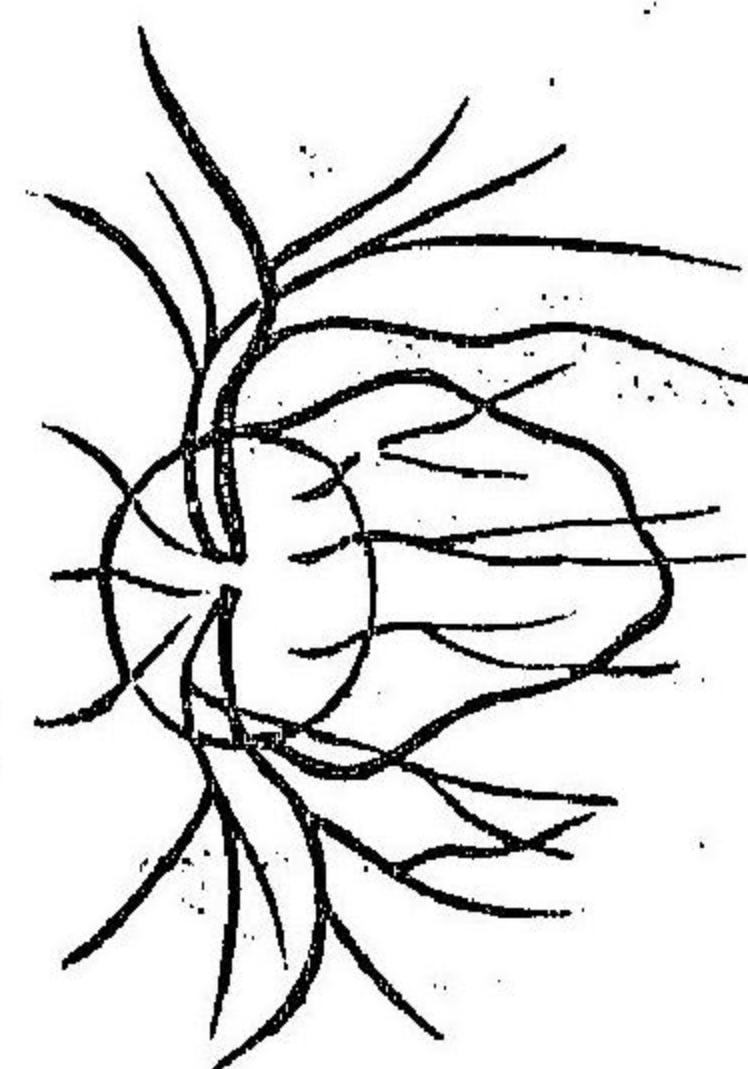
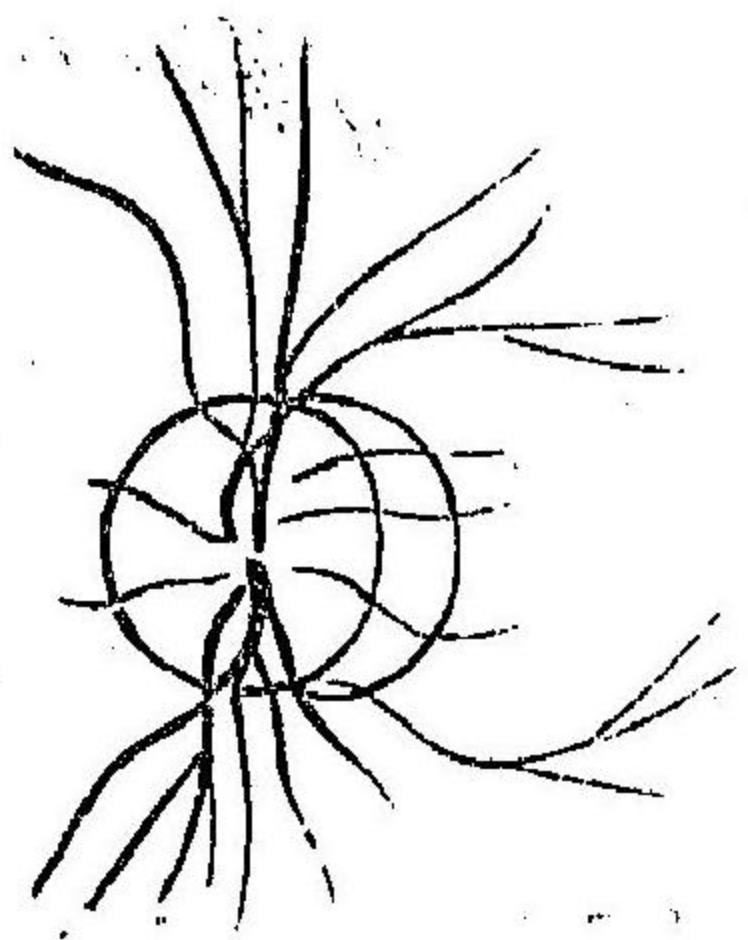
第三十三圖



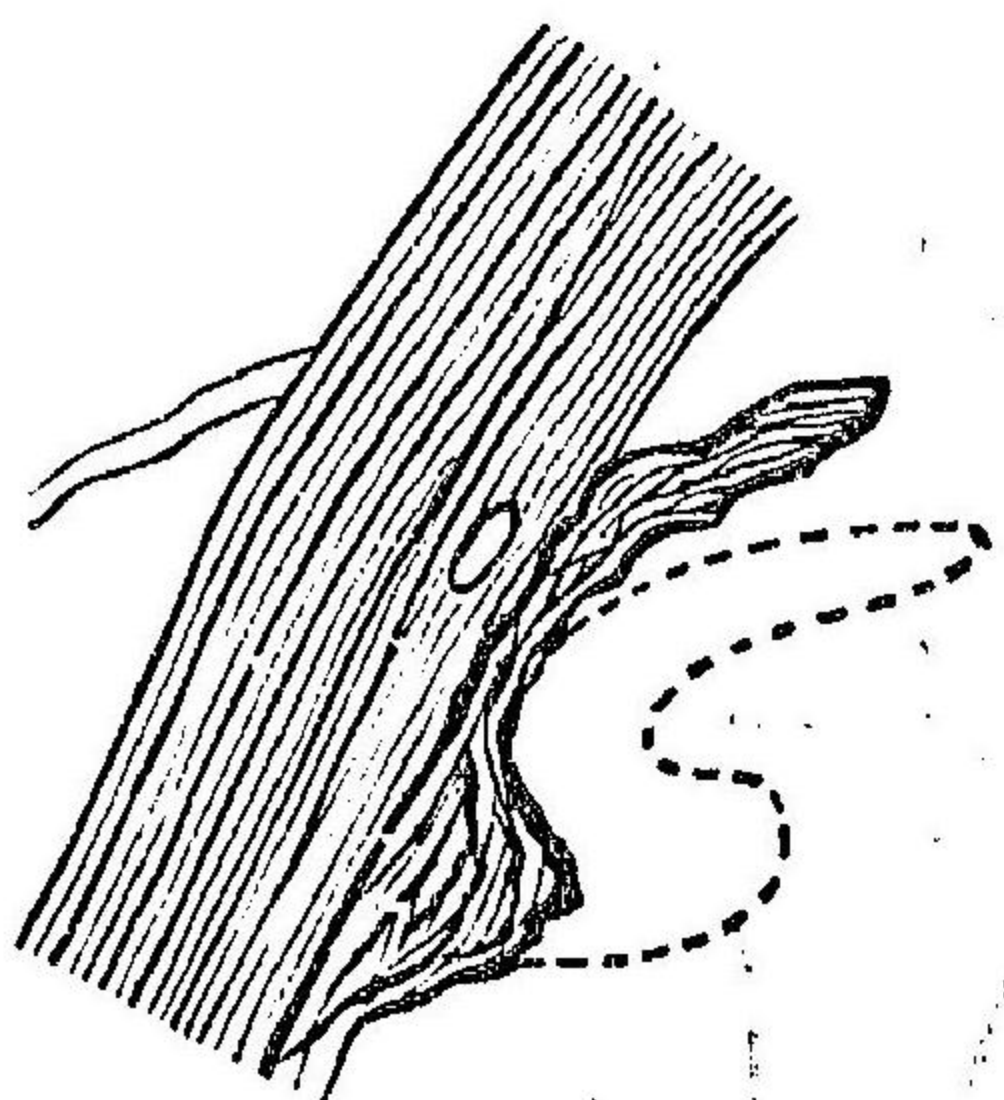
第三十三圖
 新生養膜並ニ之レニ
 分布スル新生血管ヲ
 示ス



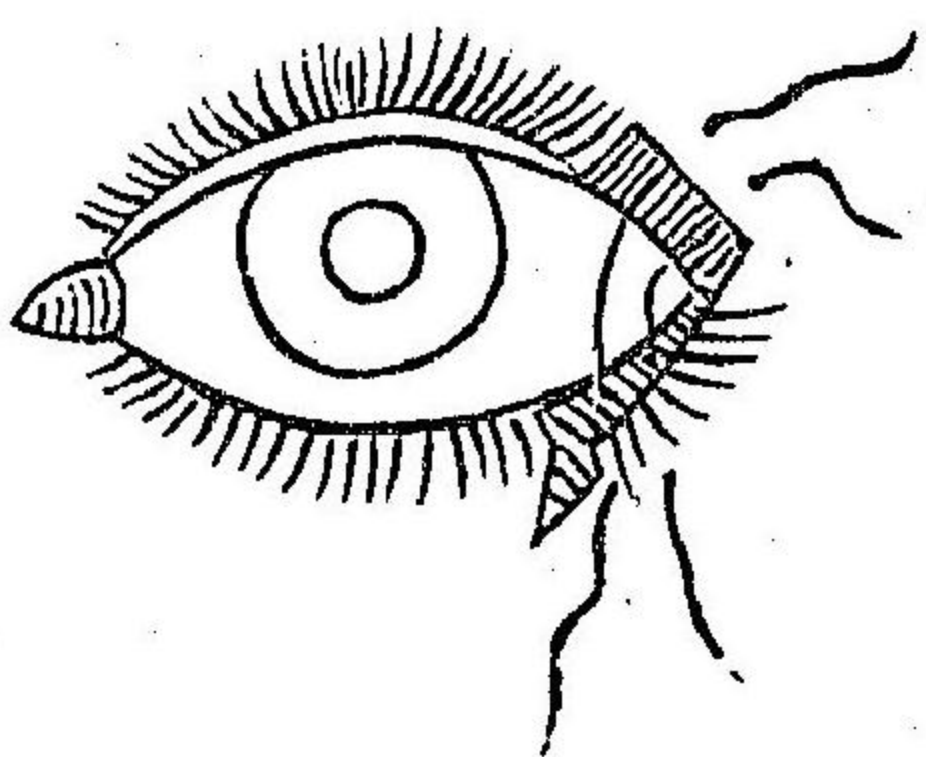
第三十六圖



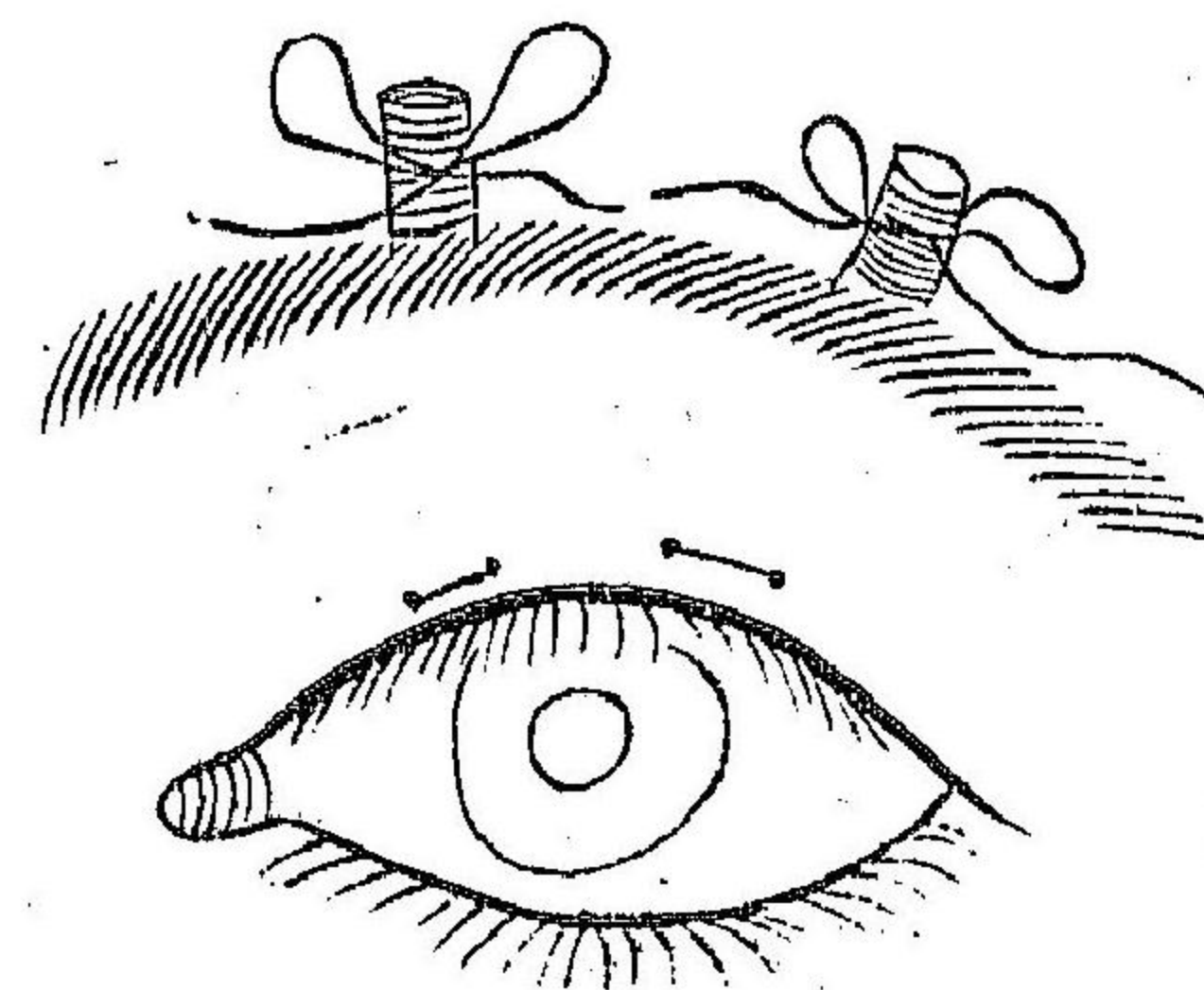
第三十五圖



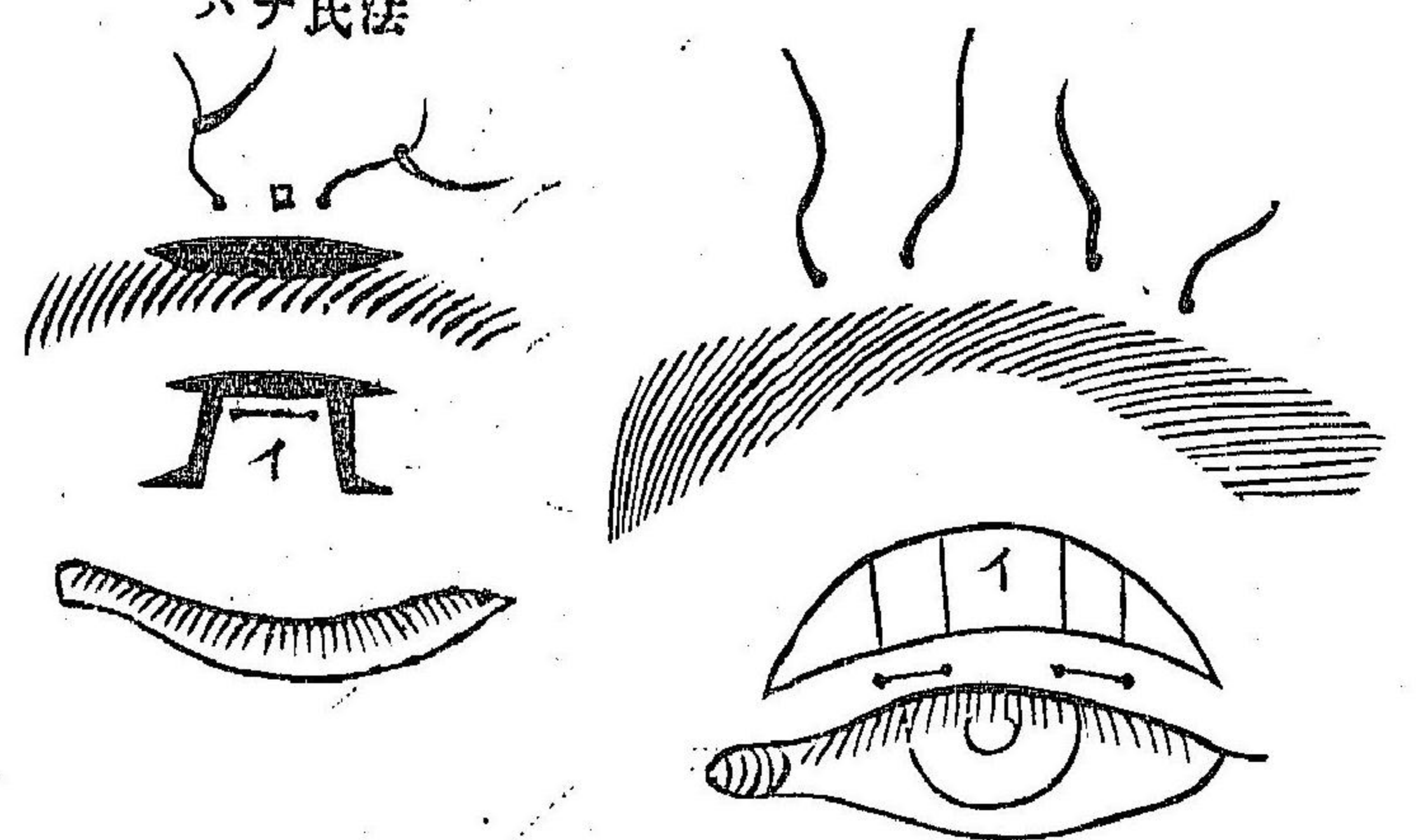
第三十七圖



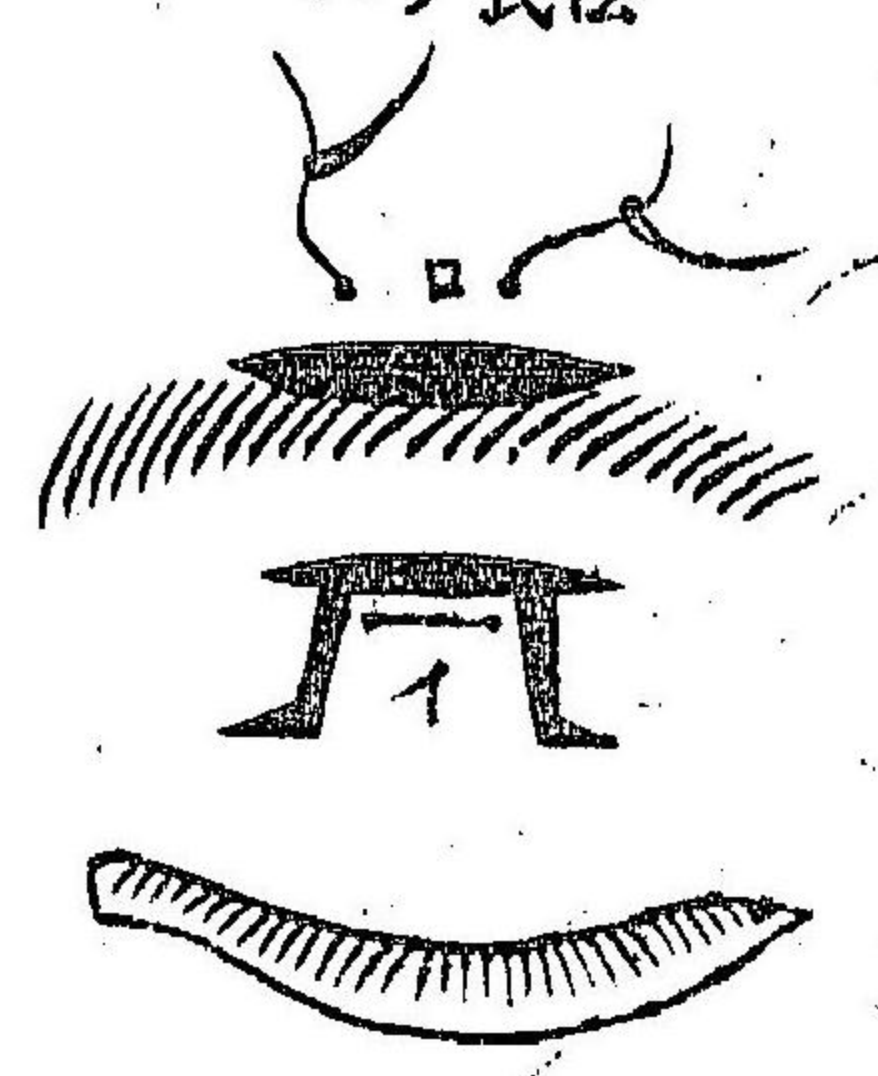
第三十八圖
バゲンステッヘル氏法



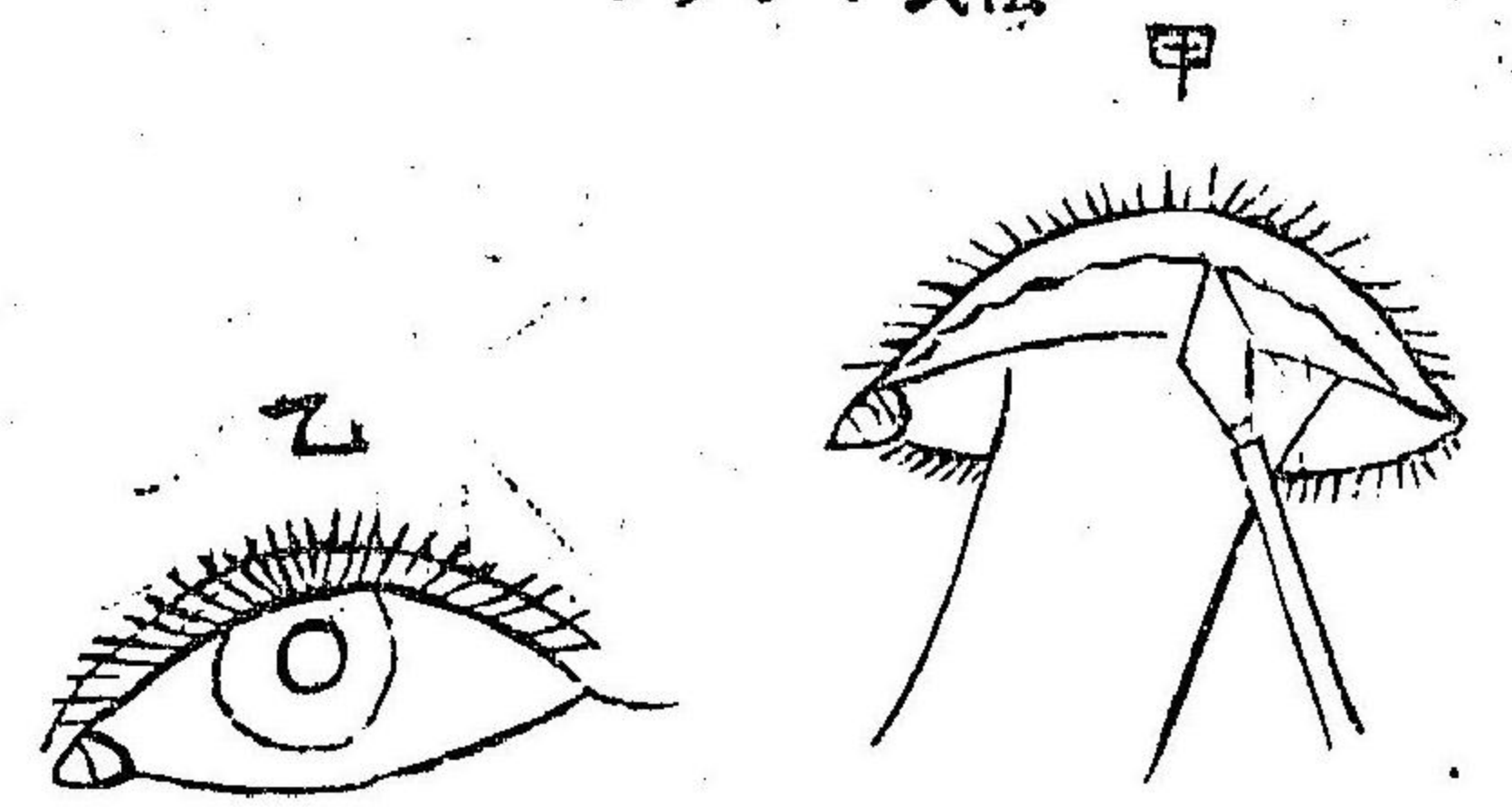
第九十三圖
ウェツケル氏法



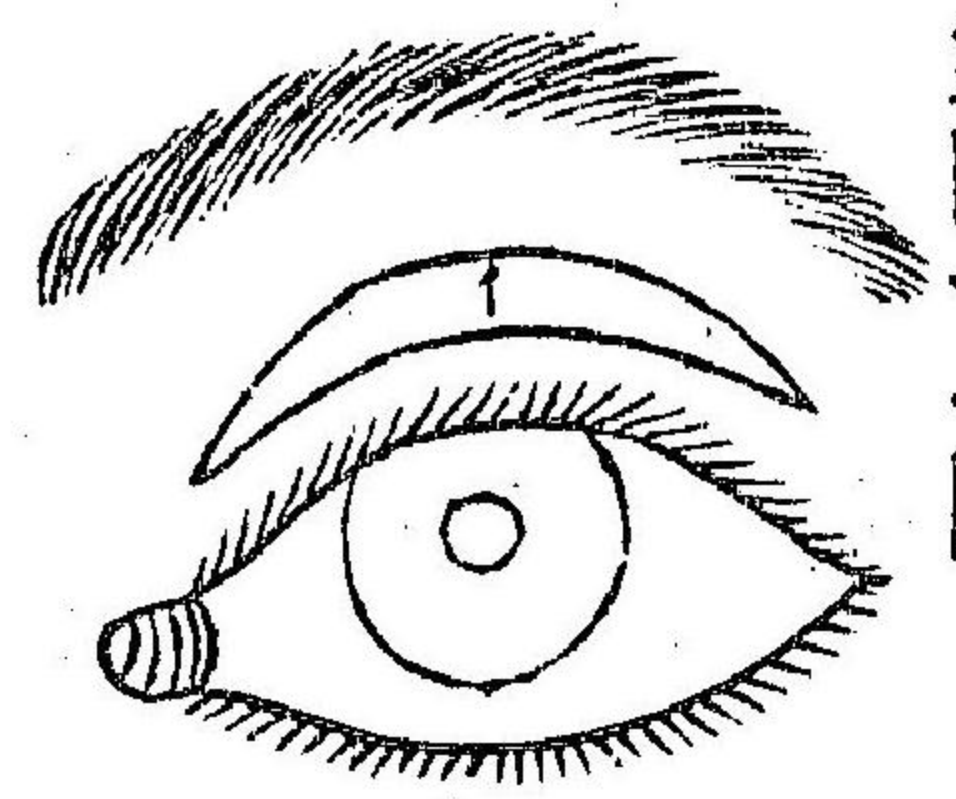
第十四圖
バナ氏法



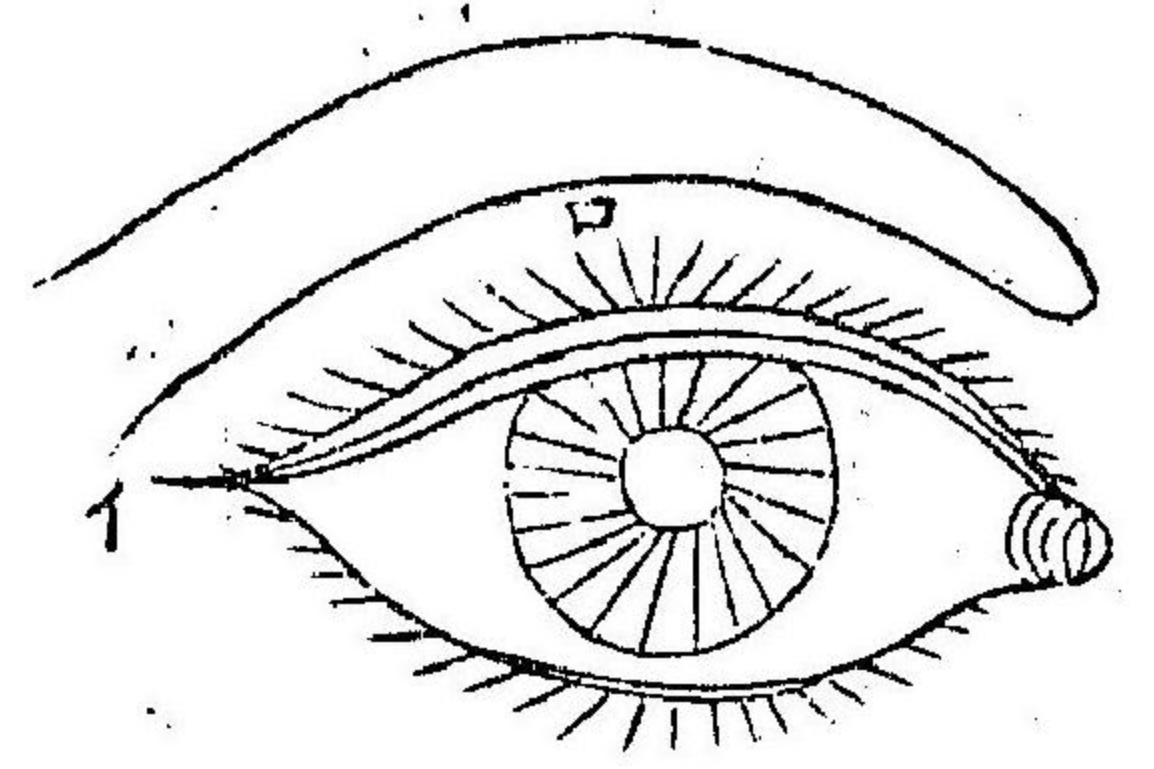
第二十四圖
フラレト氏法



第四十一圖
アヤクノ
タキス氏法

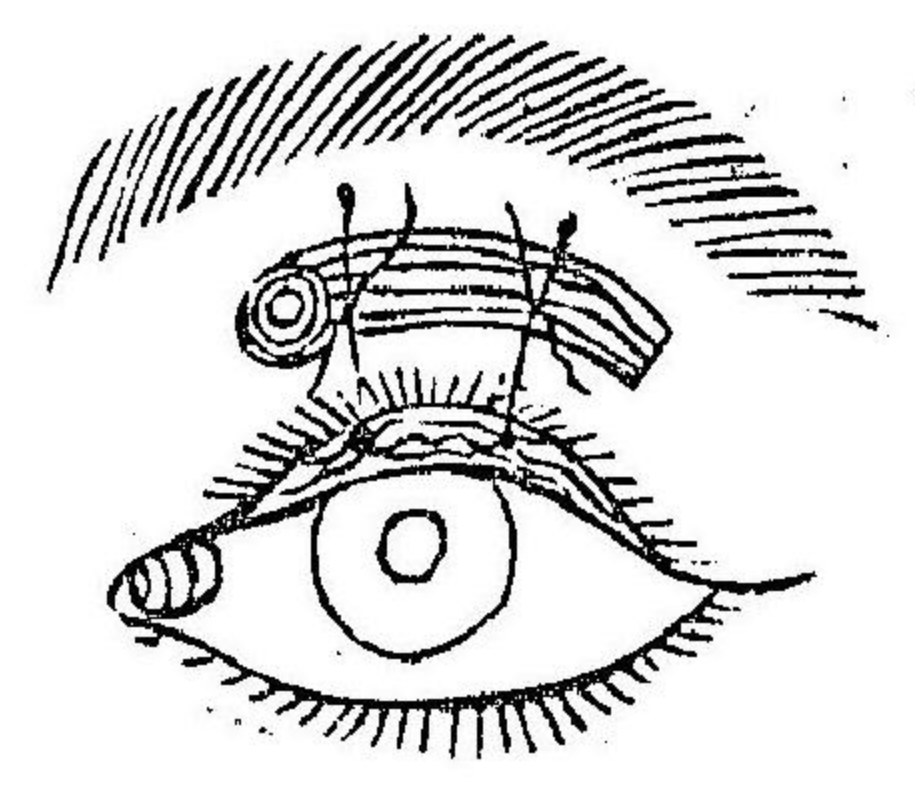


第四十四圖

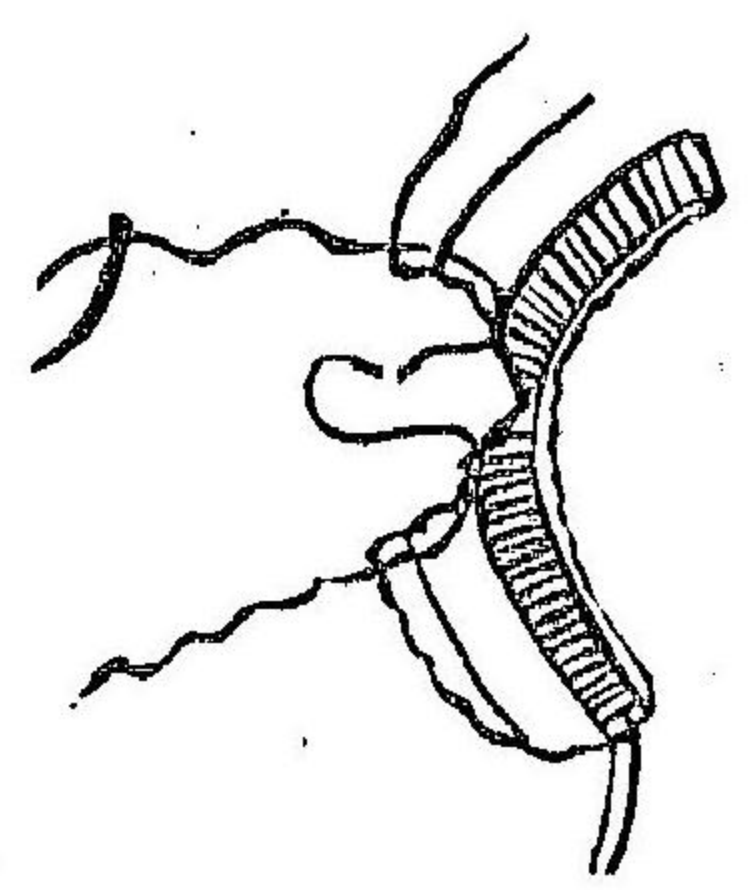


ヤコツアソソ
ポツシコス 両氏法

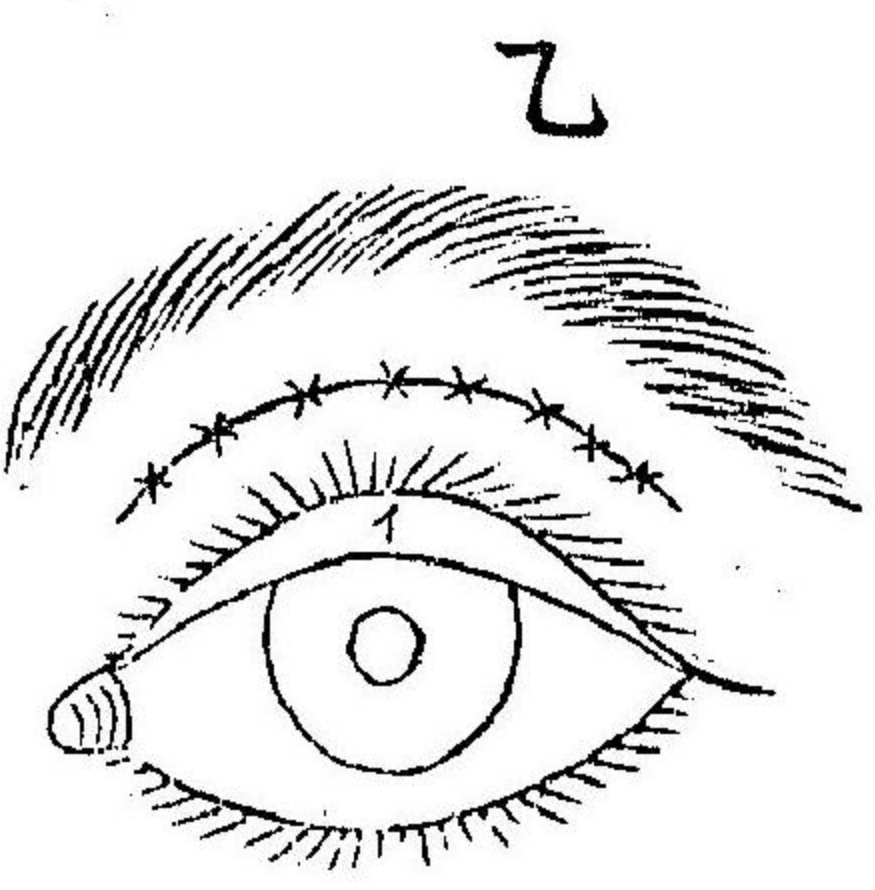
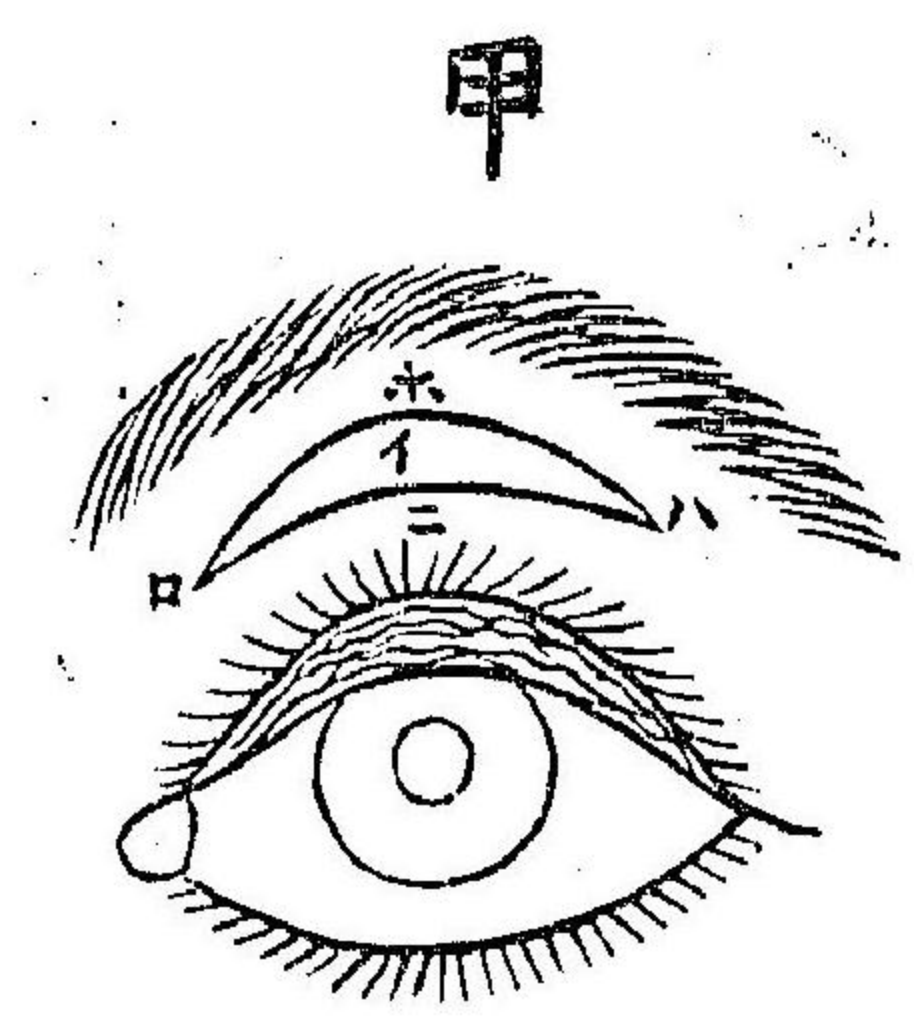
第四十六圖
藩方學士ノ法



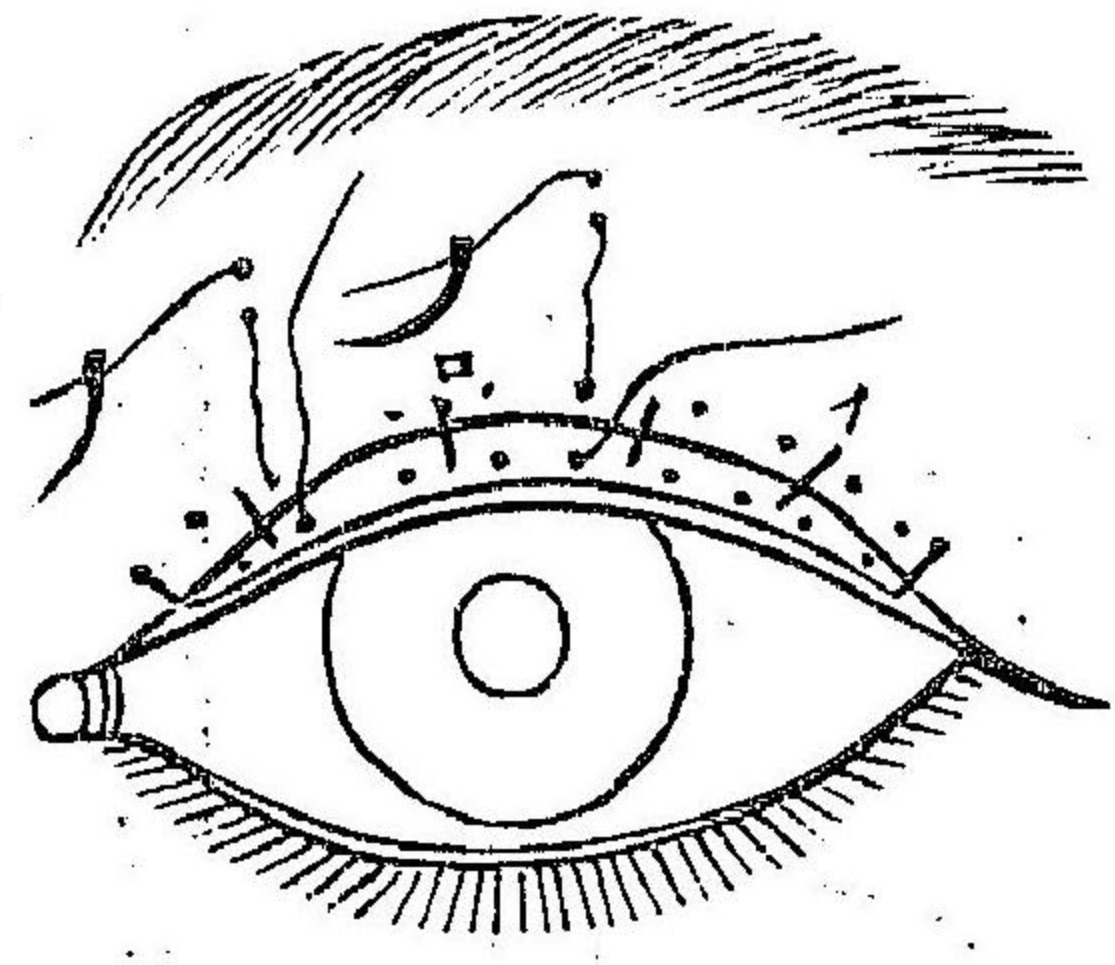
第四十三圖
ステルレン氏法



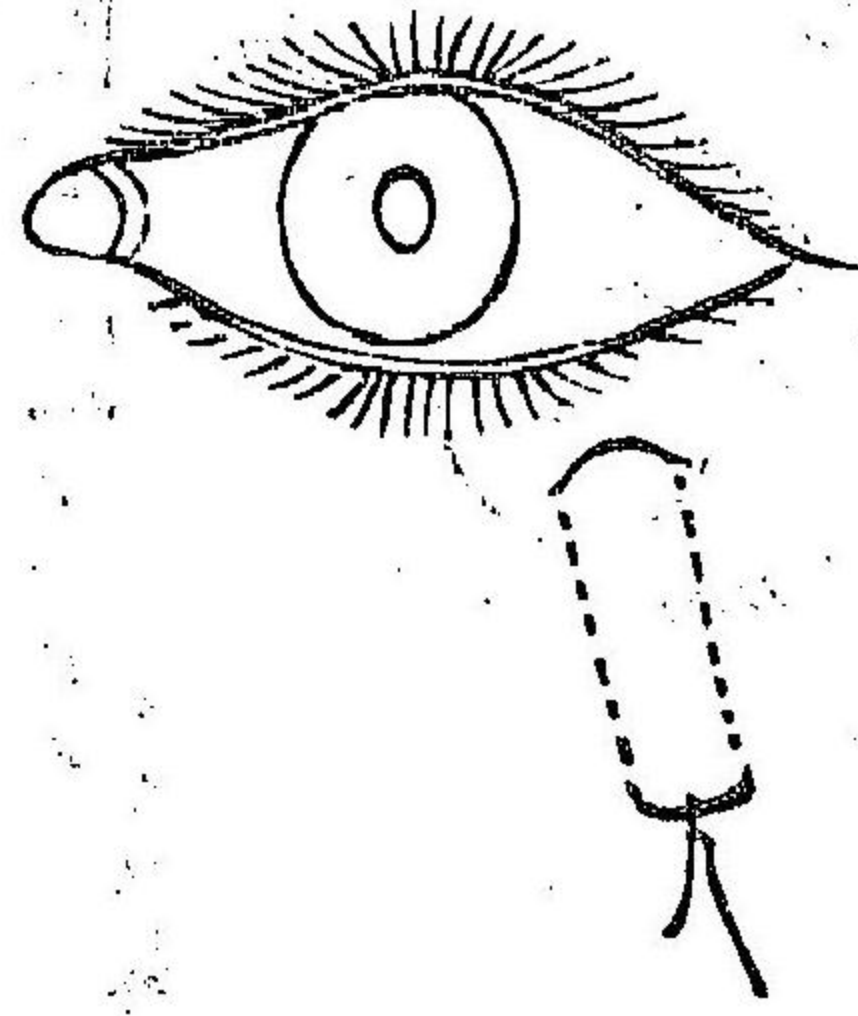
第四十五圖
河本博士ノ法



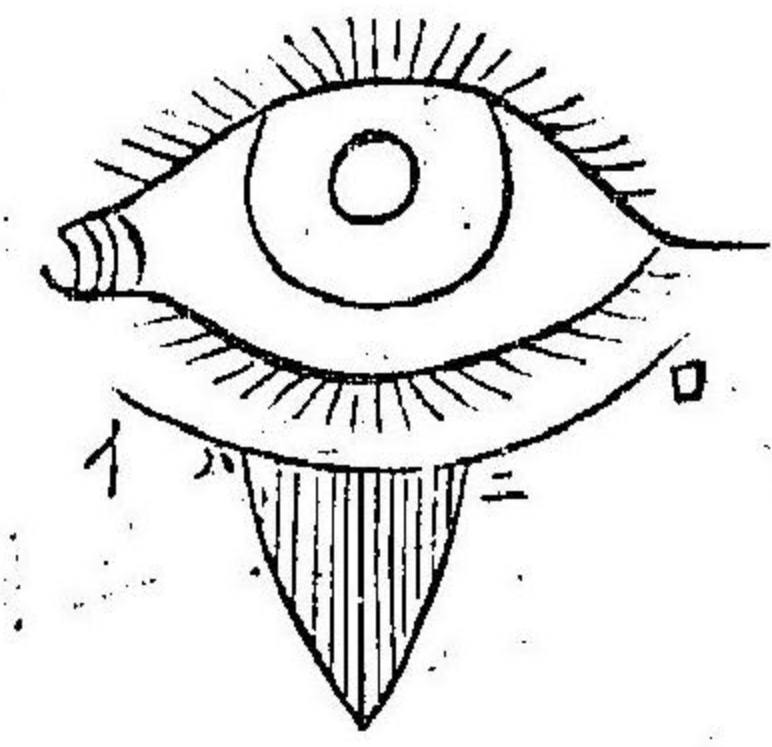
第四十七圖 余カ考案



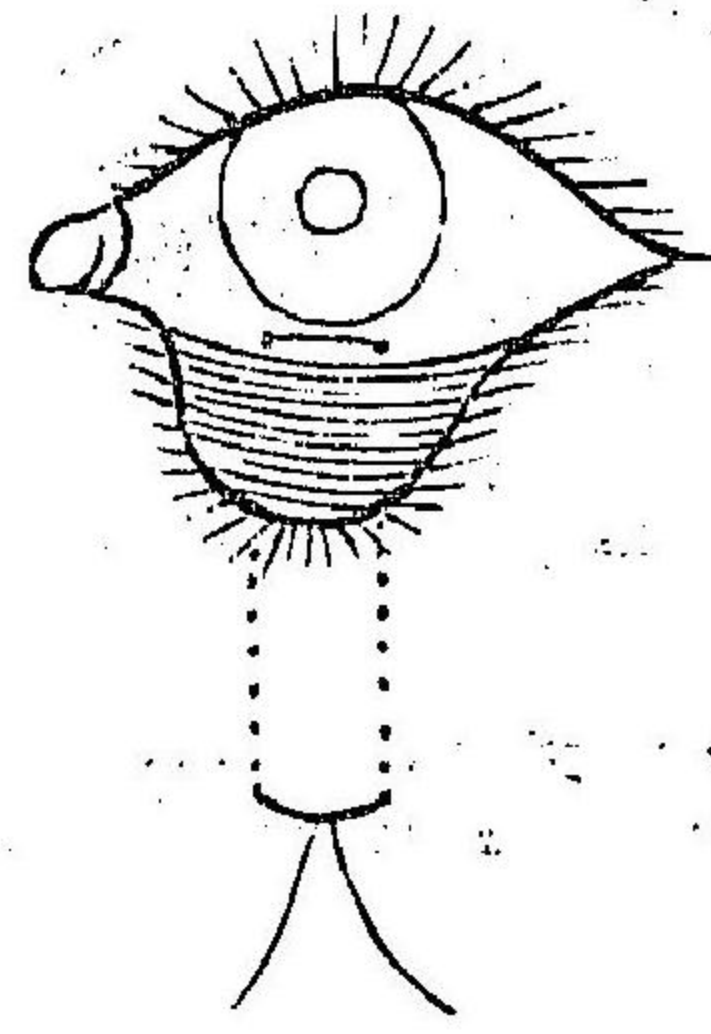
第四十八圖 シュラルル氏法



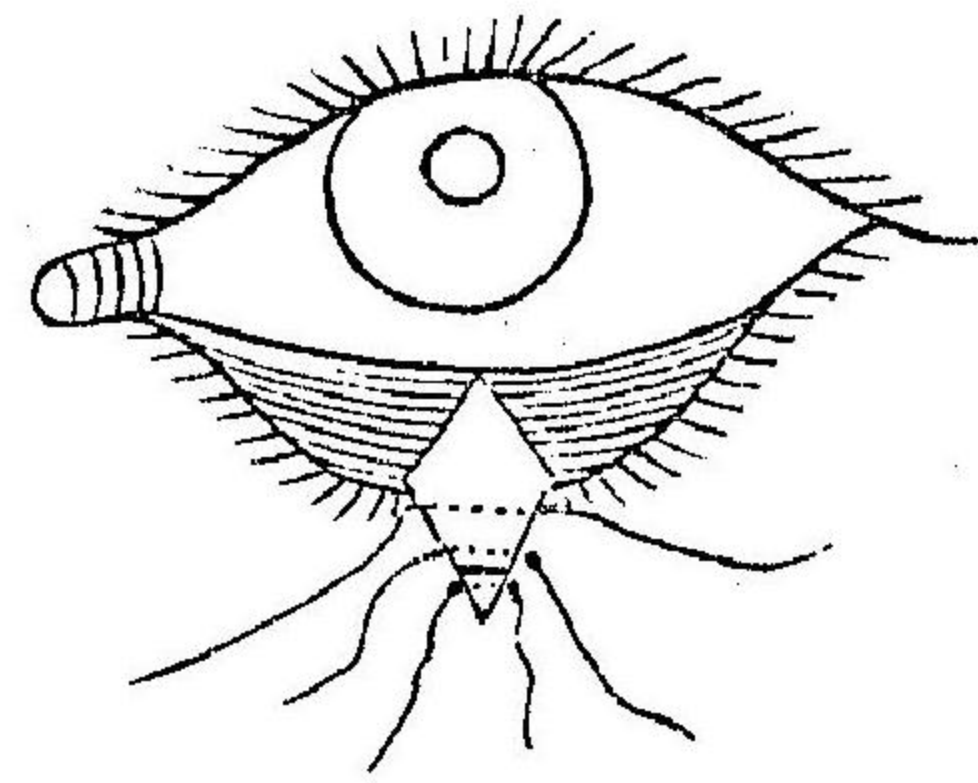
第四十九圖 グレフエ氏法



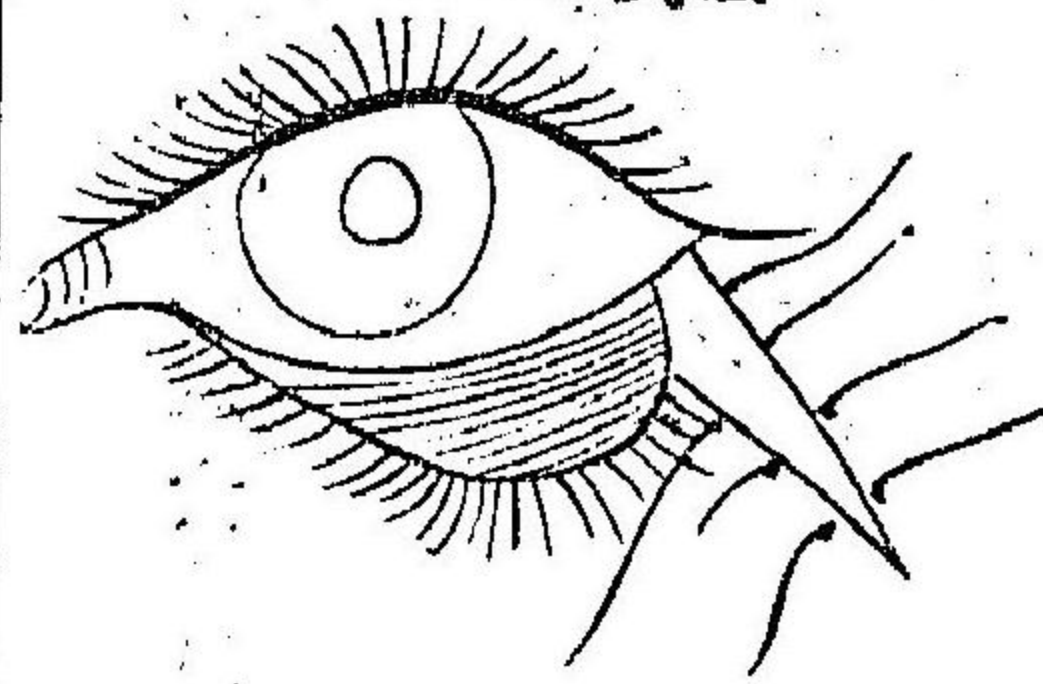
第五十圖 スチルレン氏法



第五十一圖 アダムス氏法



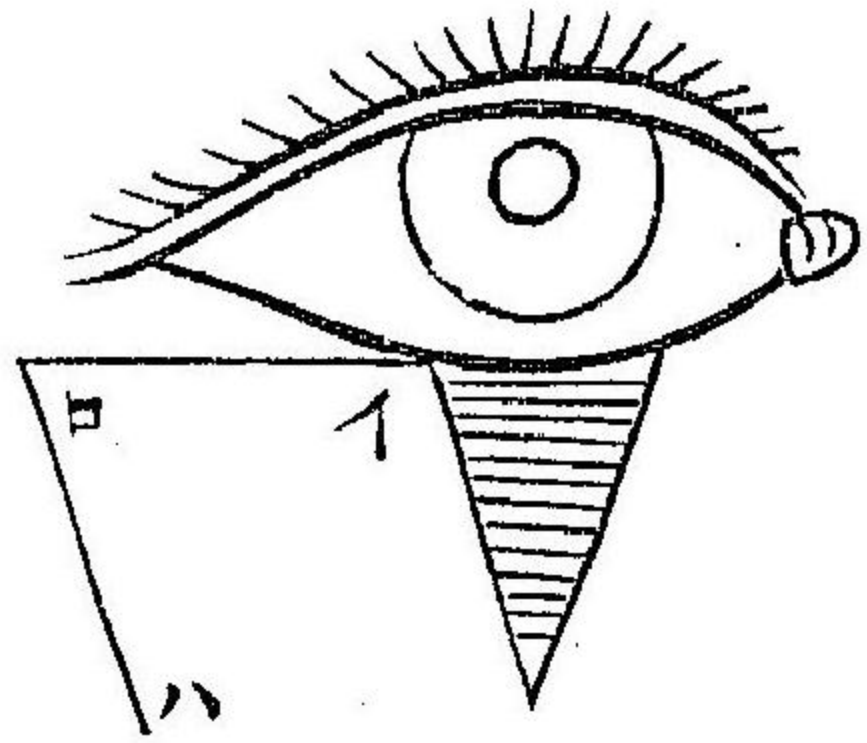
圖二十五第
アンモン氏法



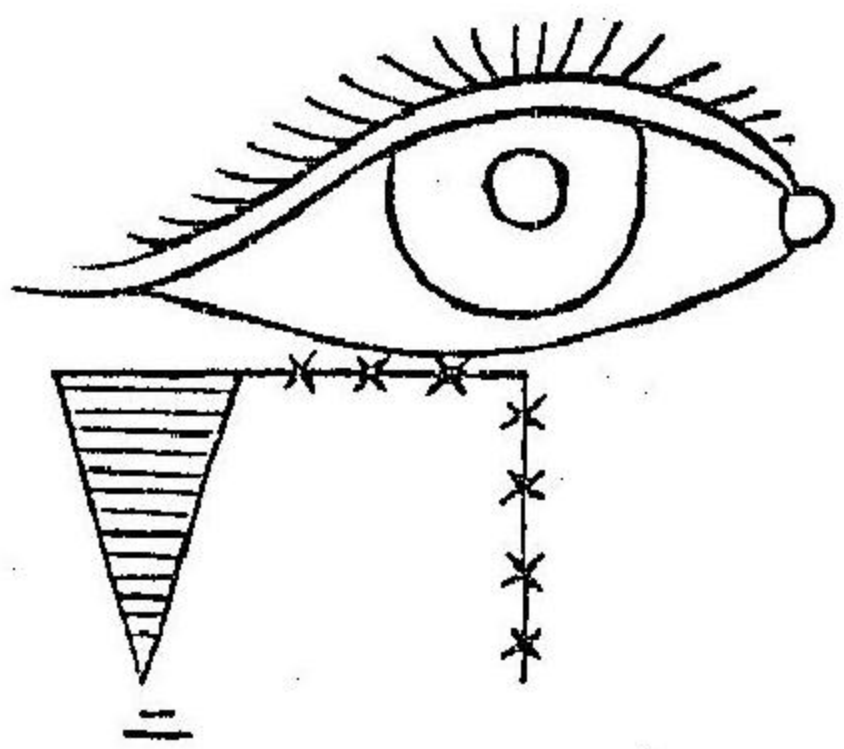
圖三十五第

(イロハ)ナル皮
辨チ遊リ以テ
欠損部ヲ補フ
然ルレハ(ニ)ナ
ハ新創面ヲ生
ス

甲



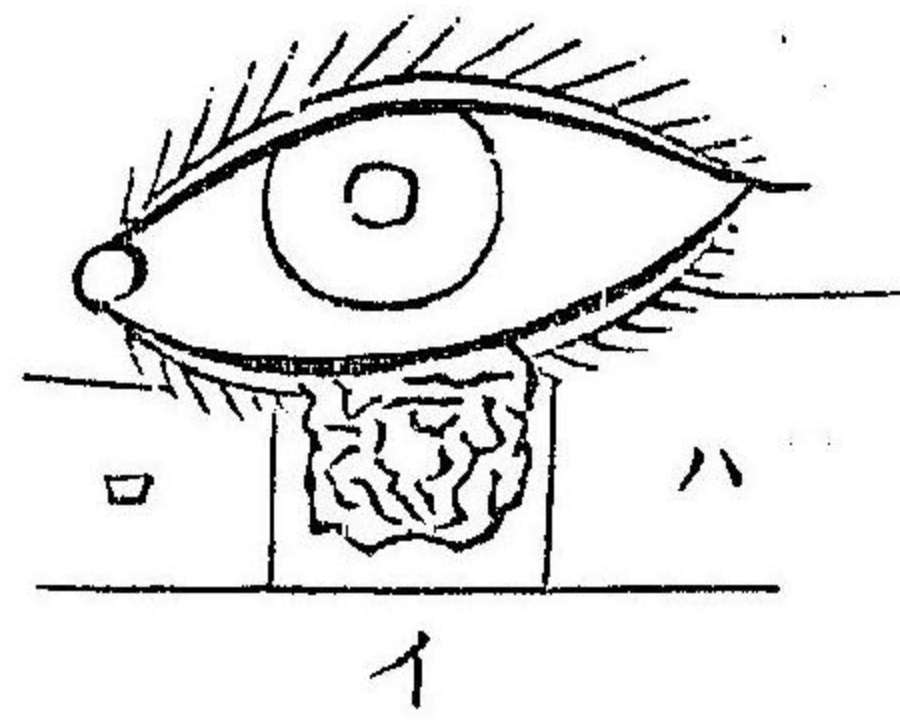
乙



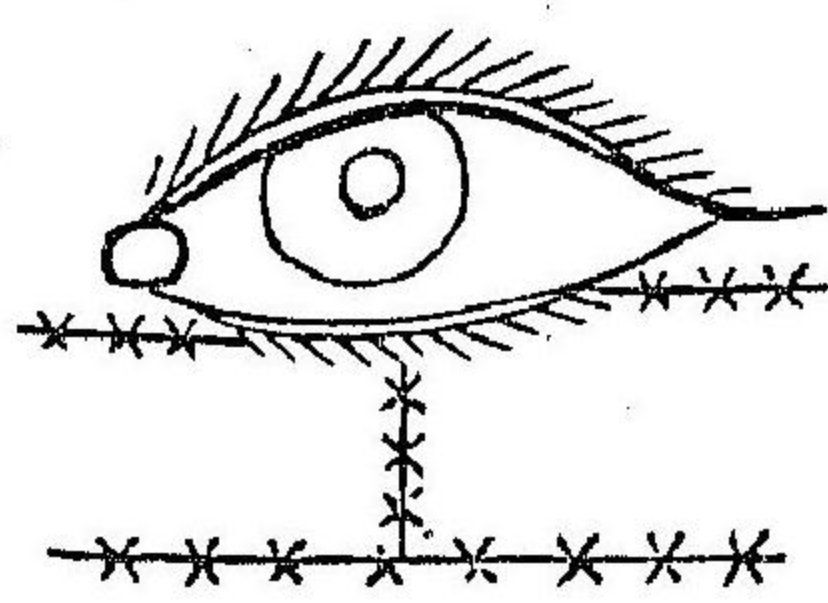
圖四十五第

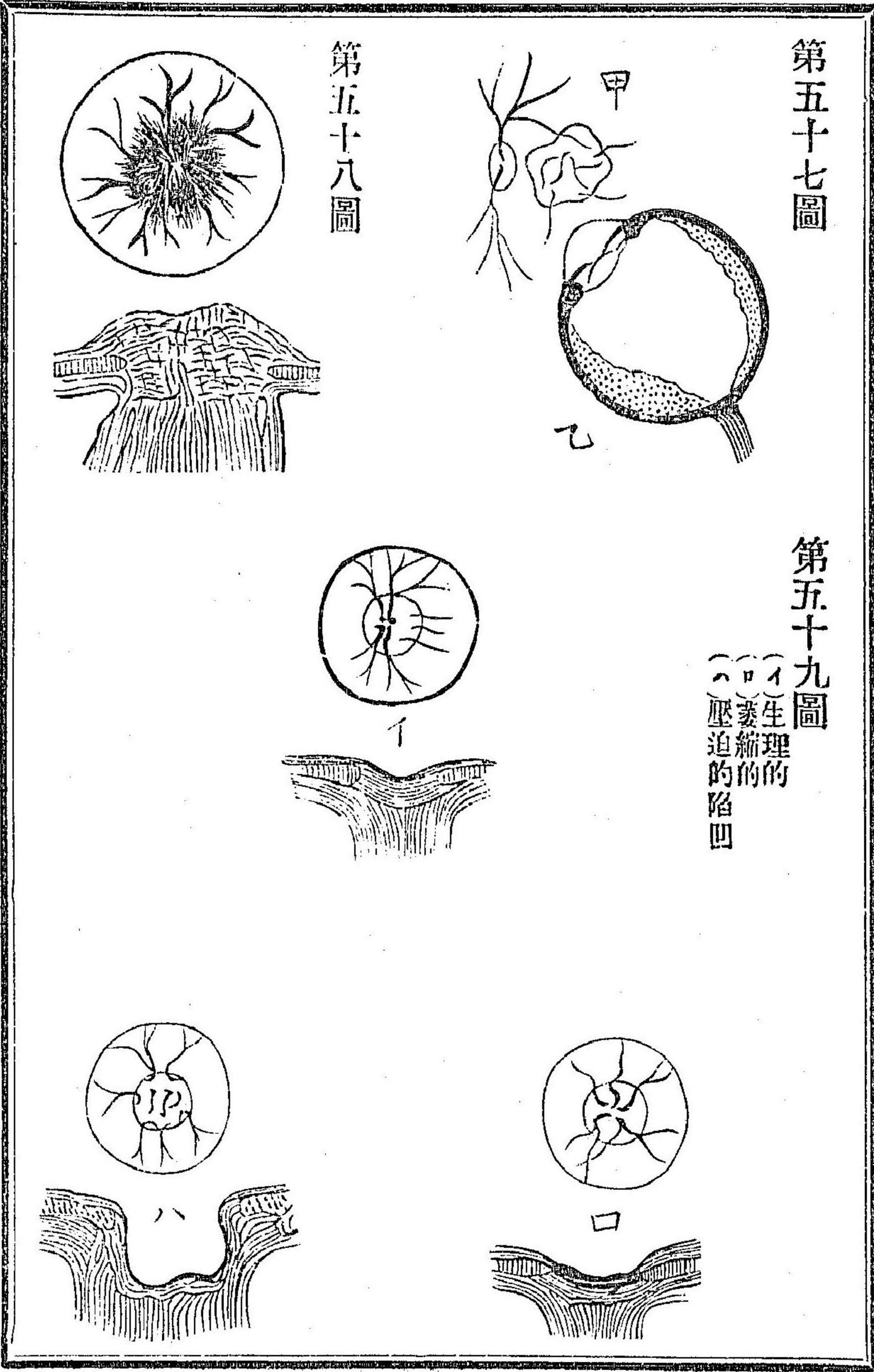
(イ)ナル欠損部
ル補フニハ(ロ
ハ)ナル皮辨チ
造リ以テ乙ノ
如ク縫合ス

甲



乙



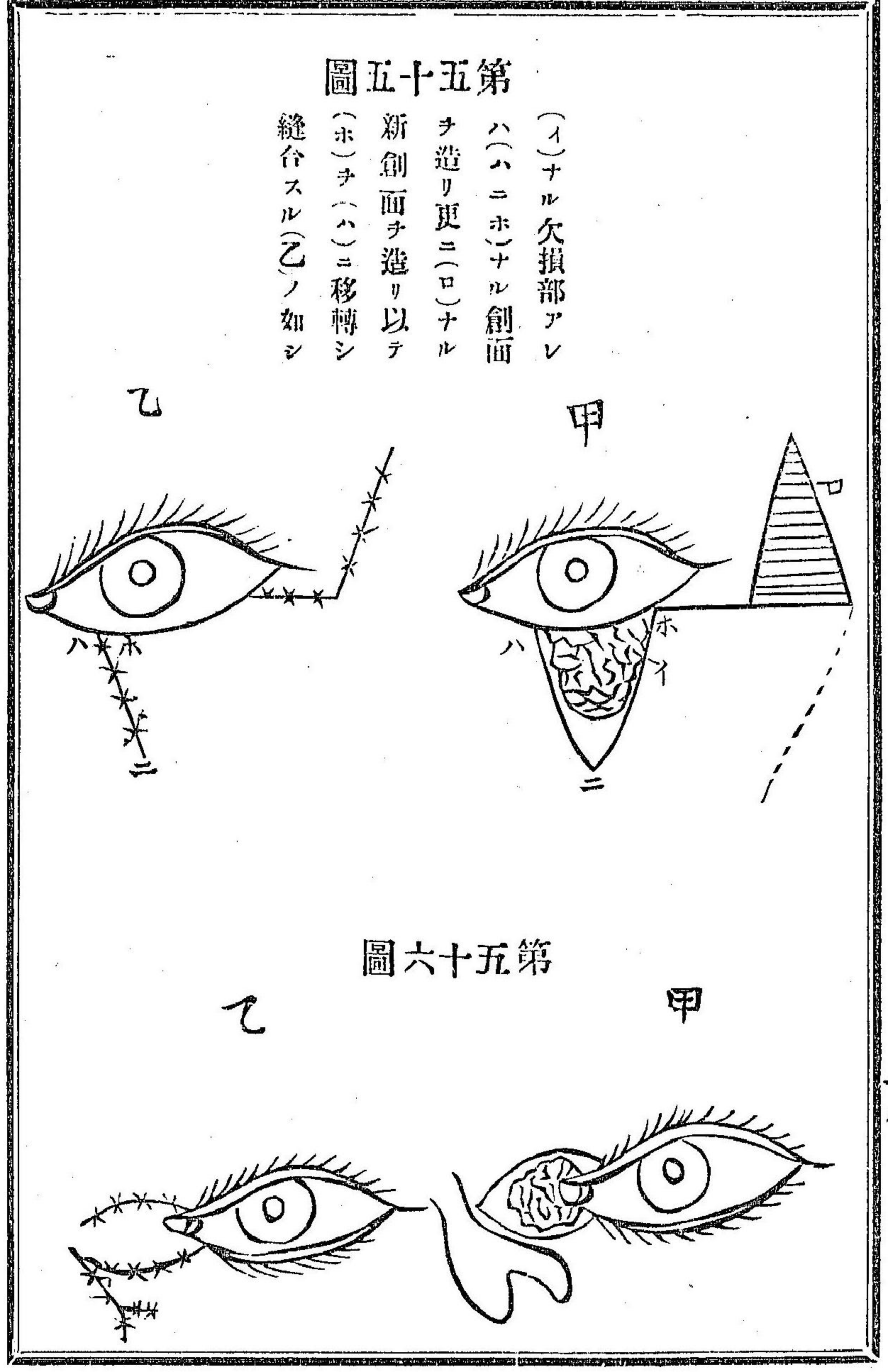


第五十七圖

第五十九圖

(イ)生理的
(ロ)萎縮的
(ハ)壓迫的陷凹

第五十八圖

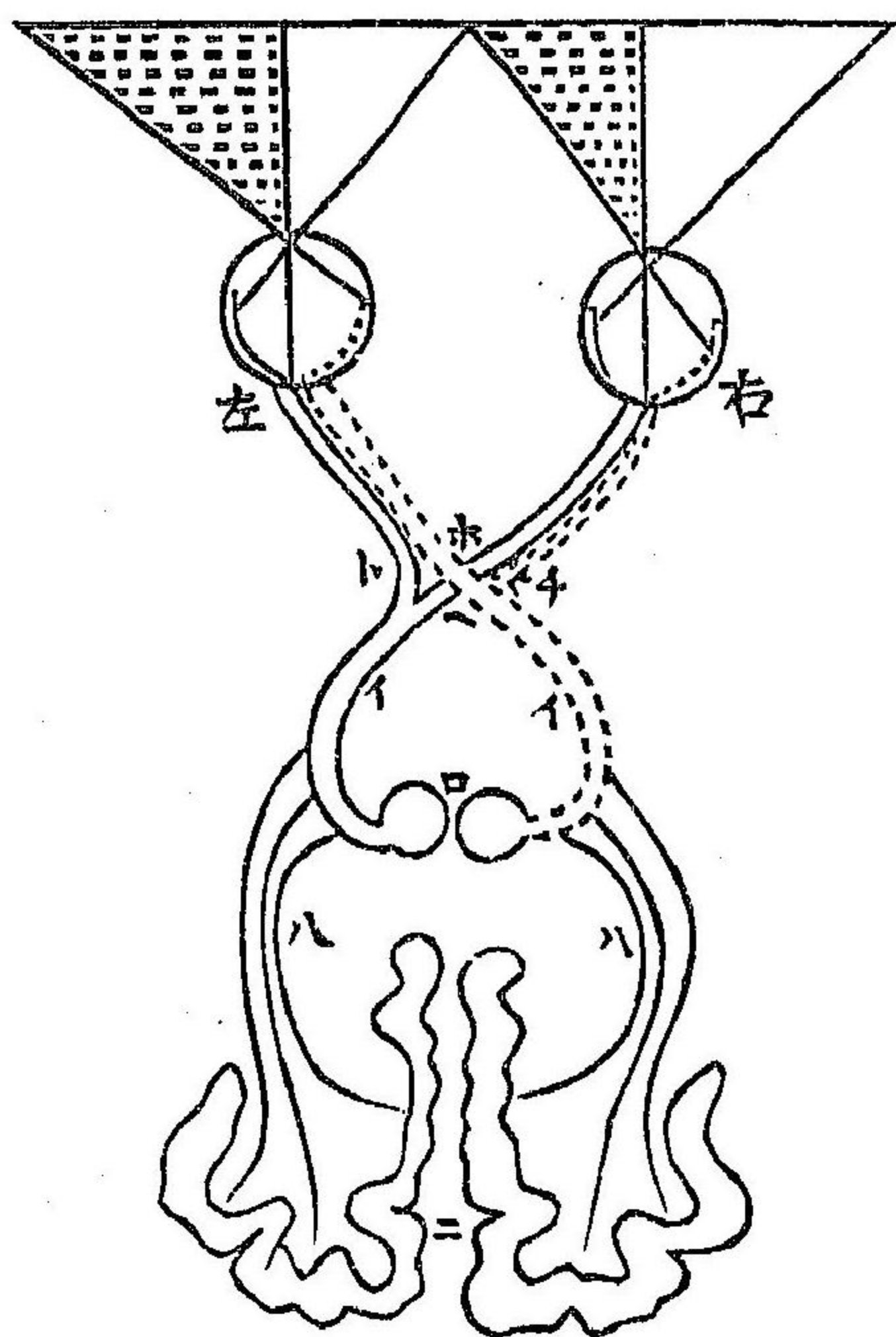


第五十五圖

(イ)ナル欠損部アレ
(ハ)ニホナル創面
ヲ造リ更ニ(ロ)ナル
新創面ヲ造リ以テ
(ホ)ニ移轉シ
縫合スル(乙)ノ如シ

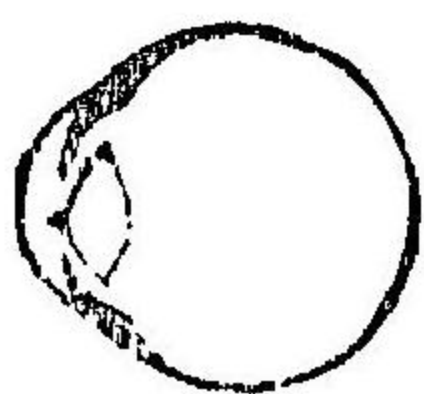
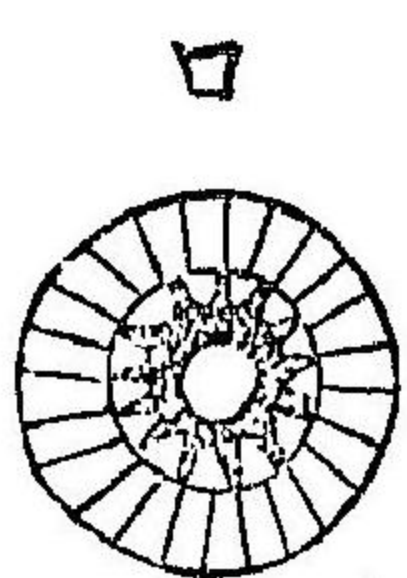
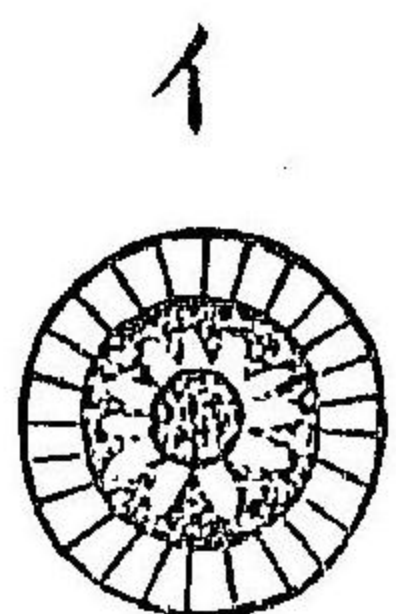
第六十五圖

第六十圖

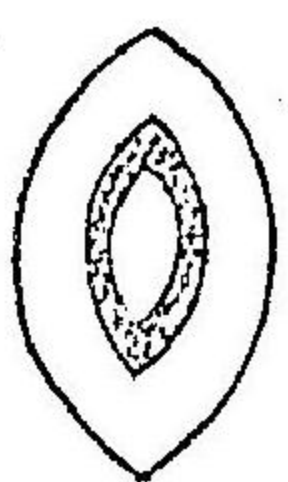


イ 視神經
ニ ハ グ ラ チ オ 氏 纖維
ニ 后頭葉皮質
口 其中樞

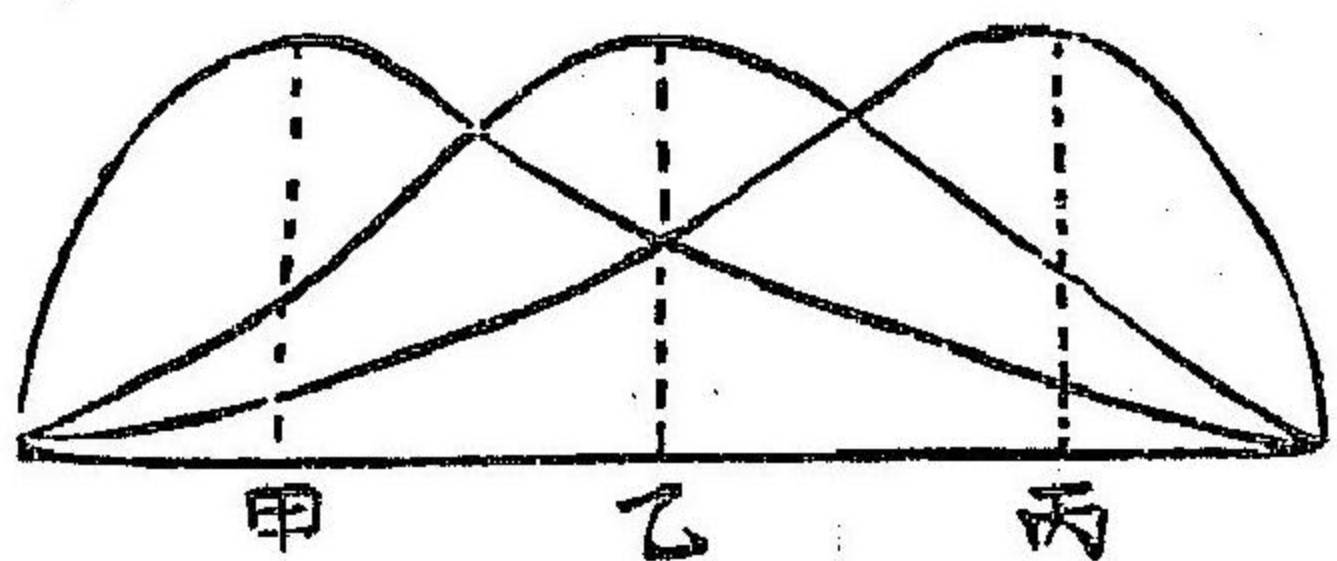
第六十三圖



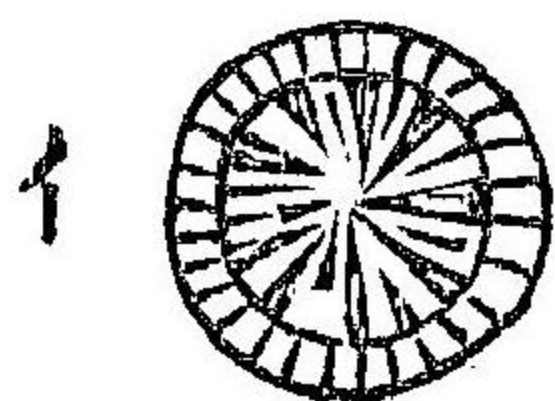
第六十二圖



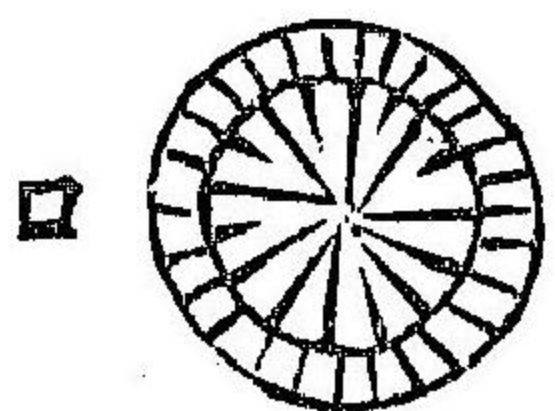
第六十一圖



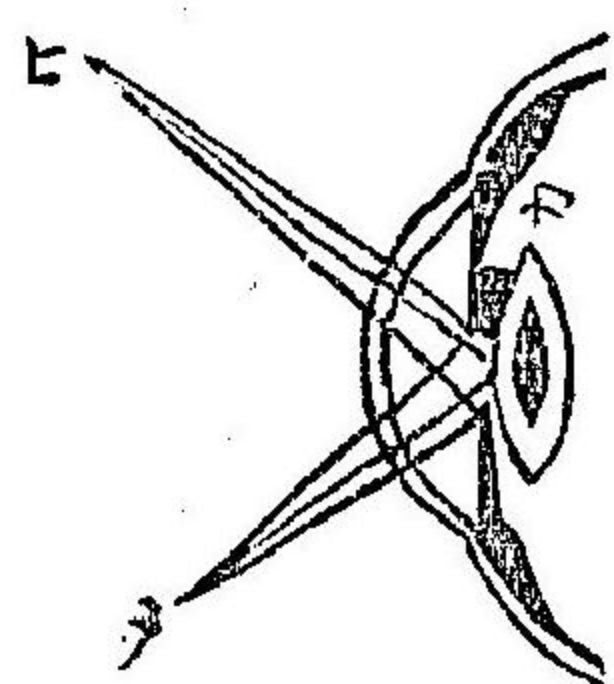
第六十五圖



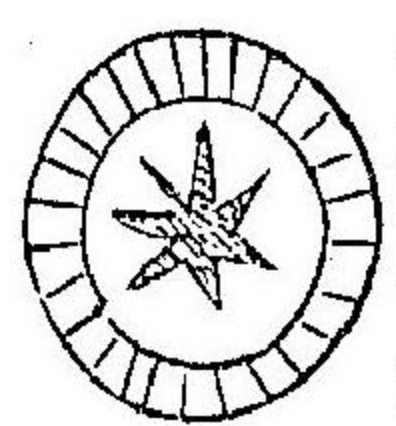
イ 軟性
口 硬性



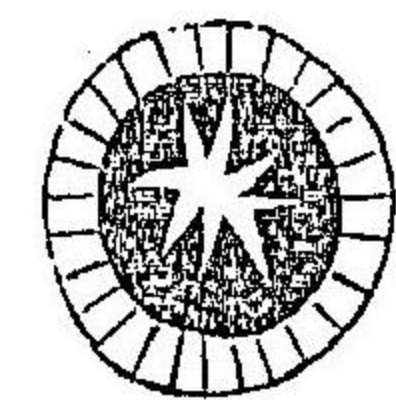
第六十六圖



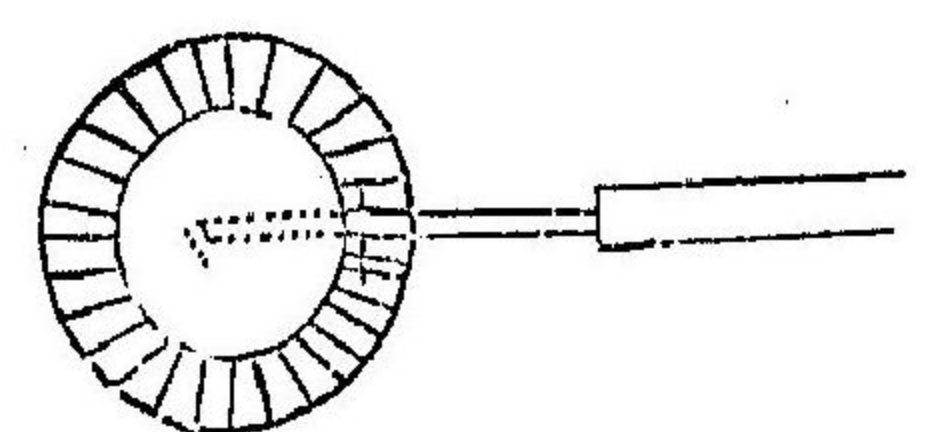
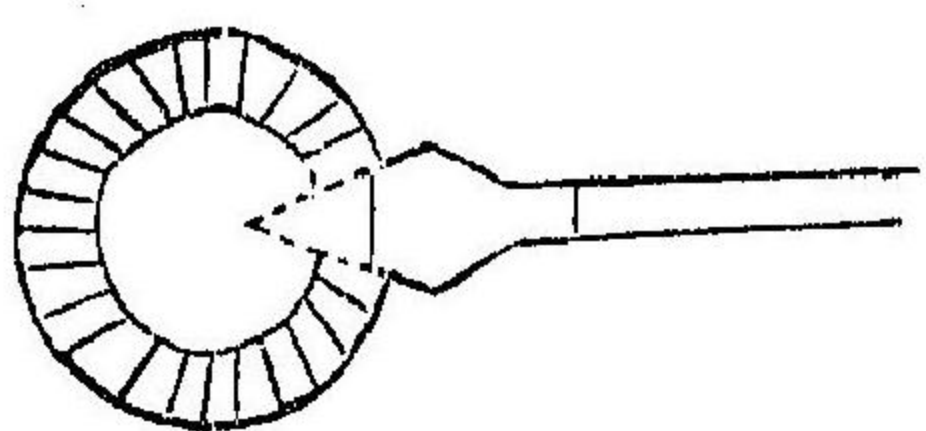
第六十四圖



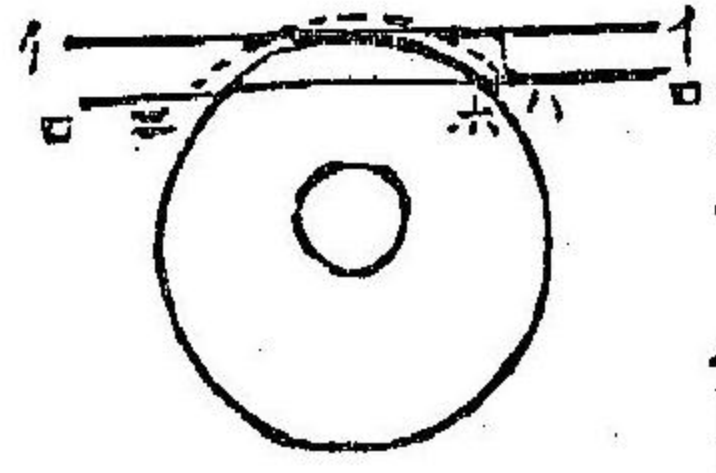
イ 徹照法
口 斜照法



第六十七圖

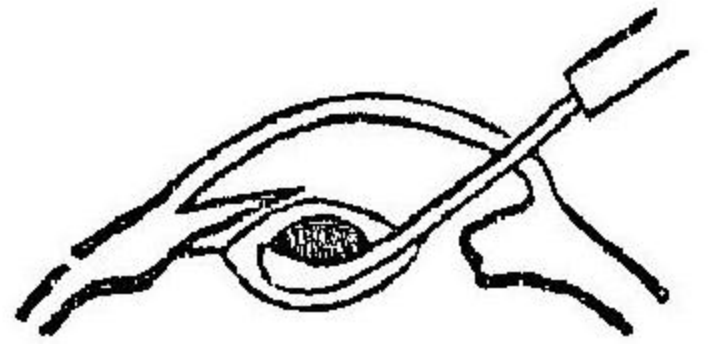


第六十八圖

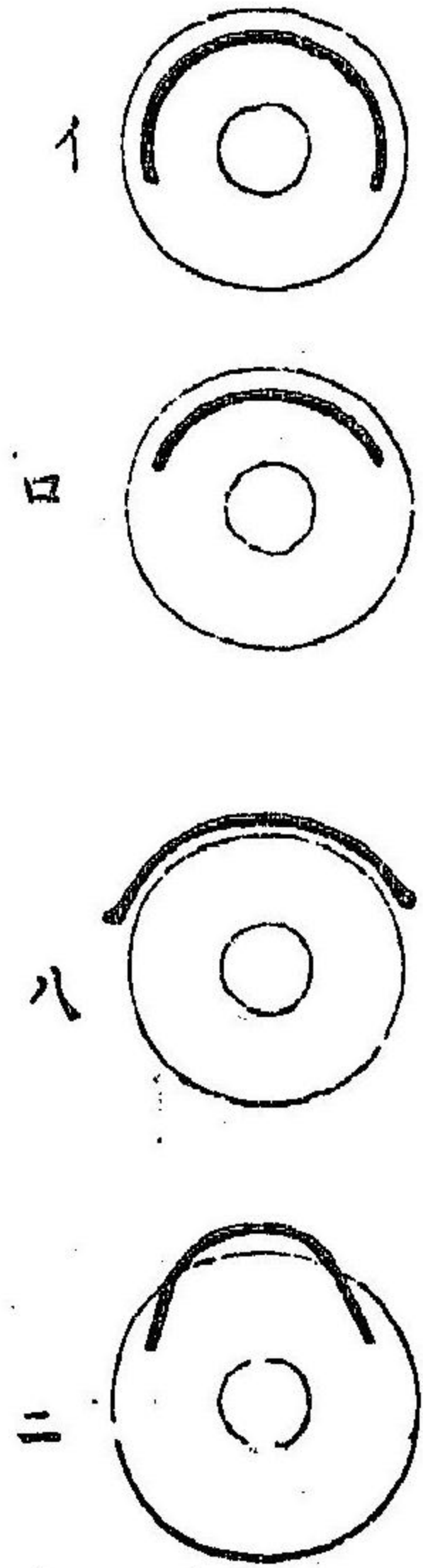


(イ) 觸線 (ハ) 並行線
(ハ) 刺入点 (三) 刺出点
(ホ) 並行点ト角膜縁ノ接合点

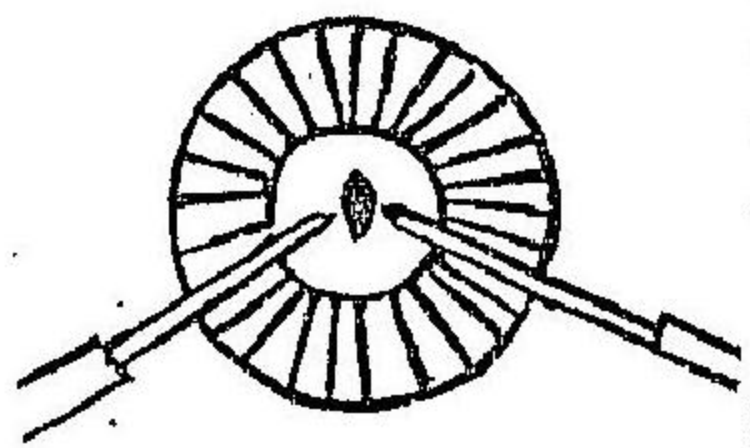
圖一十七第



第六十九圖



第七十二圖



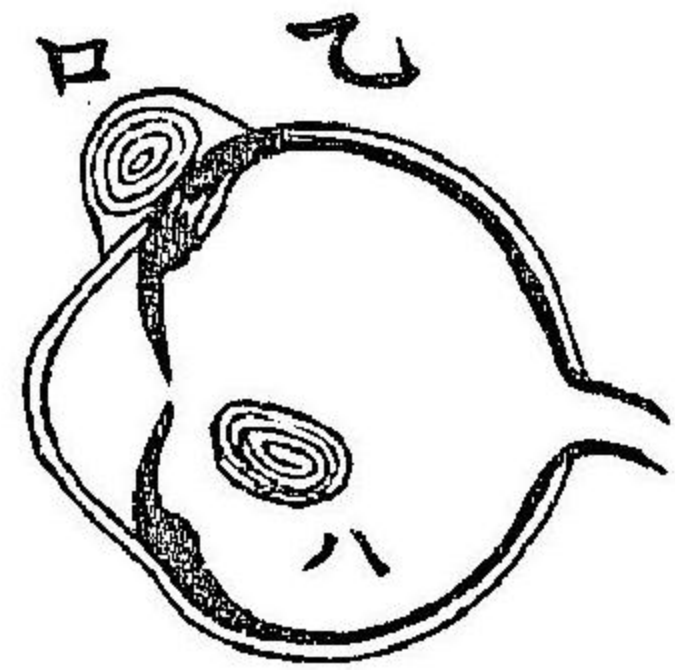
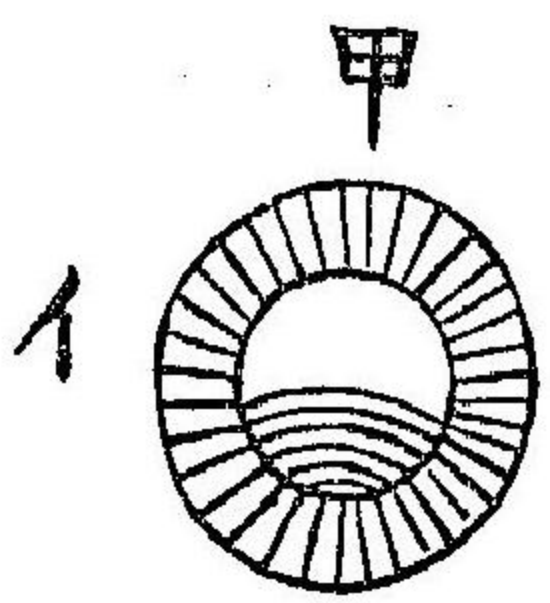
第七十三圖



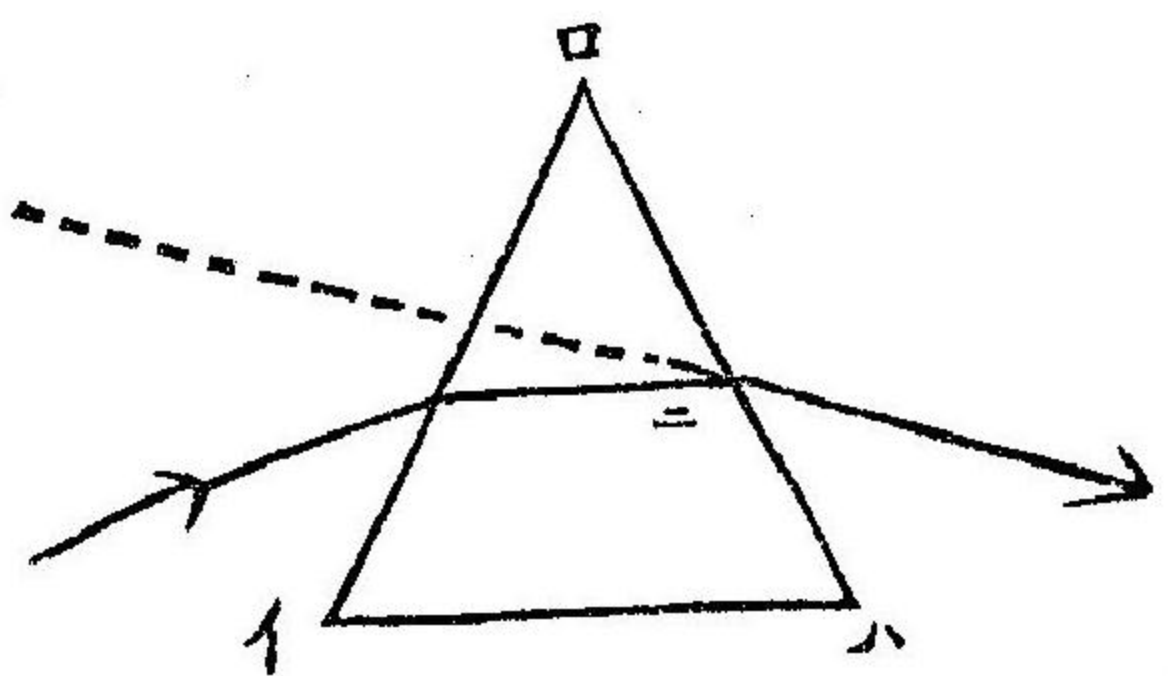
ロ ハ イ



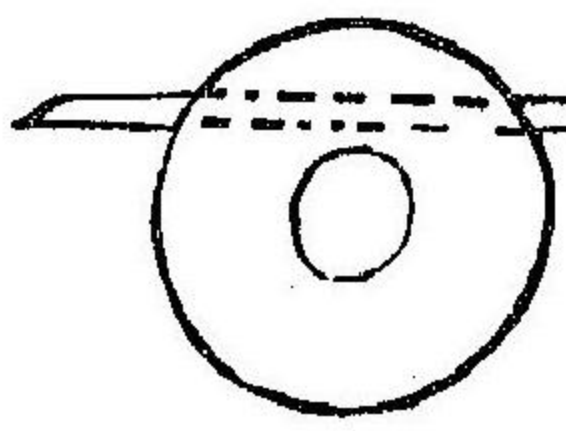
第七十四圖

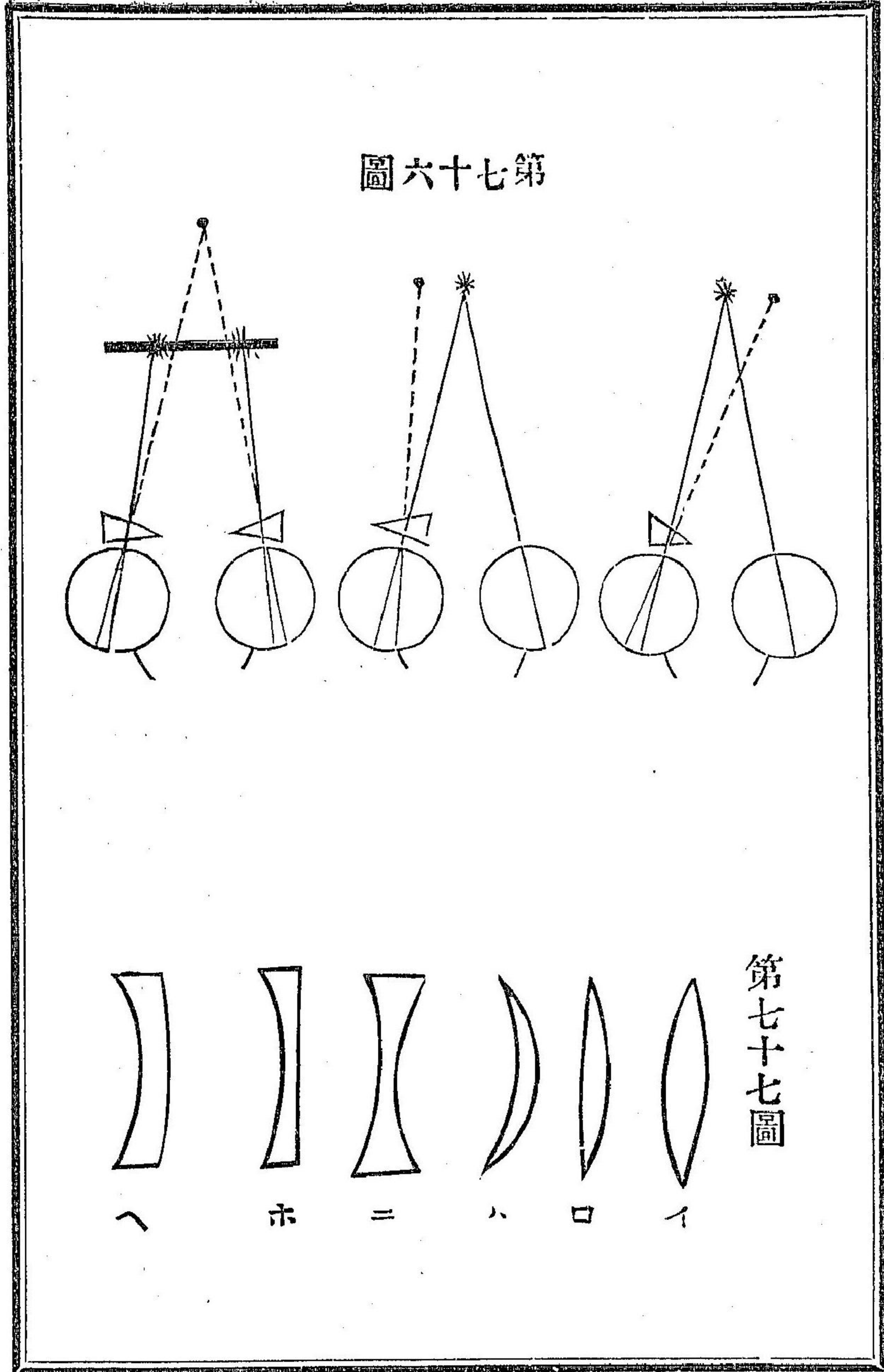
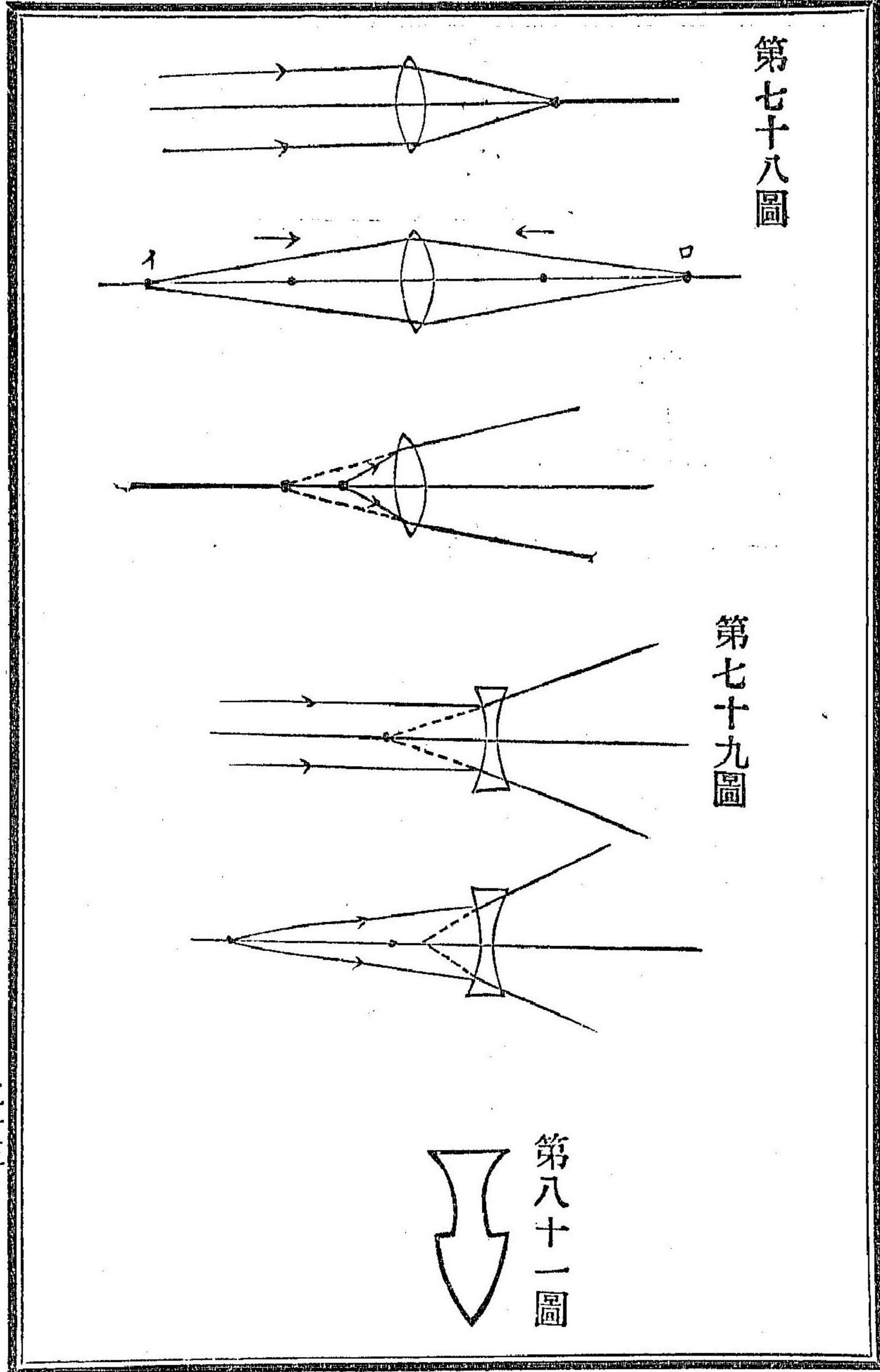


第七十五圖

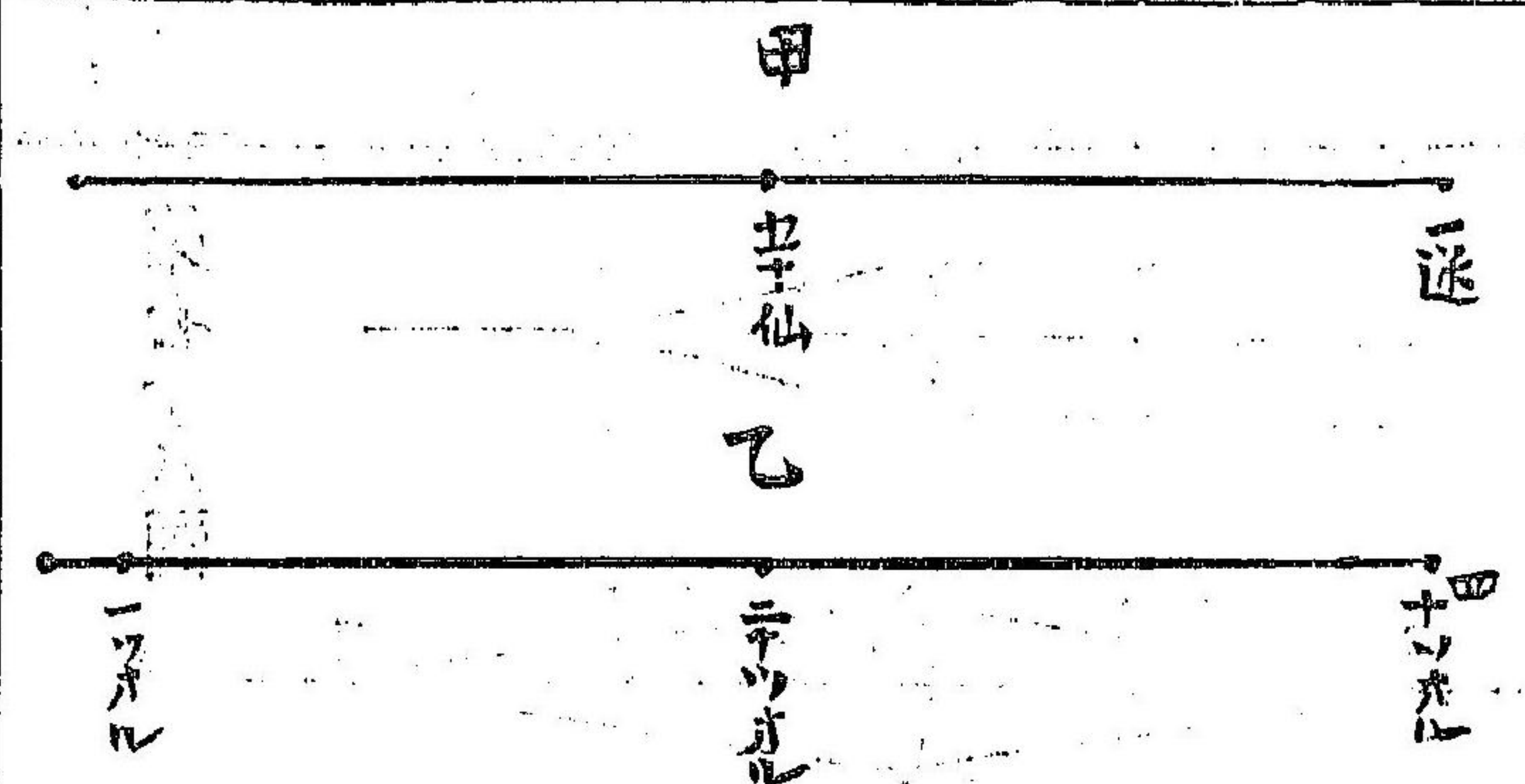


第七十圖

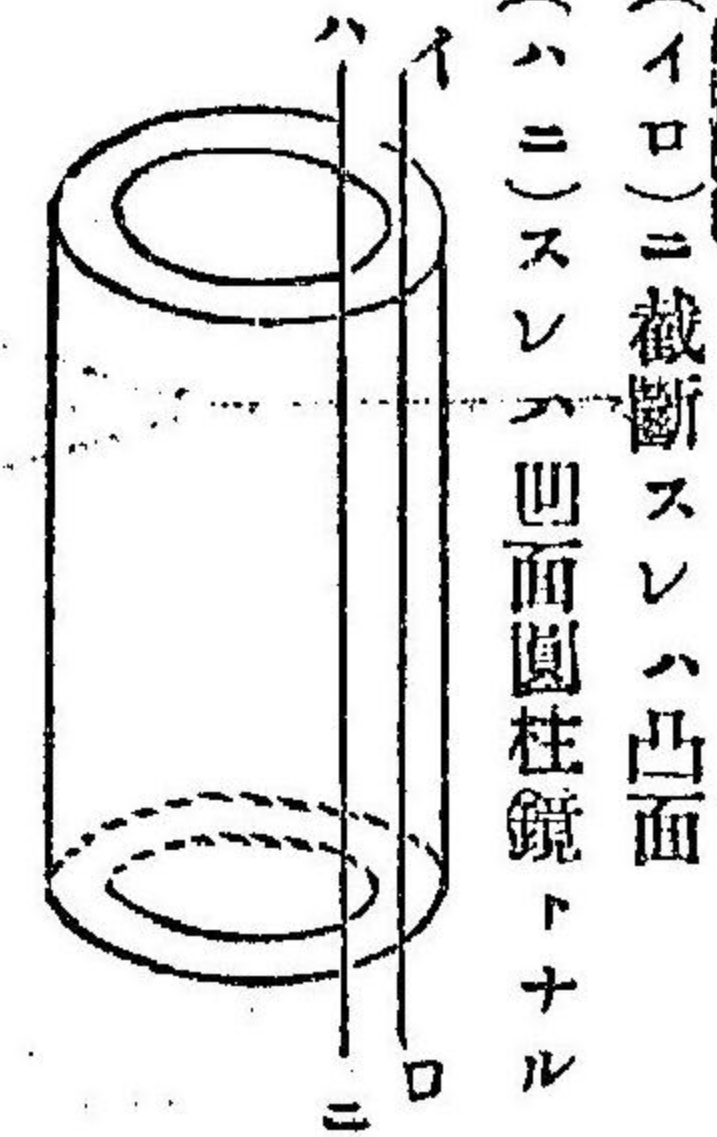




第八十圖

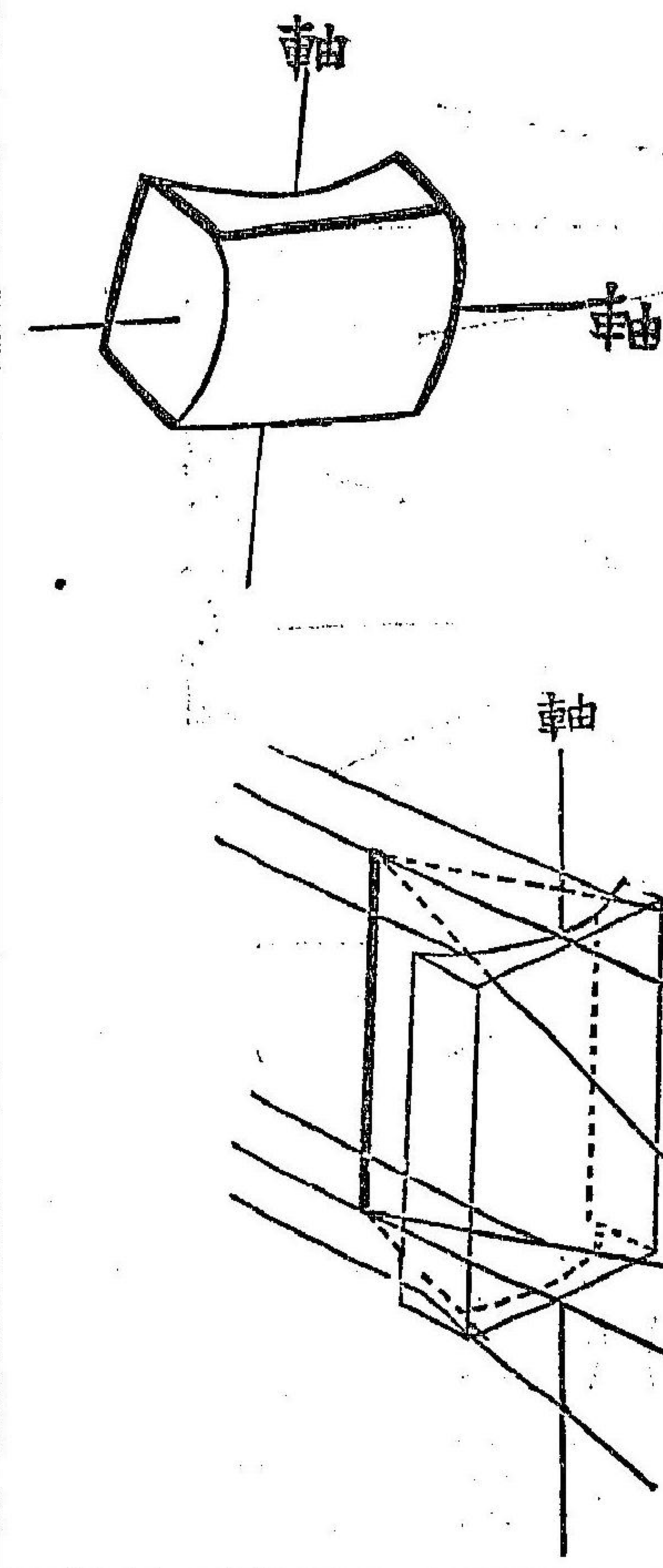


第八十二圖

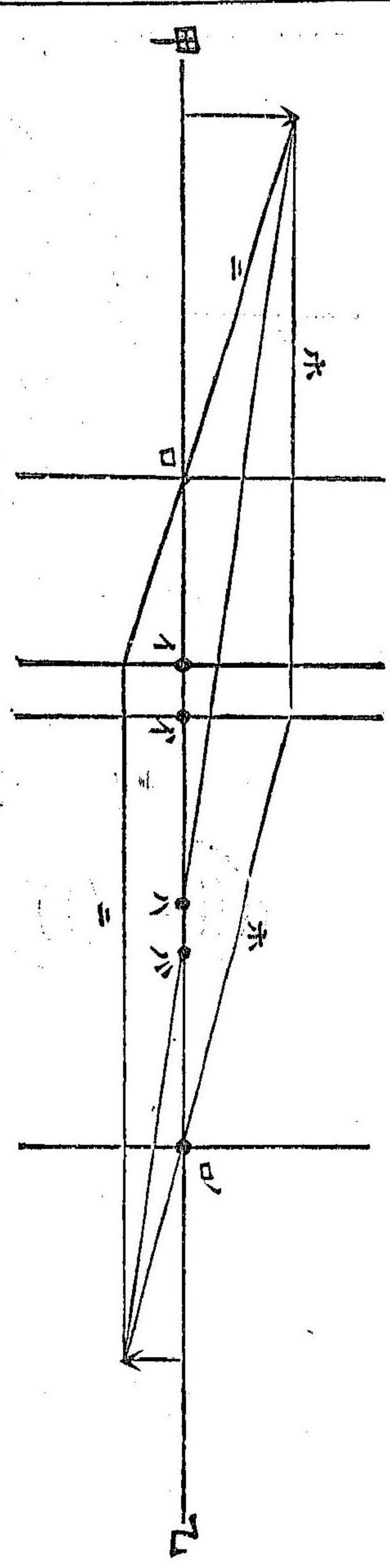


(イロ)ニ截斷スレハ凸面
(ハニ)スレハ凹面圓柱鏡トナル

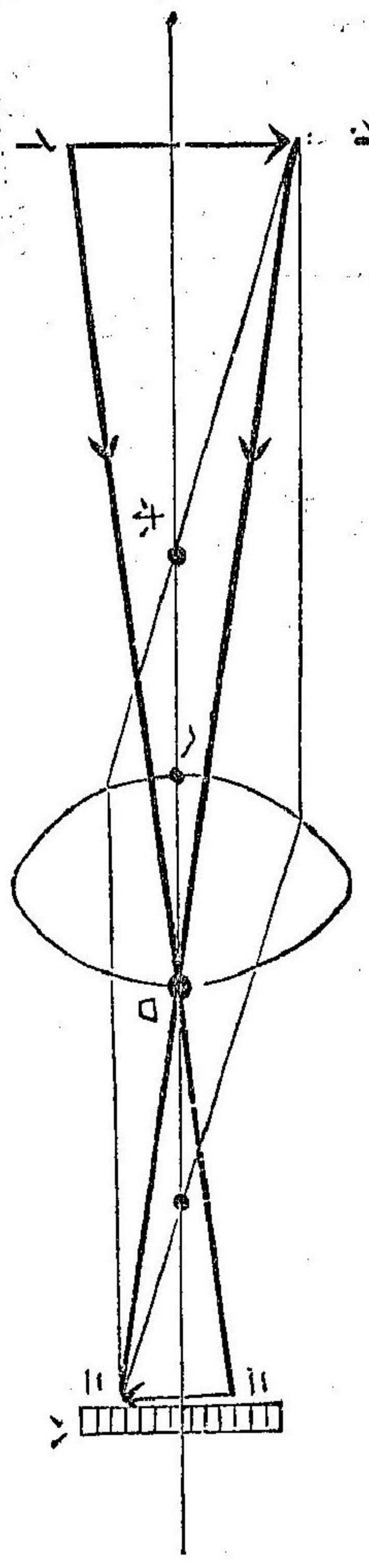
第八十三圖



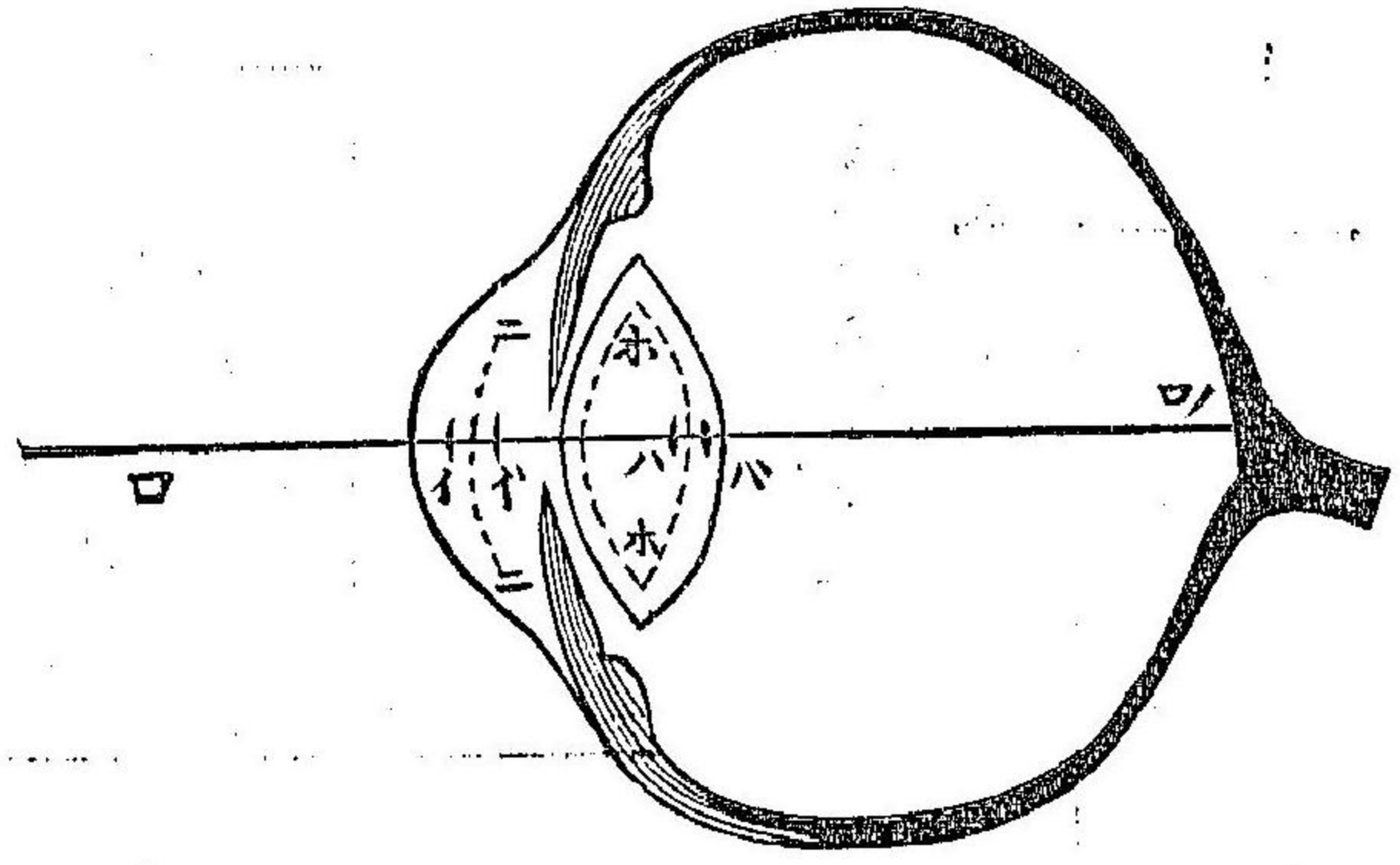
第八十四圖



第八十六圖



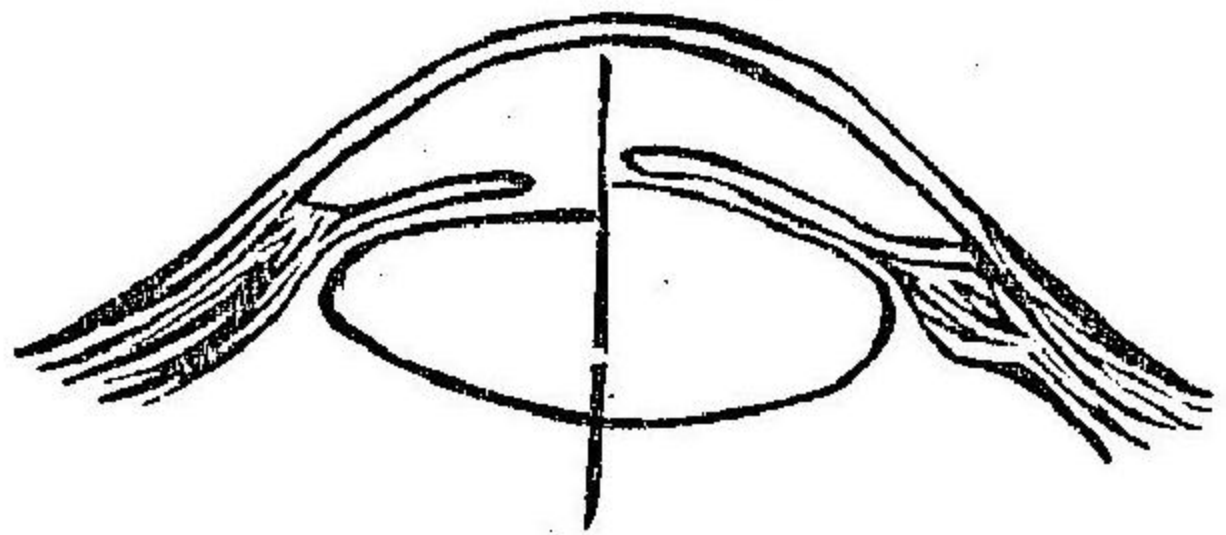
第八十五圖



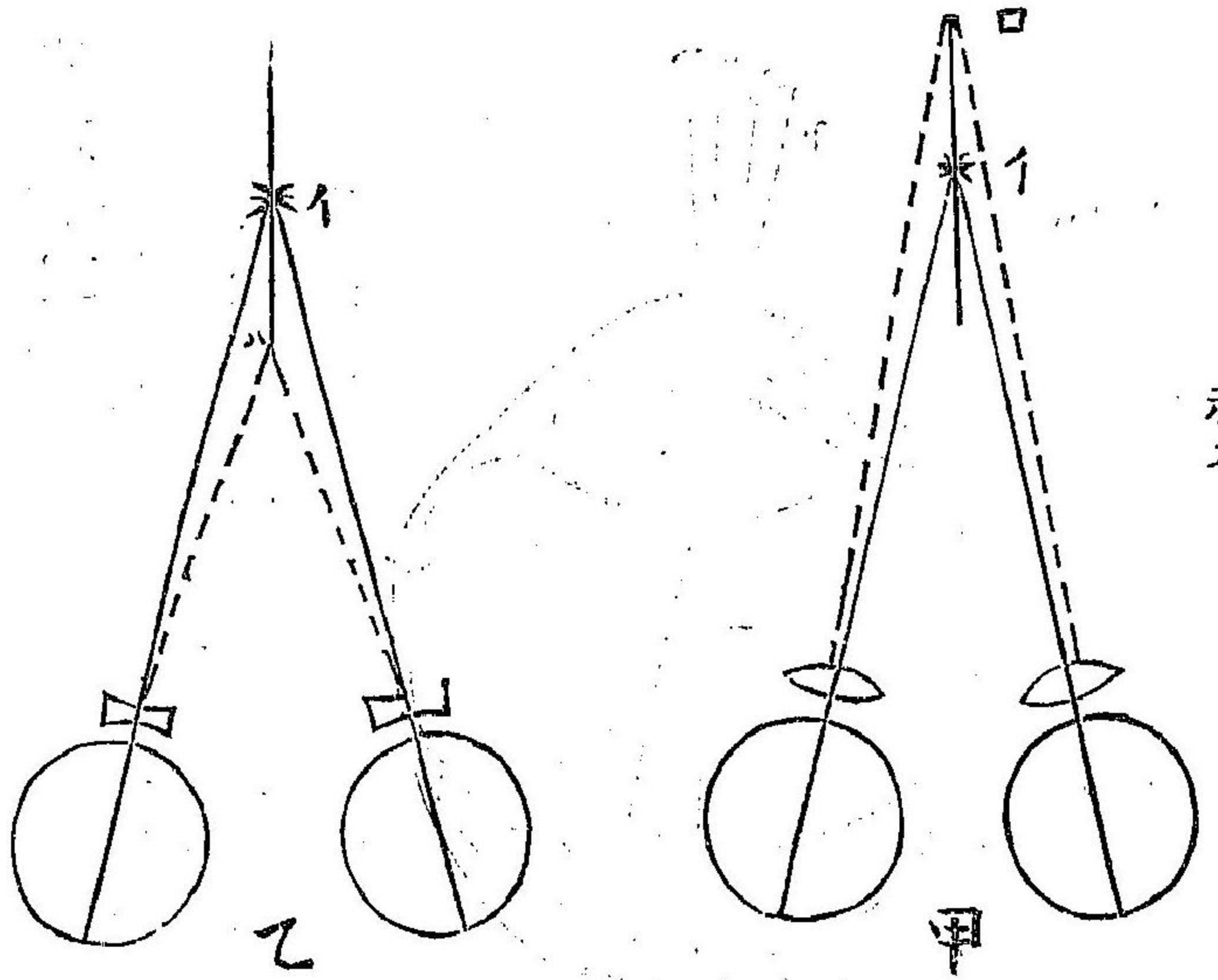
第八十八圖



第八十八圖

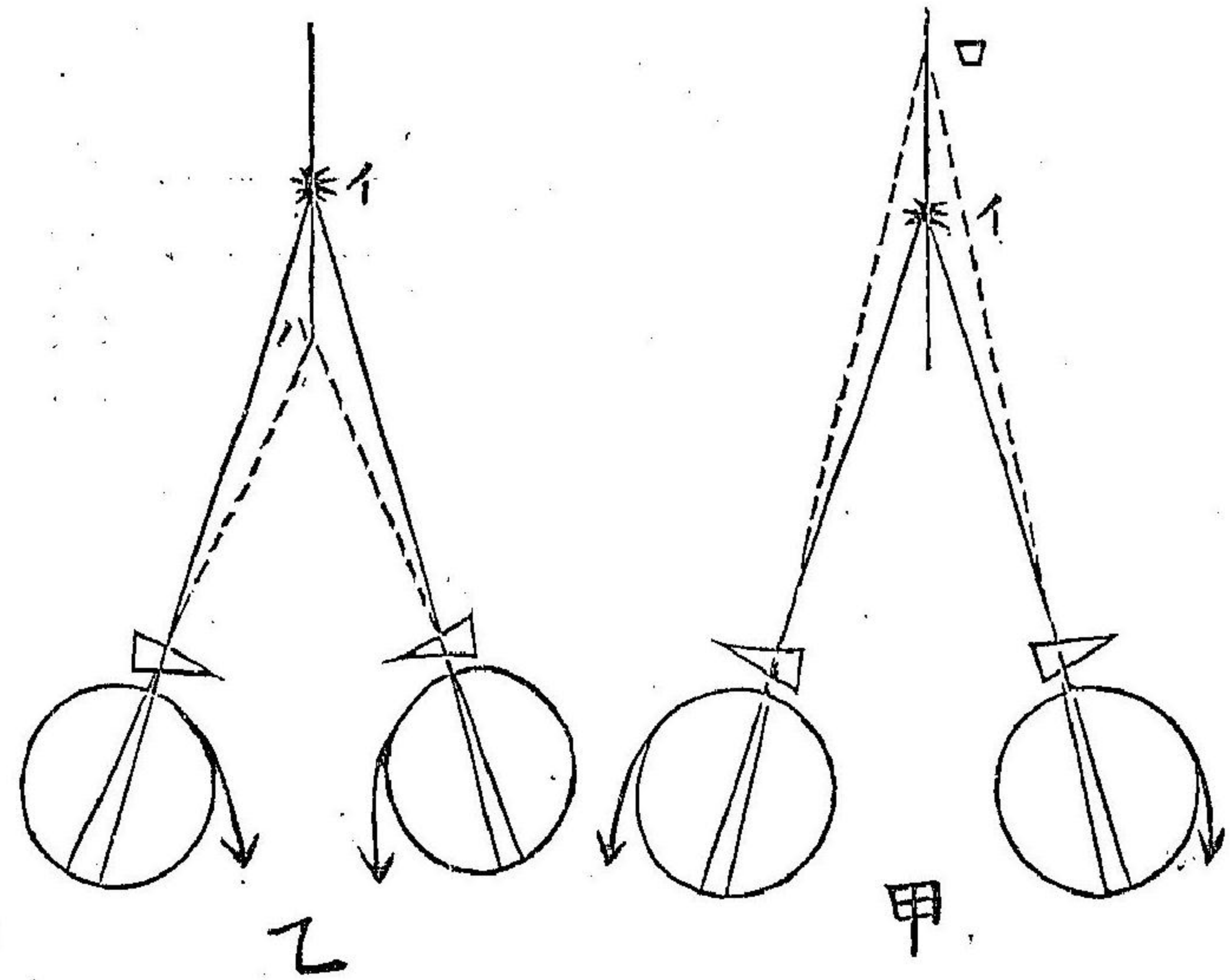


第八十九圖



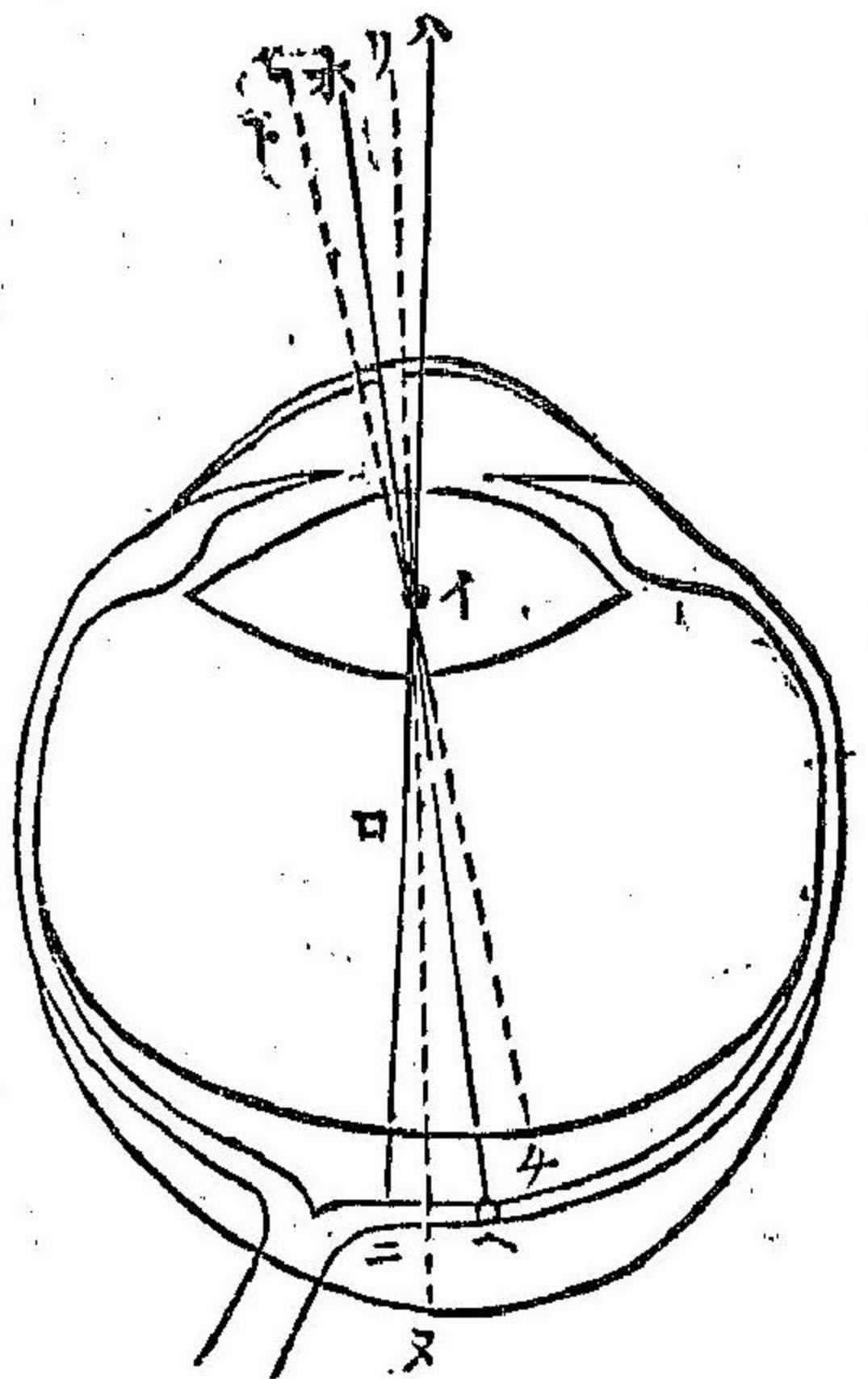
(イ) 固視
(ロ) 調節
凹鏡ニ由リ
示ス

第十九圖



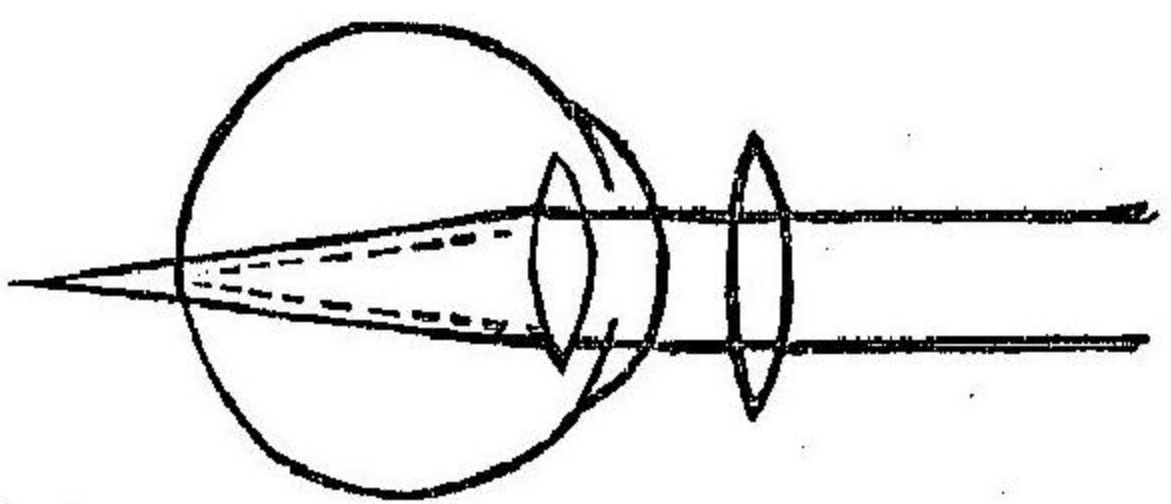
フリスマノ基底チ内方ニ置キ
外方ニ装置シテ
示ス

第九十一圖

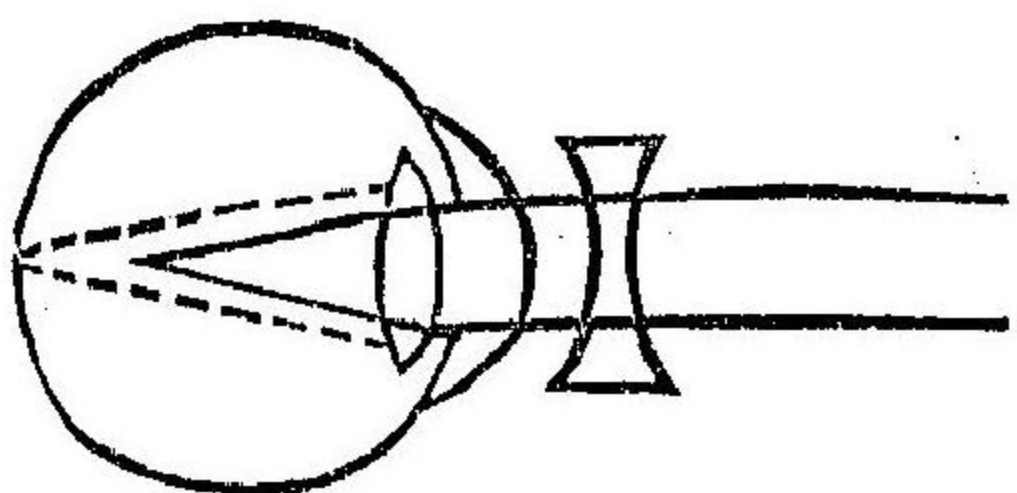


(イ)ハ結合点 (ロ)廻轉点
 (キ)生理的黃斑 (ク)遠視的黃斑
 (カ)近視的黃斑

第九十二圖

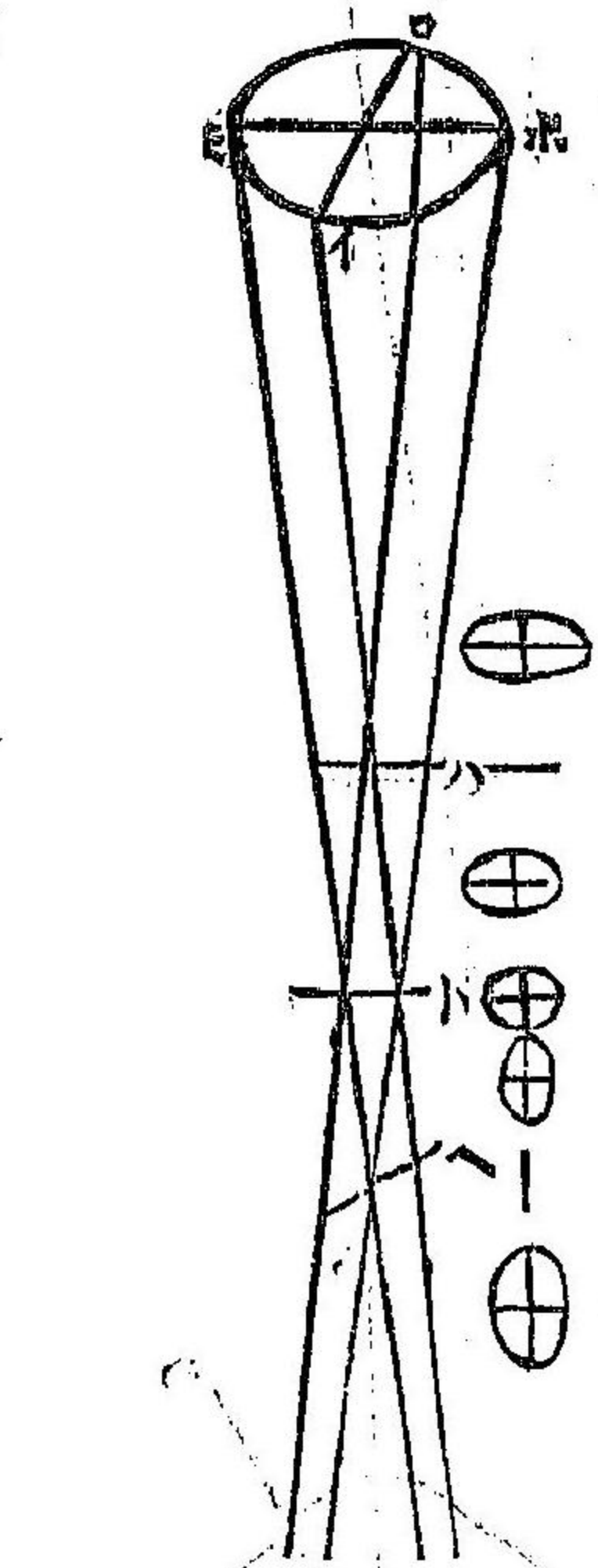


第九十三圖



(ハイニ)ハ眼軸 (ホイ)ハ視軸
 (トイチ)遠視的視軸 (ライマ)近視的視軸

第九十四圖



第九十六圖

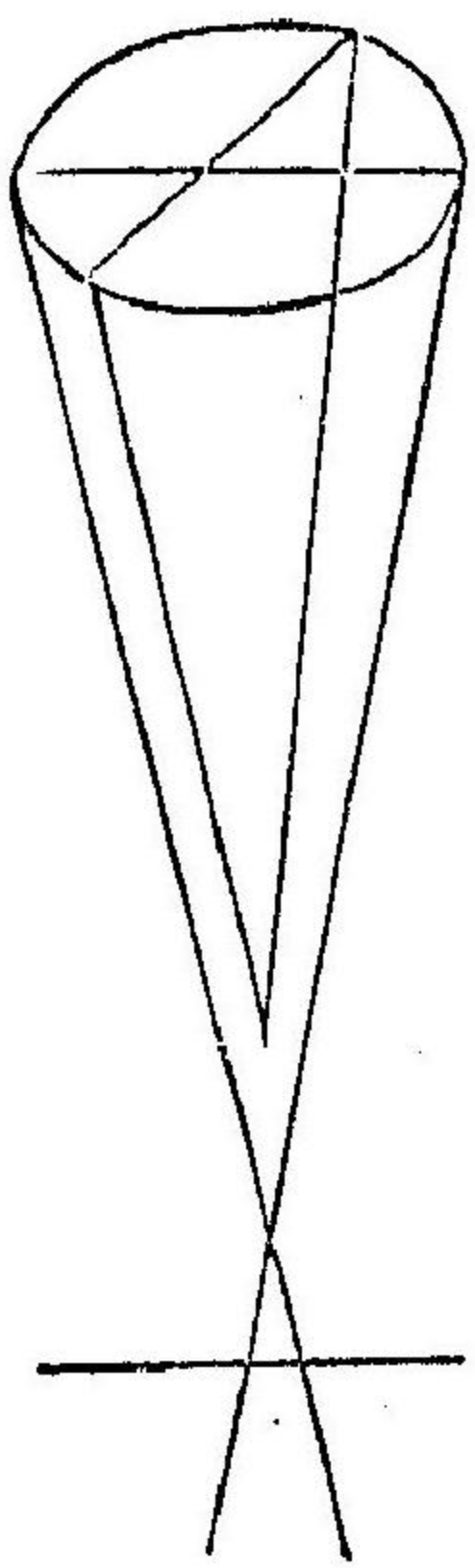
單性遠性亂視ニシテ主經線ハ横ニアリ網膜ハ(ハ)ニアリテ縱線ハ正視ナリ

第九十五圖

單性近性亂視ニシテ主經線ハ縱徑ニアリ網膜ハ(ニ)ニアリテ縱線ハ正視ナリ

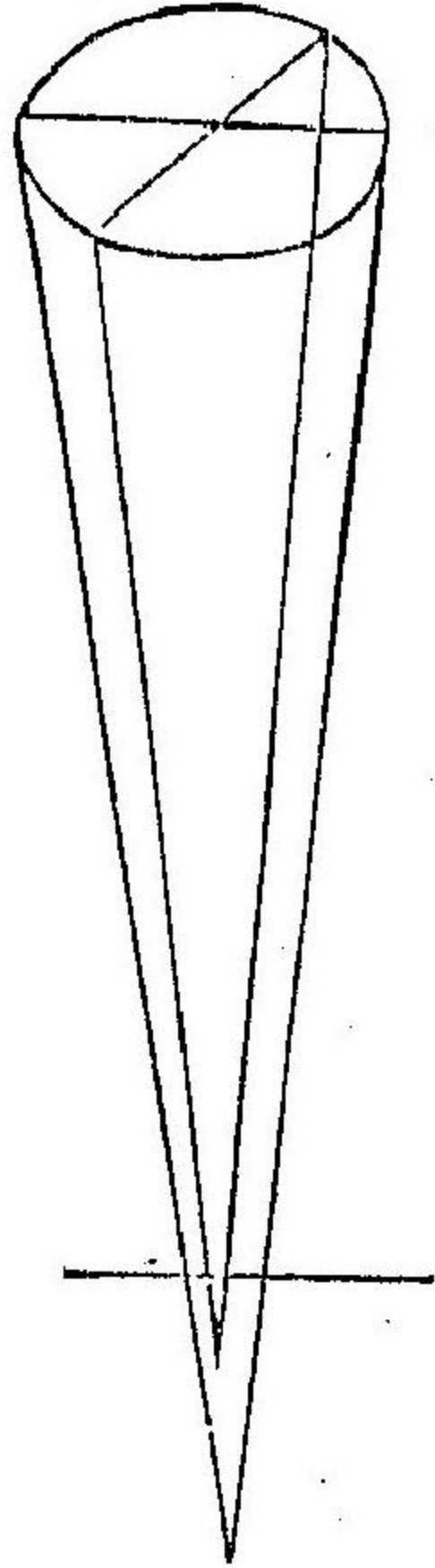
圖七十九第

視亂性近性複



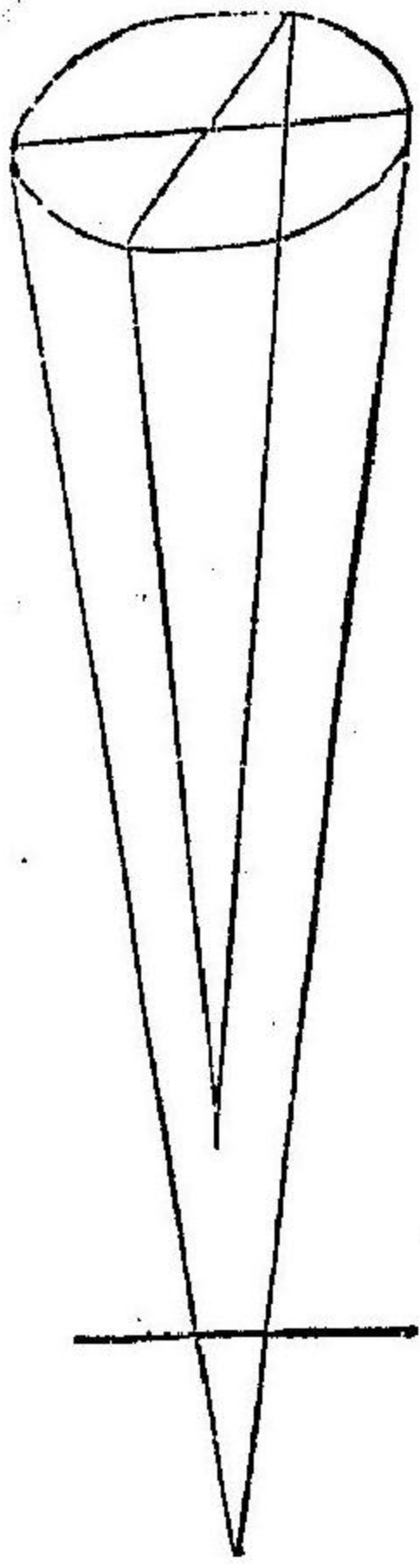
圖八十九第

視亂性遠性複

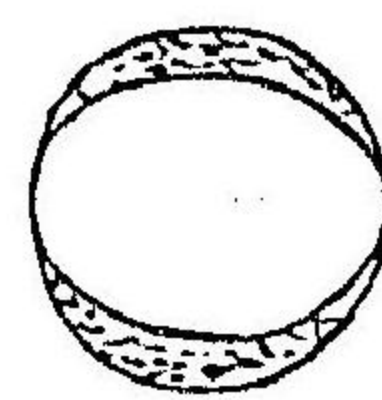
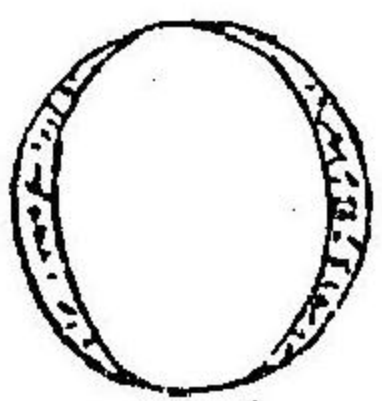


圖九十九第

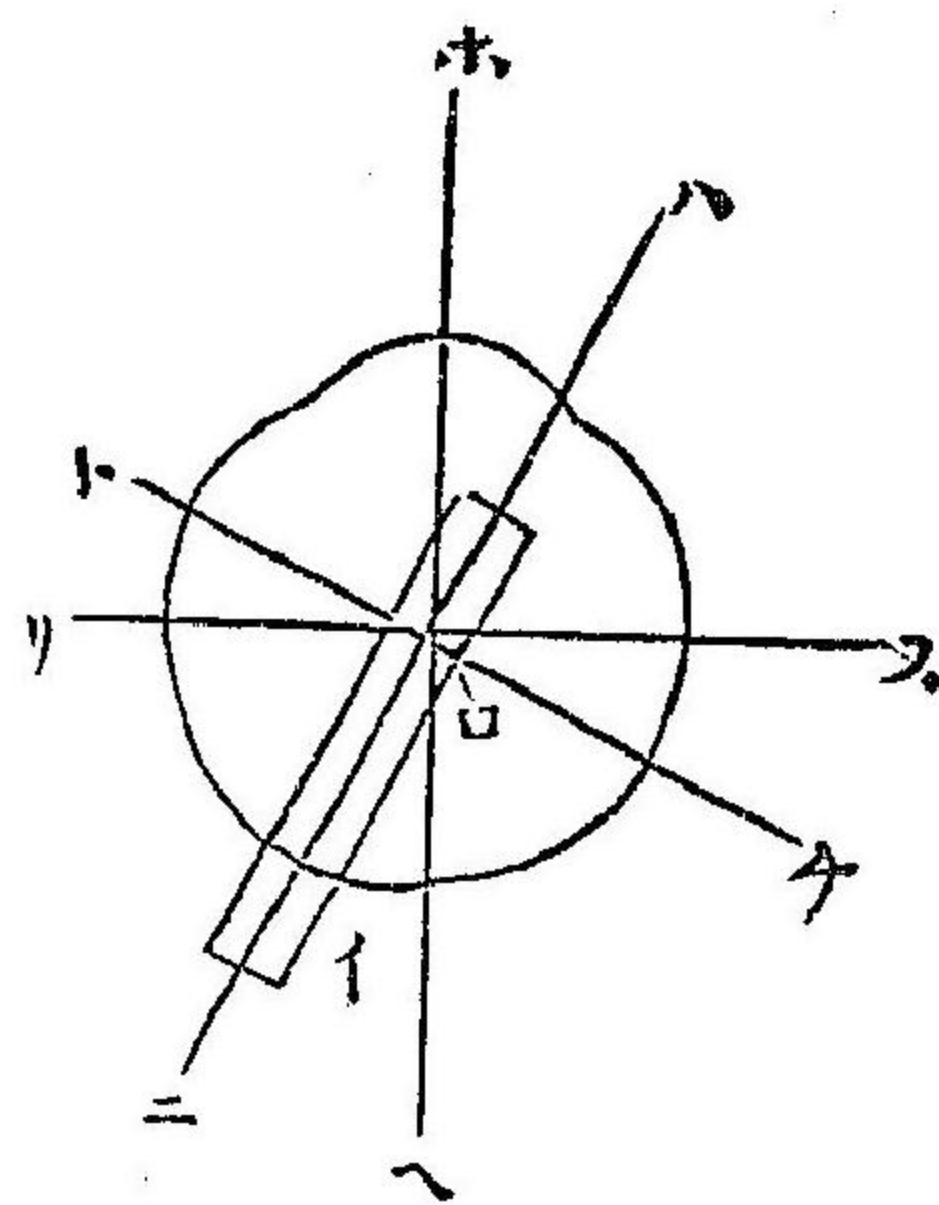
視亂性雜



第百圖

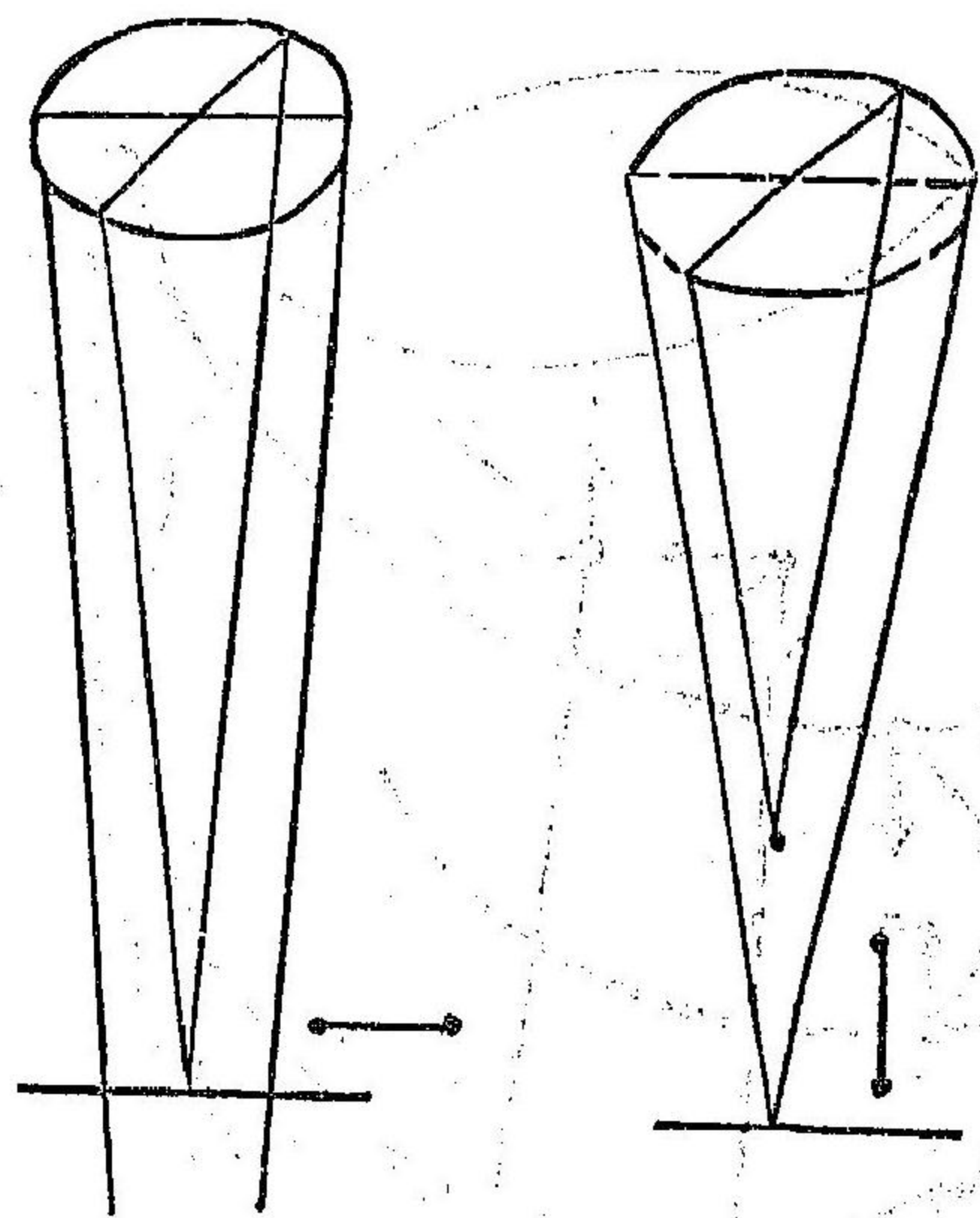


第百三圖



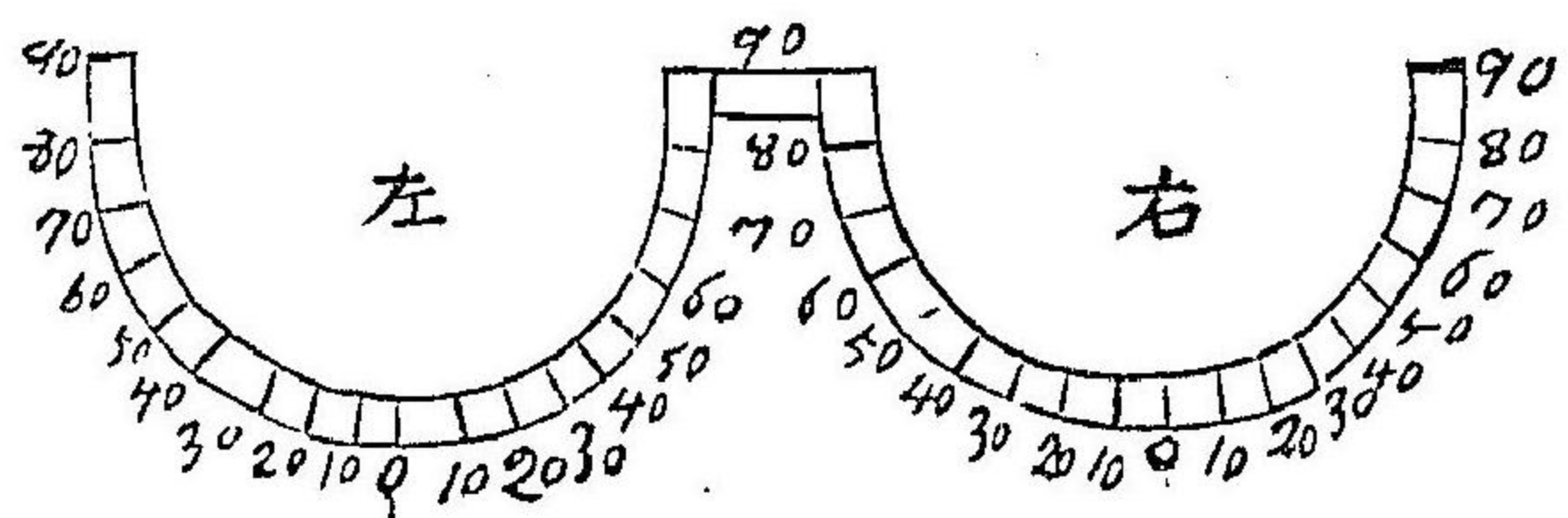
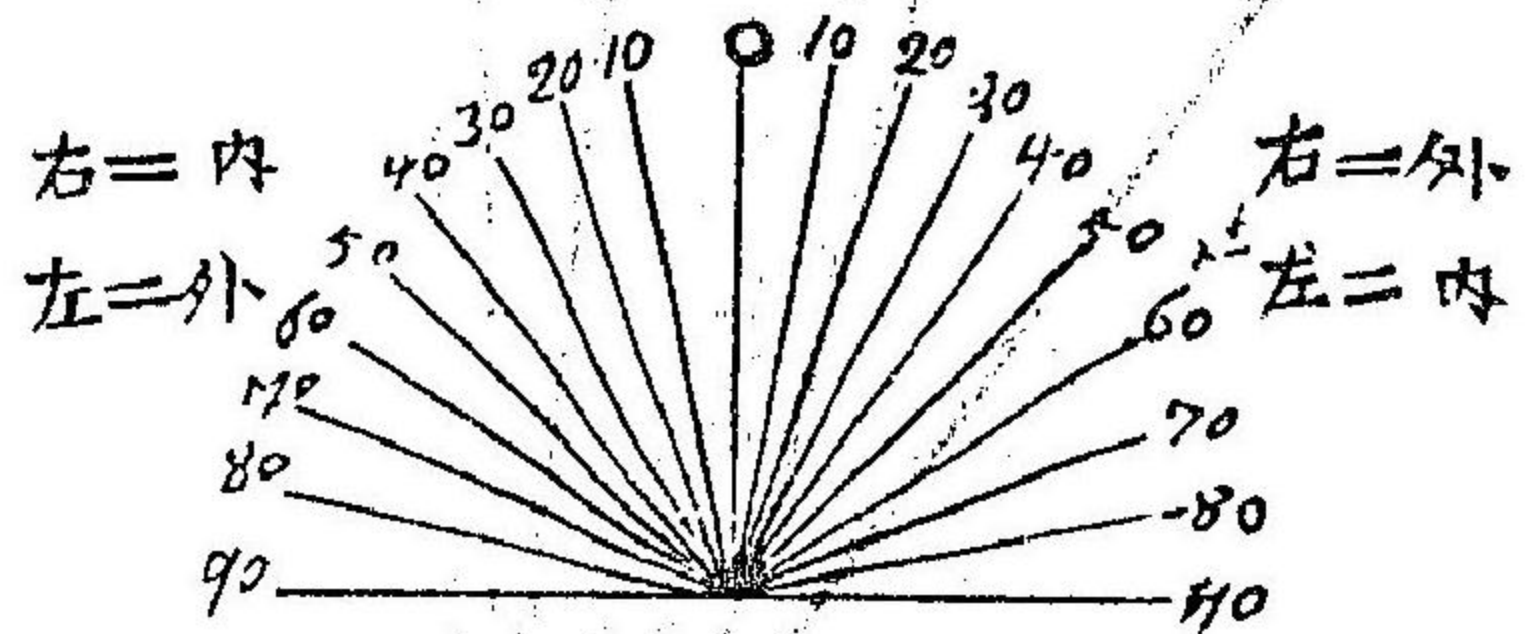
(イ)上直筋(ロ)回轉点
(ハ)筋面(ホ)視軸
(ト)回轉軸(リ)視軸

第百一圖



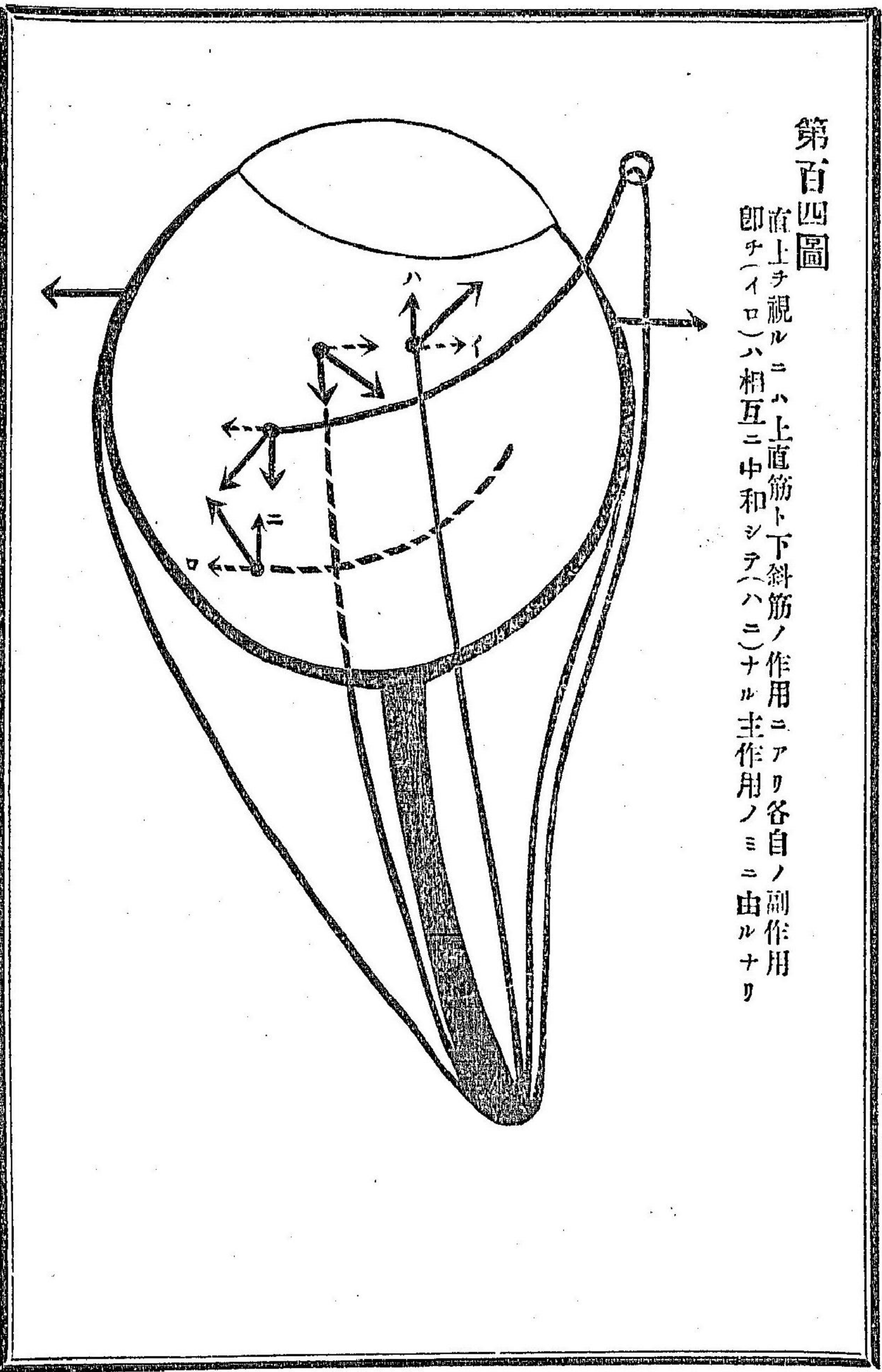
一 縦線明カナレハ横徑線正視ニシテ縦徑線
ニ由テ亂視ヲ起ス由テ主徑線ハ縦徑線
ニアリ之レ明視線ハ主徑線ノ方向ヲ示
メセハナリ
一 横徑線明カナレハ全ク之レニ反スルモ
理ニ於テ同ナリ

第百二圖



第百四圖

直上ヲ視ルニハ上直筋ト下斜筋ノ作用ニアリ各自ノ副作用
 即チ(イロ)ハ相互ニ中和シテ(ハニ)ナル主作用ノミニ由ルナリ

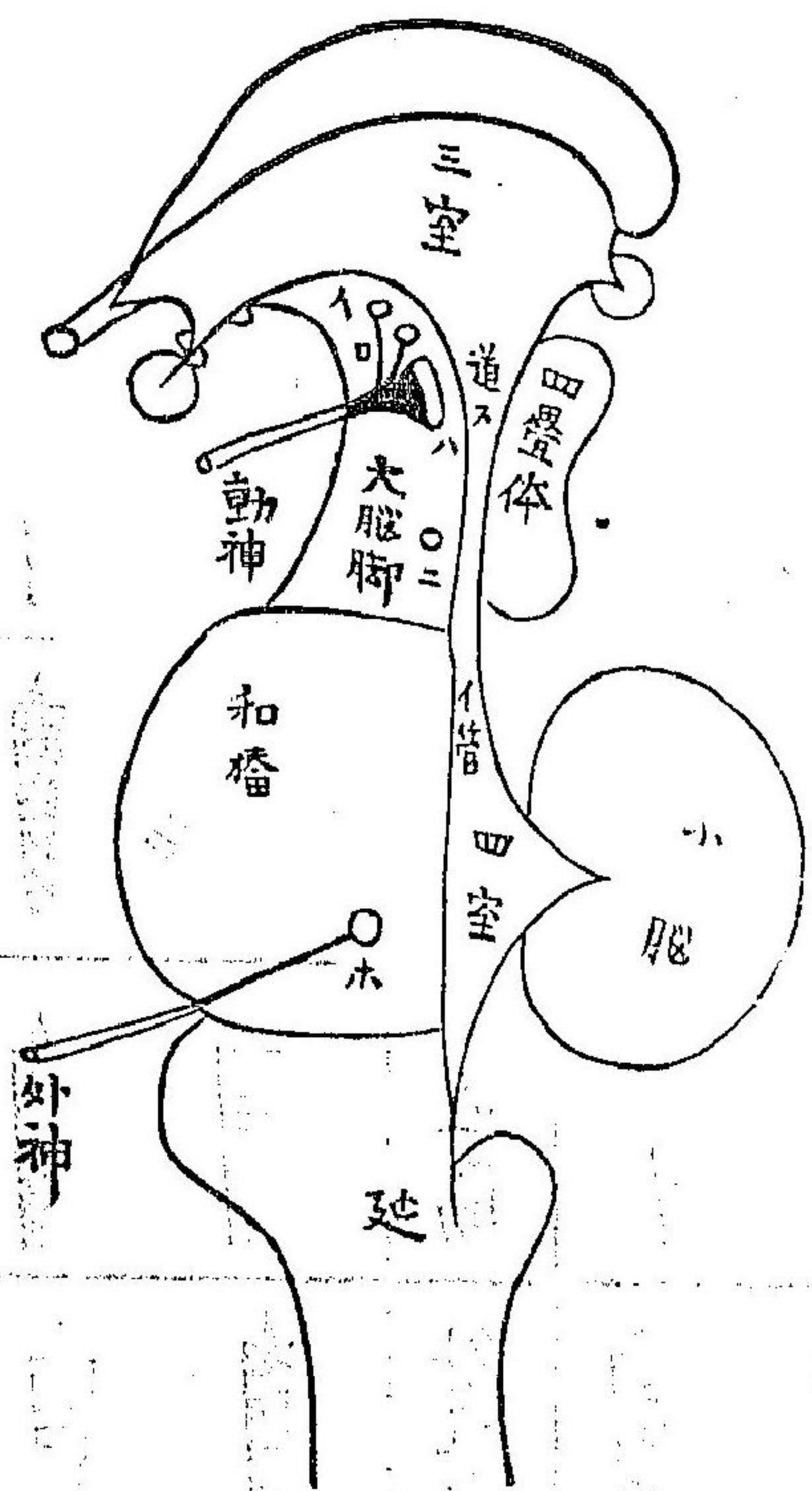


第百五圖

	上斜筋	
	下斜筋	
	下直筋	
	上直筋	
	内直筋	
	外直筋	

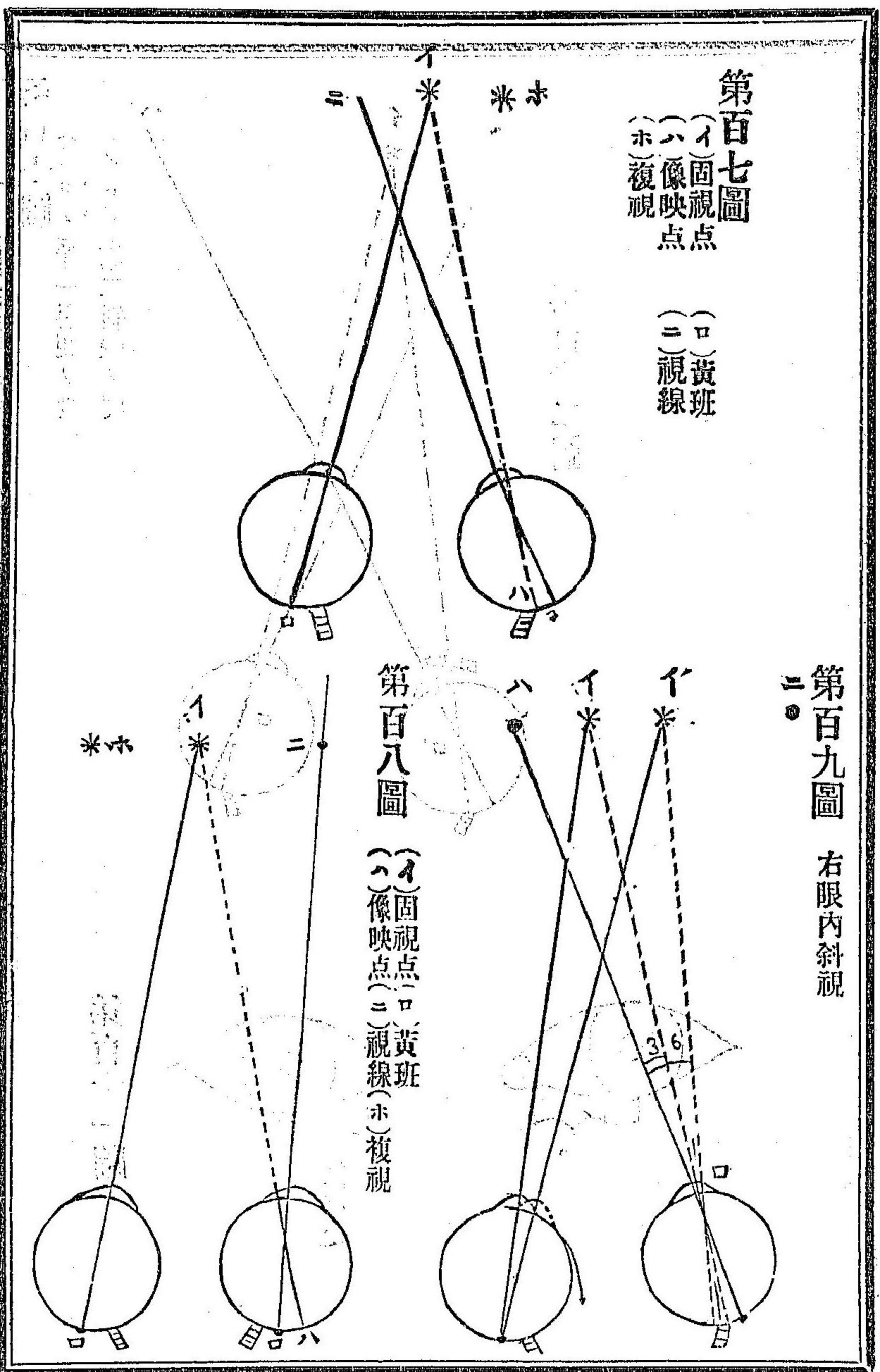
第百六圖

- (イ) 括約神經ノ核
- (ロ) 毛様神經ノ核
- (ハ) 麻痺スレハ外眼筋麻痺(イロ) 麻痺スレハ内眼筋麻痺ス
- (イロハ) 動眼神經ノ核
- (ニ) 滑車神經ノ核
- (ホ) 外轉神經ノ核



第百七圖

- (イ) 固視點
- (ハ) 像映点
- (ホ) 複視
- (ロ) 黄班
- (ニ) 視線



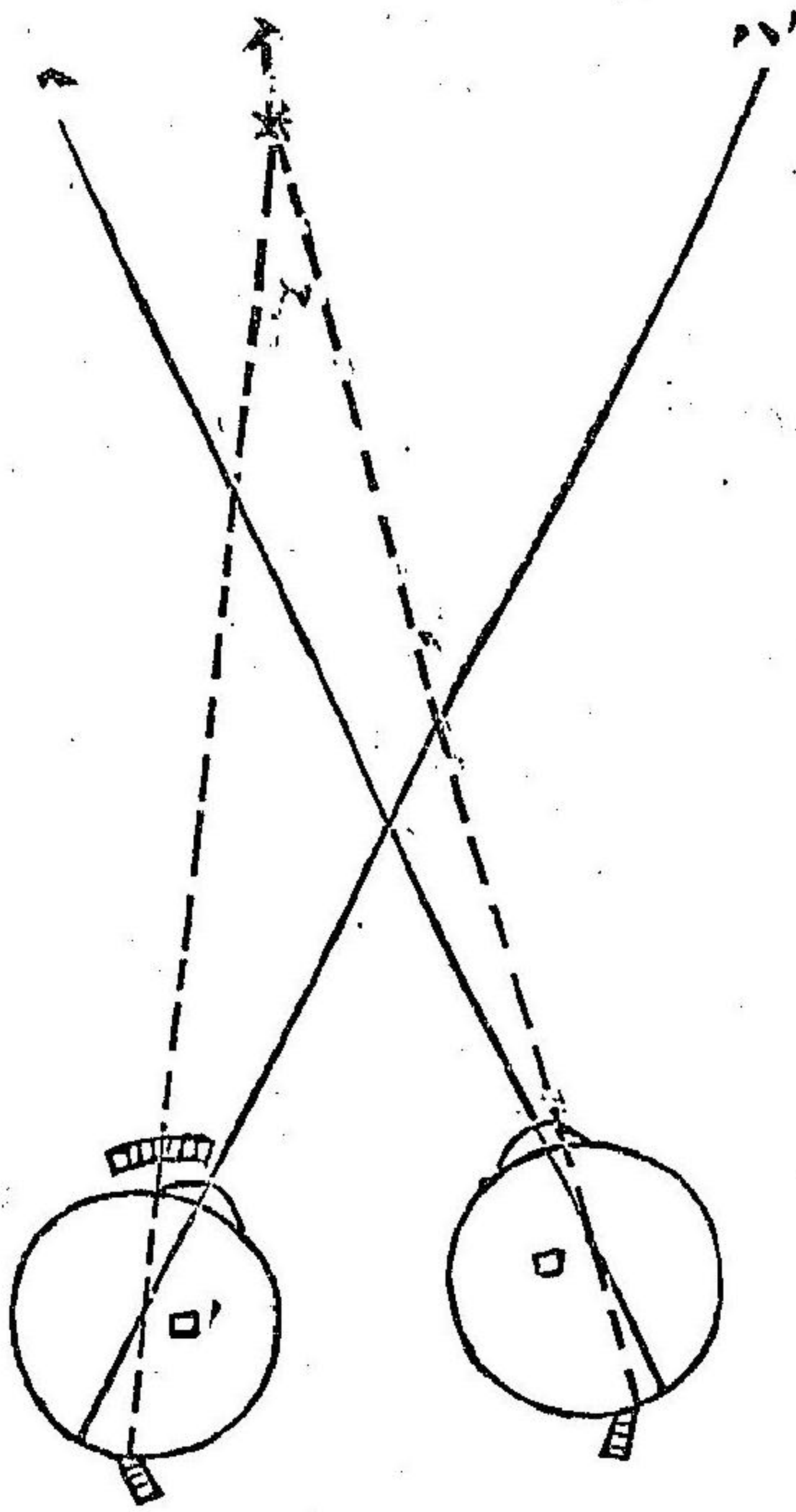
第百九圖 右眼内斜視

第百八圖

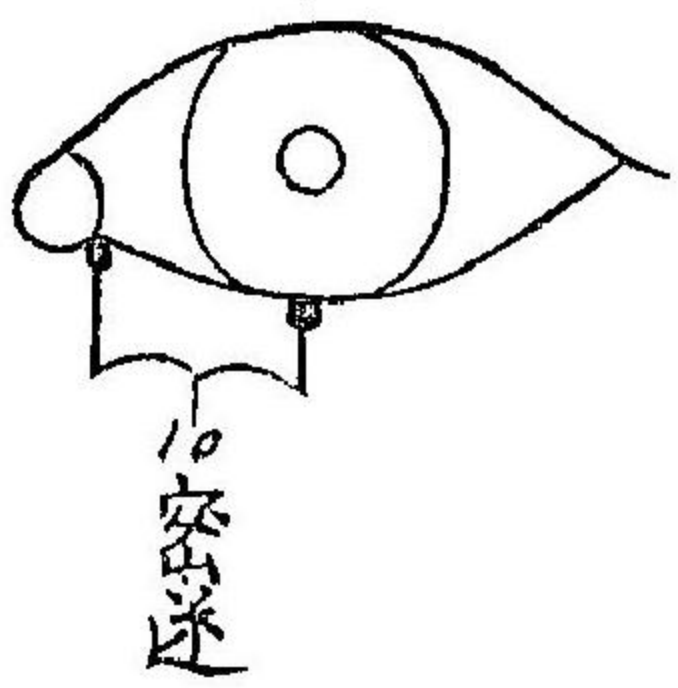
- (イ) 固視點
- (ロ) 黄班
- (ハ) 像映点
- (ニ) 視線
- (ホ) 複視

第一百十圖

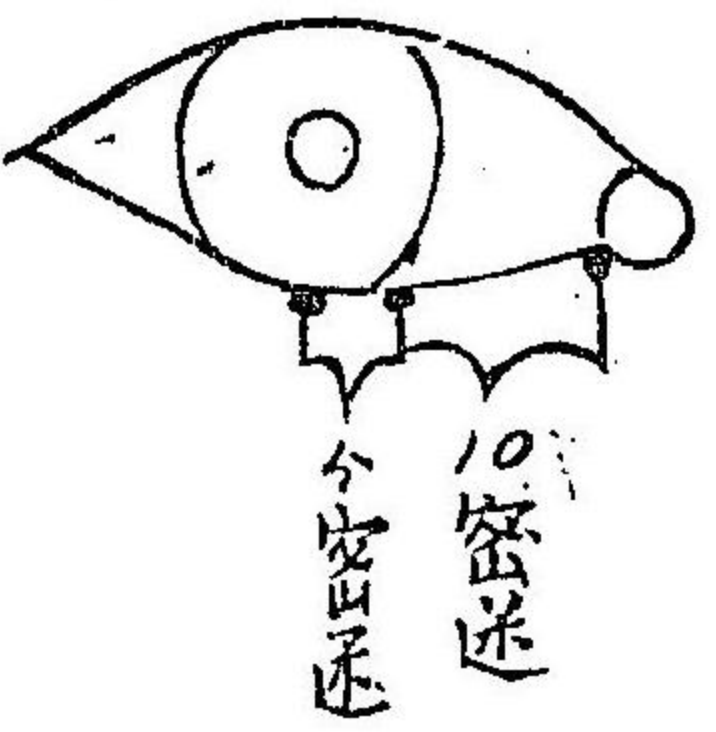
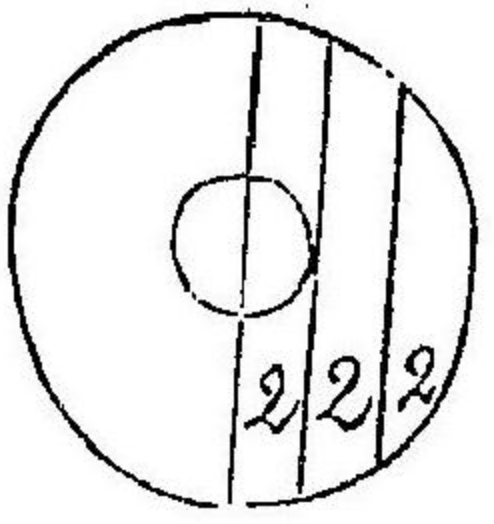
(イロハ)第一斜視ノ度
(イロハ)第二斜視ノ度



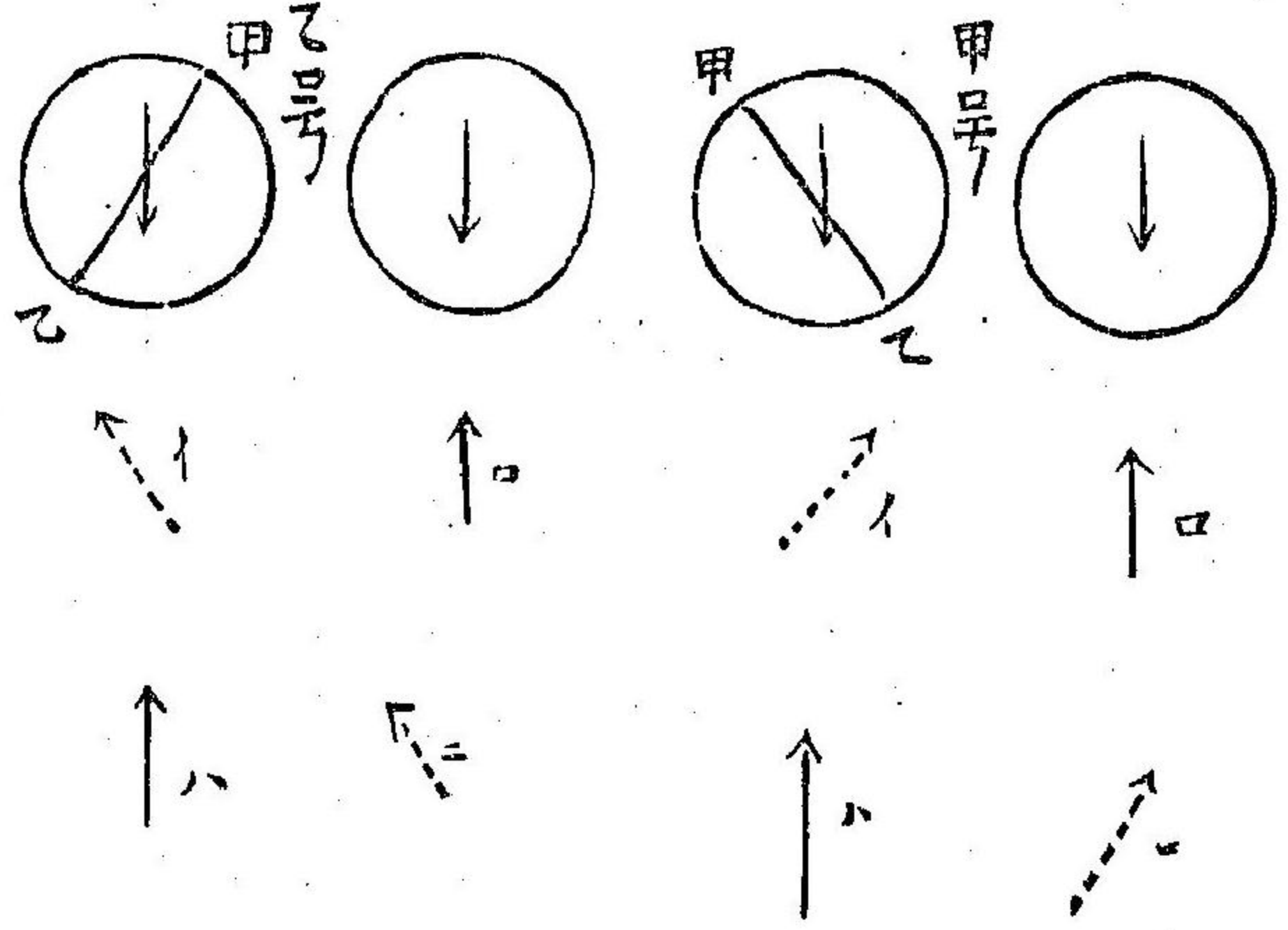
第一百十一圖



第一百十二圖

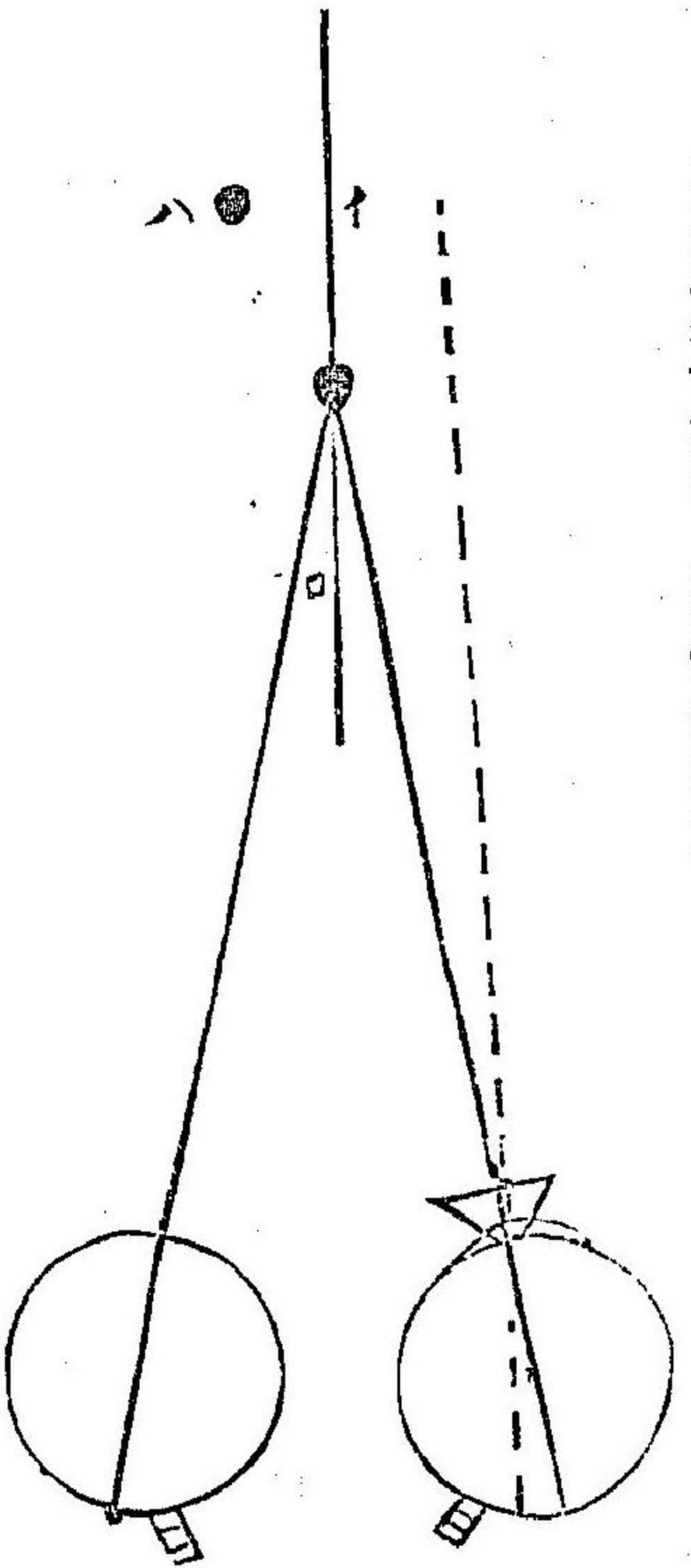


第一百十三圖



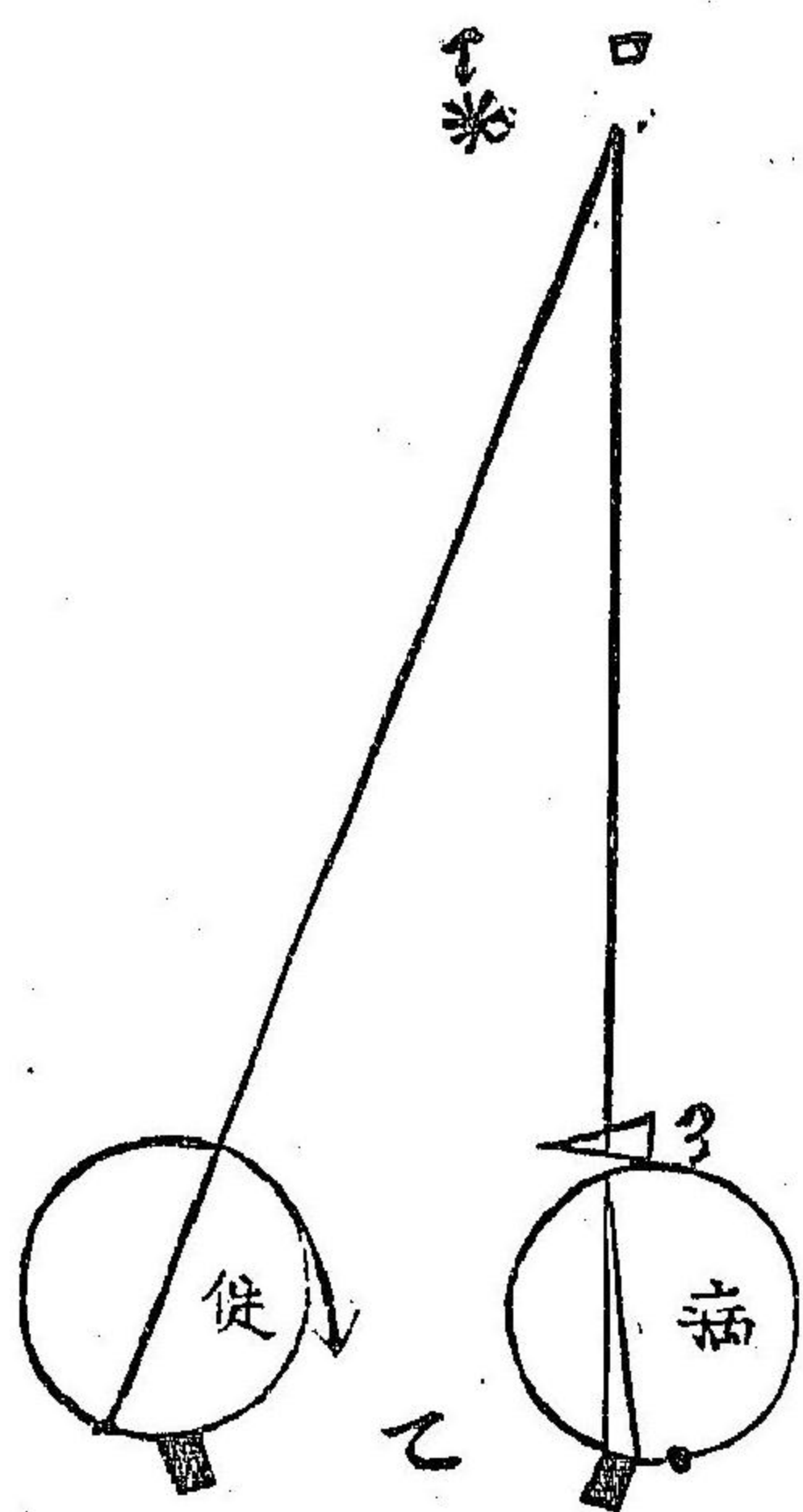
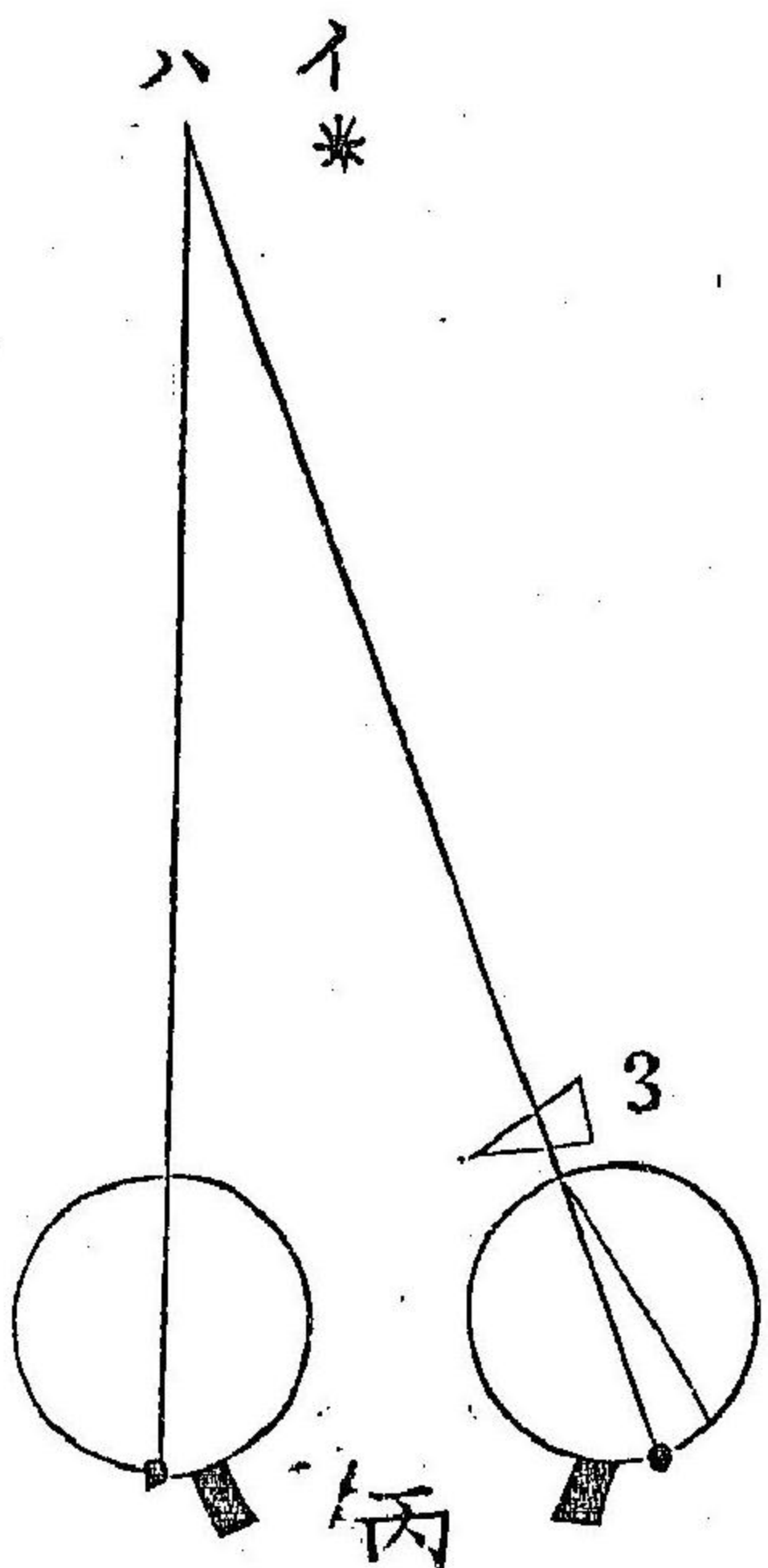
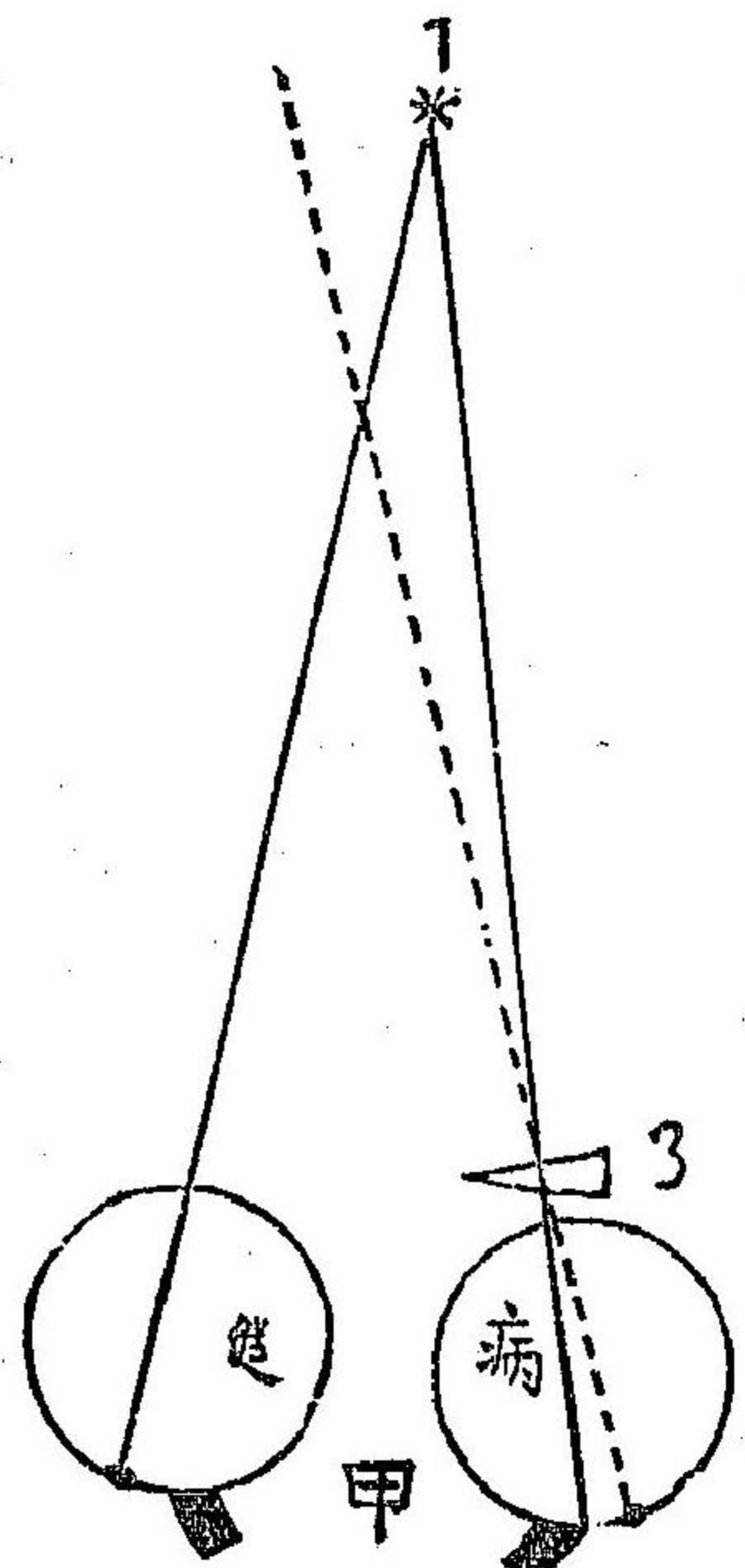
第一百十五圖

内直筋不全即チ潜伏外斜視

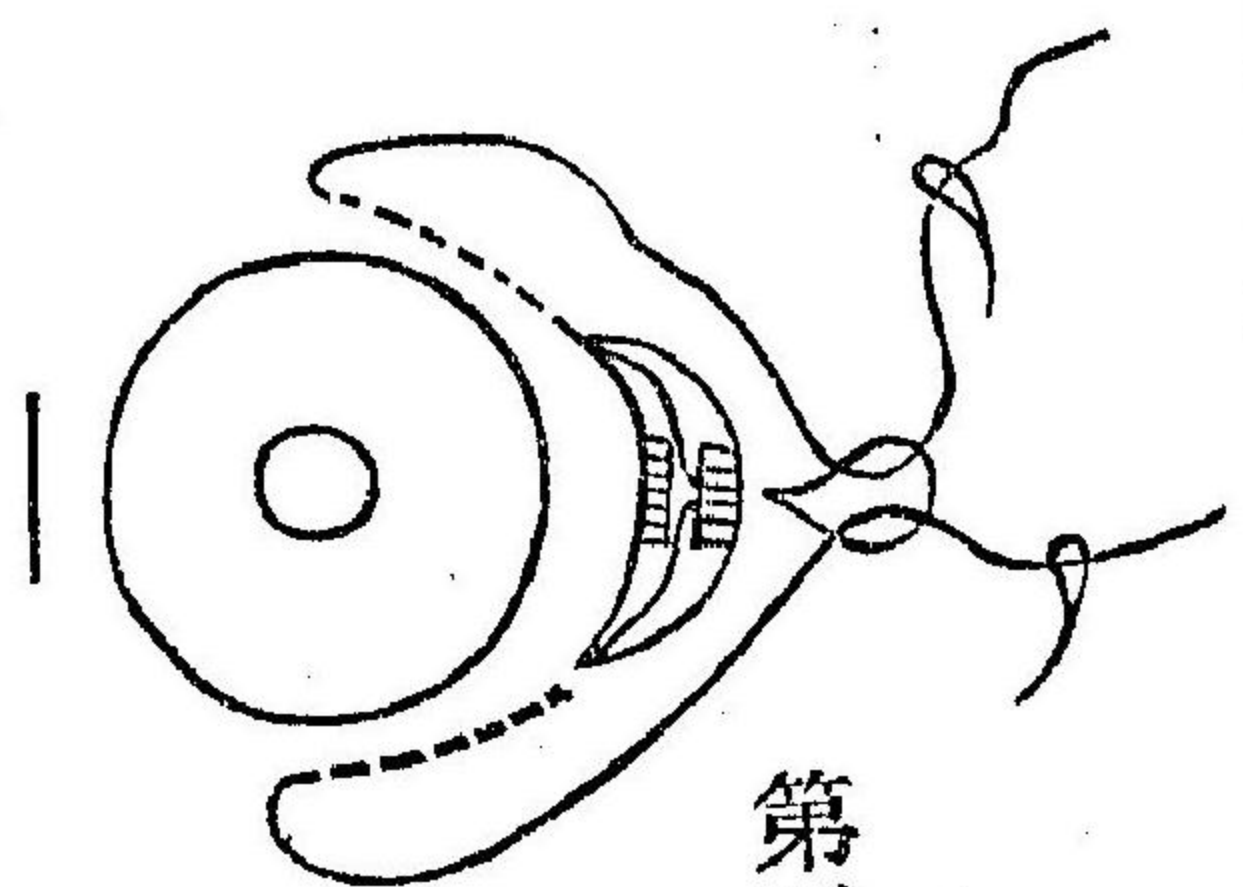
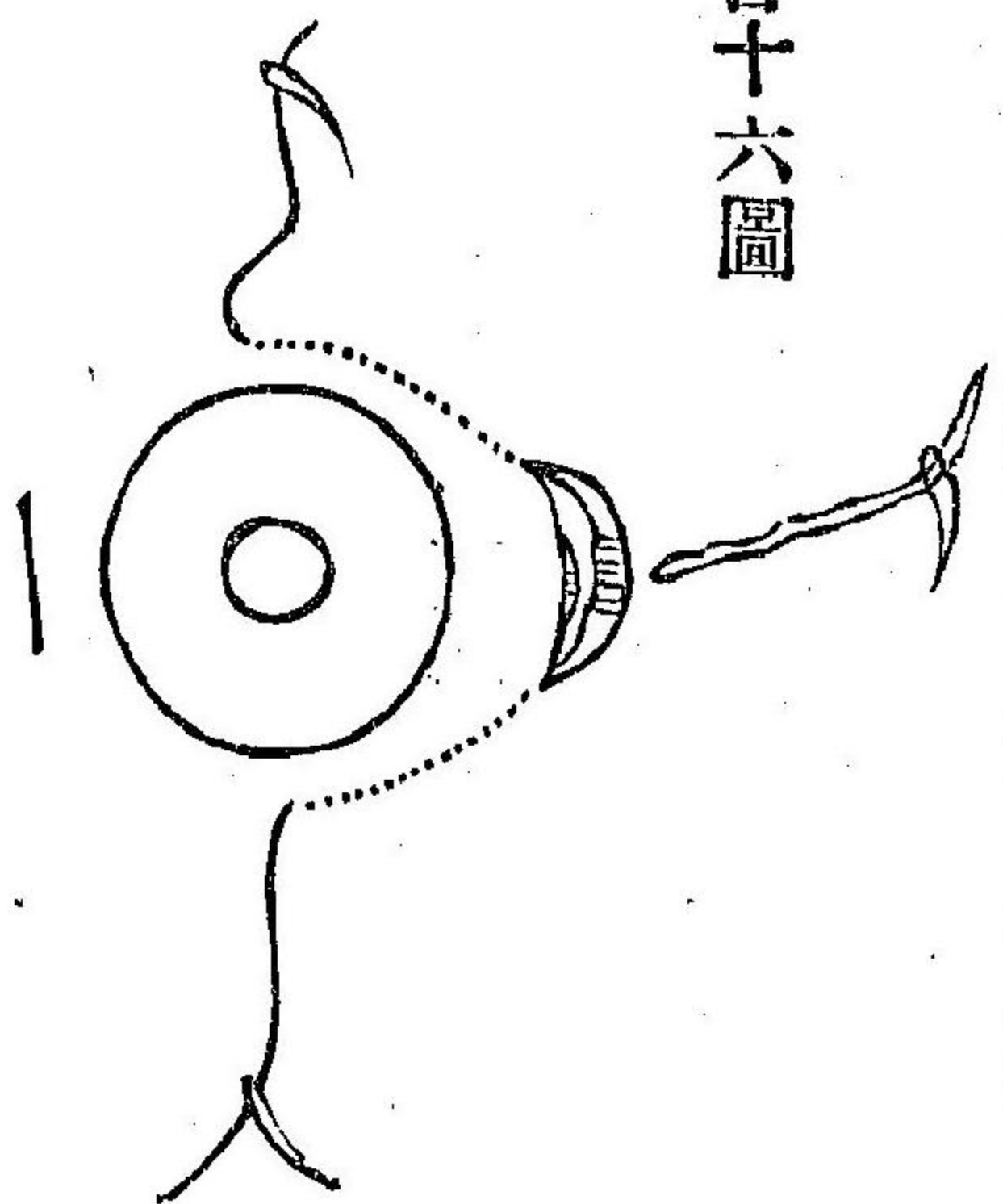


第百十四圖

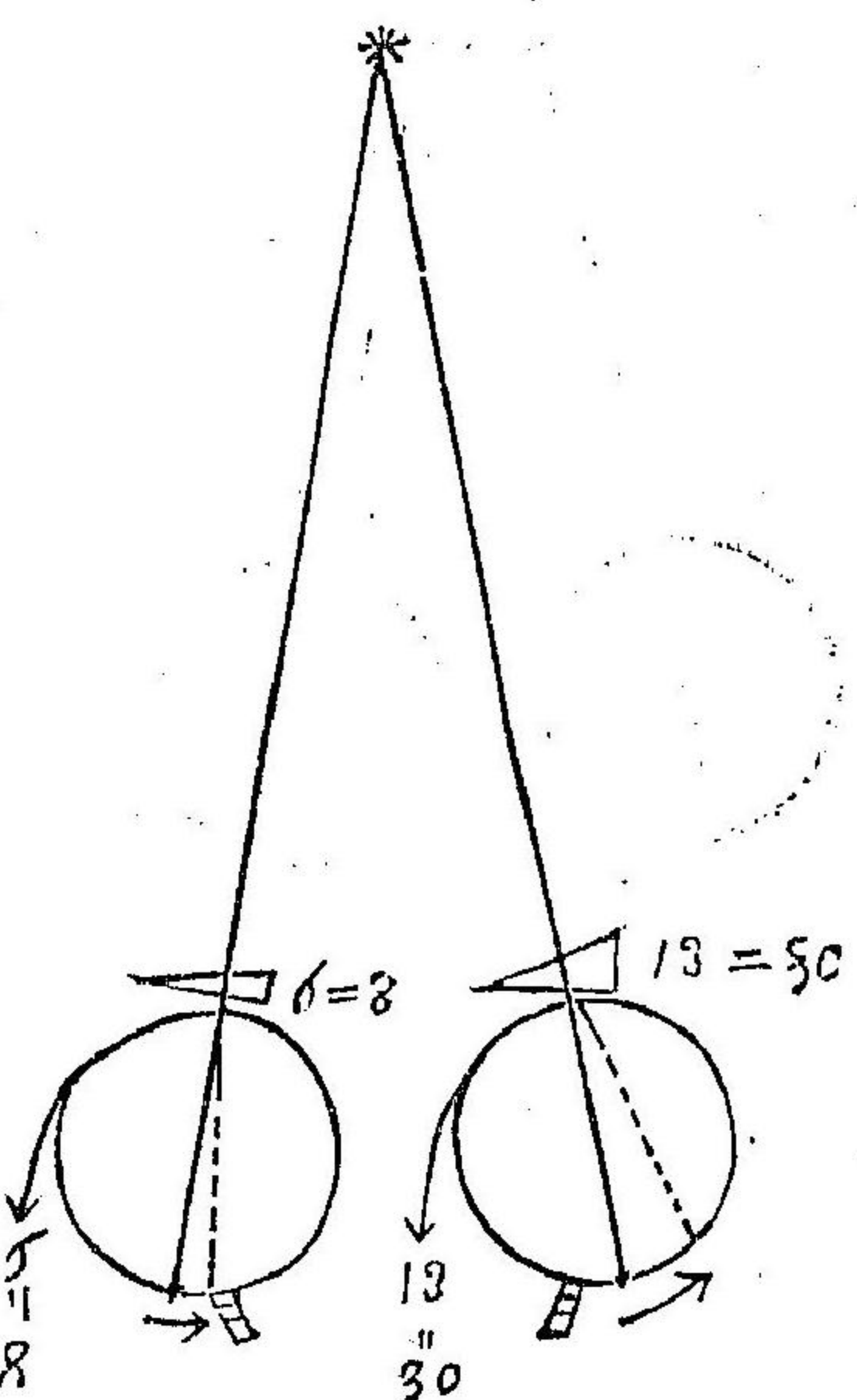
病眼ハ内斜視ニシテ三Dニテ相當スル
モ若シ(ロ)ヲ固視スレハ之ノニテハ
不足ヲ生シ(ハ)ヲ視ルコトハ却テ過ル
カ如シ



第百十六圖

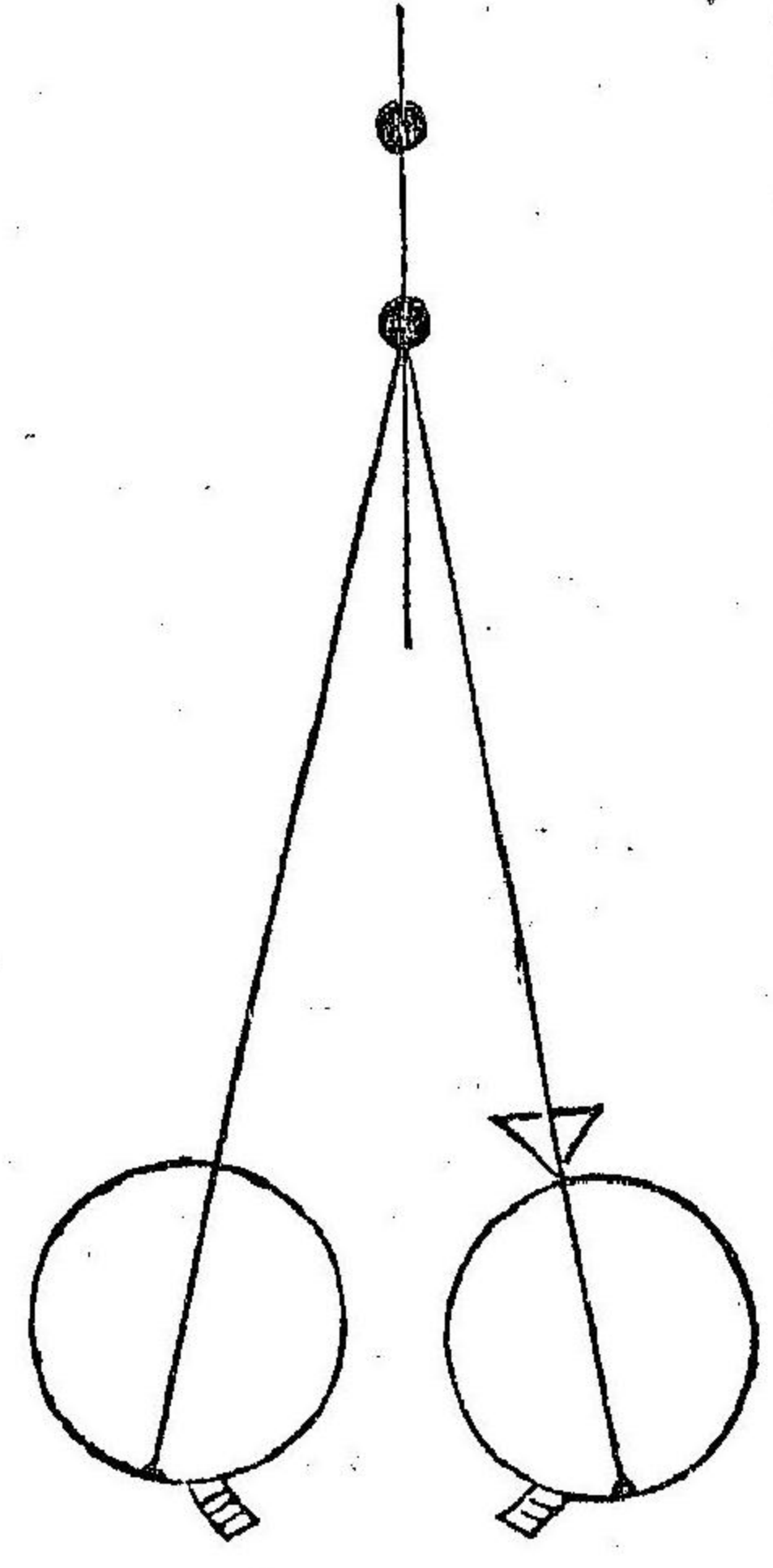


第百十七圖

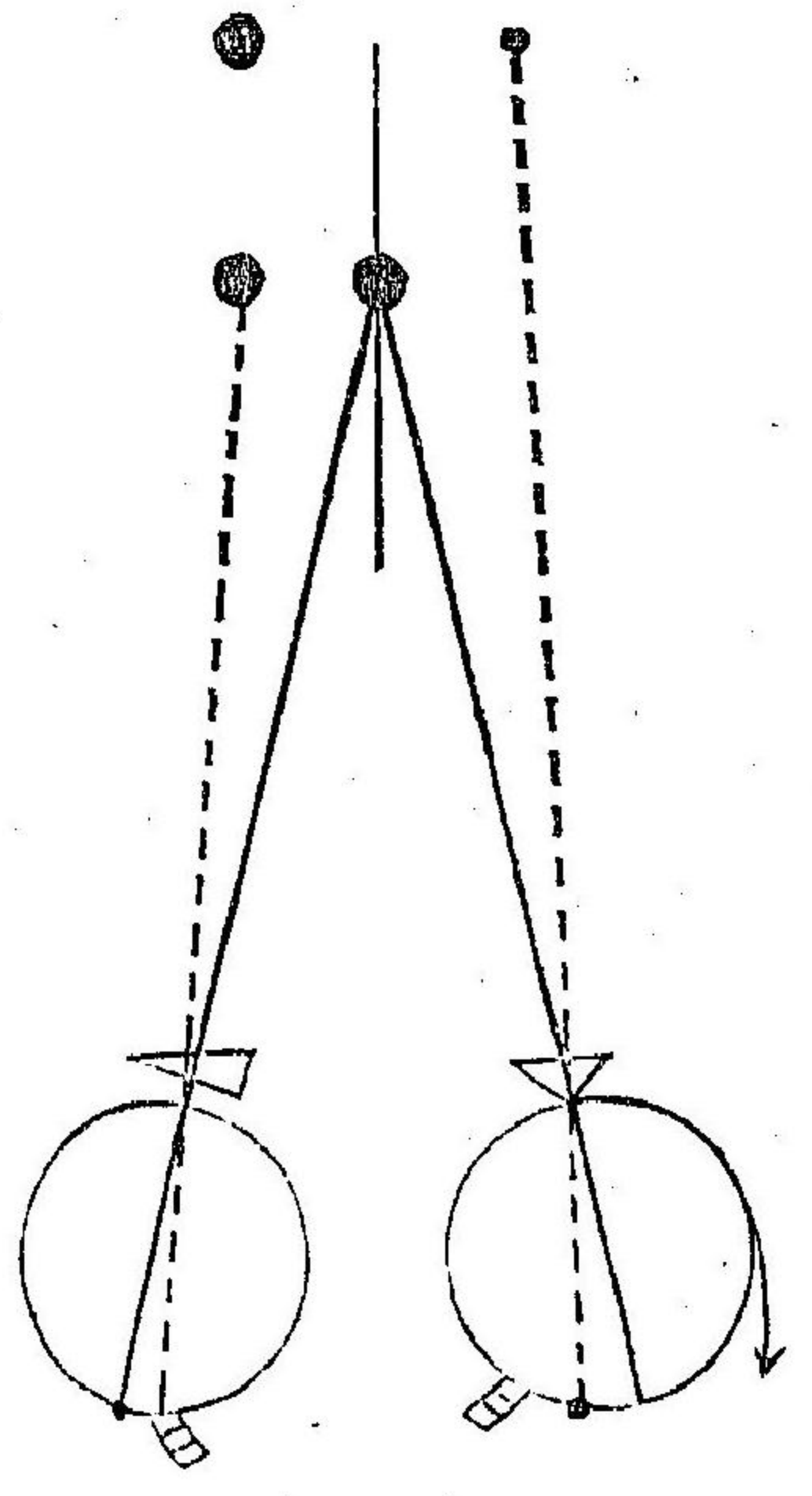


第百十八圖

第一百十九圖



第一百二十圖



明治三十二年十二月二十日印刷
明治三十二年十二月二十五日發行

(非賣品)

著者
發行者

宮内重志

大阪市南區大和町百二十五番邸

印刷者

前田菊松

大阪市南區纏谷東之町百七十五番邸
周濠社支店

百十七	十二	二	瞳	暗
百十七	十二	三	内	因
百廿二	七	九	陸	隆
百三十四	七	二五	録	線
百三十五	十三	三十	ナ	=
百卅五	十四	二十	内障害眼力	内障限力
百卅七	一	十五	瞳	腫
百卅七	一	十七	瞳	腫
百卅九	十四	廿一	線内障ノ線ハ	腫
百四十	十一	廿二	様	腫
百四十	三	十	瞳	腫
百五十二	七	廿六	(三)	腫
百五十六	五	一ヨリ三迄	スノ下ニ	腫
百五八	二	三十	スノ下ニ	腫
百五八	四	一ト二	スノ下ニ	腫
百五八	二	一ト二	スノ下ニ	腫
百六十	四	一ト二	スノ下ニ	腫

百六十一	四	十六七	ナリ	ナク
百六十三	九	八九	之レ	之レニ
全	二	十二	線	線
全	十一	十六	ノノ下ニ	或ハ局處性ノモノ猶ホ進テ一般ノモノ
全	一	三十三四五	剝セ離	剝離セ
百六十四	七	三十三	給	結
百六十七	三	廿三	=	便
百七十一	一	十	辨	載
百七十三	十二	三十	載	蛋
百七十六	七	一	網	班点状
百八十一	七	八九十一ノ四字	班点状	班点状
百八十四	十三	十五以下	眼花閃發浮動視彩視症	眼花閃發浮動視症彩視症
百九十四	十	十	變	變
百九十六	十三	十六ヨリ廿マデ	變症、視症	症、變視症
二百二	十三	二ヨリ五ニ至ル	諸ノ原因	諸般ノ原因
二百八	七	廿一	青赤線	綠赤青
二百八	一	三	他	自
二百十二	九	二十五ノ下ニ	他	或ハ久シク之レヲ

二百七十七	六	十四五六	沃劍鐵
二百二十	八	十三	如シ
二百二十一	十三	二十	經
二百二十二	九	十二	定症
二百二十六	九	三十四	種々形
二百三十	二	十	種々形
全	三	一	者
二百三十三	五	三十二	定ノ症
二百四十	七	三十三	種々ノ形
二百四十一	四	五	ハ
二百四十五	七	三十五	隔
二百五十五	十一	十一	内ヲ加入
二百六十四	八	二十三	時
二百六十五	四	三十四	愈
二百七十八	二	全行	亡
二百八十	十四	十二	箝
二百八十二	六	二十二	二號活字ト知ルベシ
全	七	十六	(二二二) (ホホ)

二百八十五	九	十六	テ
二百八十七	一	四	理
二百八十八	四	二十	八
二百九十	一	二	眼線ト視線
全	十四	二十八	三十仙透(十二)
二百九十三	一	九	縁
二百九十六	八	三十三	直
三百	一	十	起
三百一	十一	二十九	(イ)
三百二	四	一	(イ)
三百五	六	一	(二)
三百五	八	十三	二
三百十八	十二	十七	險
三百十九	三	二十	尙一字加フ
三百二十一	十三	三十	シ
三百三十九	八	十三	先キヌス
三百四十七	二	十一	(イ) 筋

明治三十二年十二月二十日印刷
明治三十二年十二月二十五日發行

(非賣品)

著者
發行者

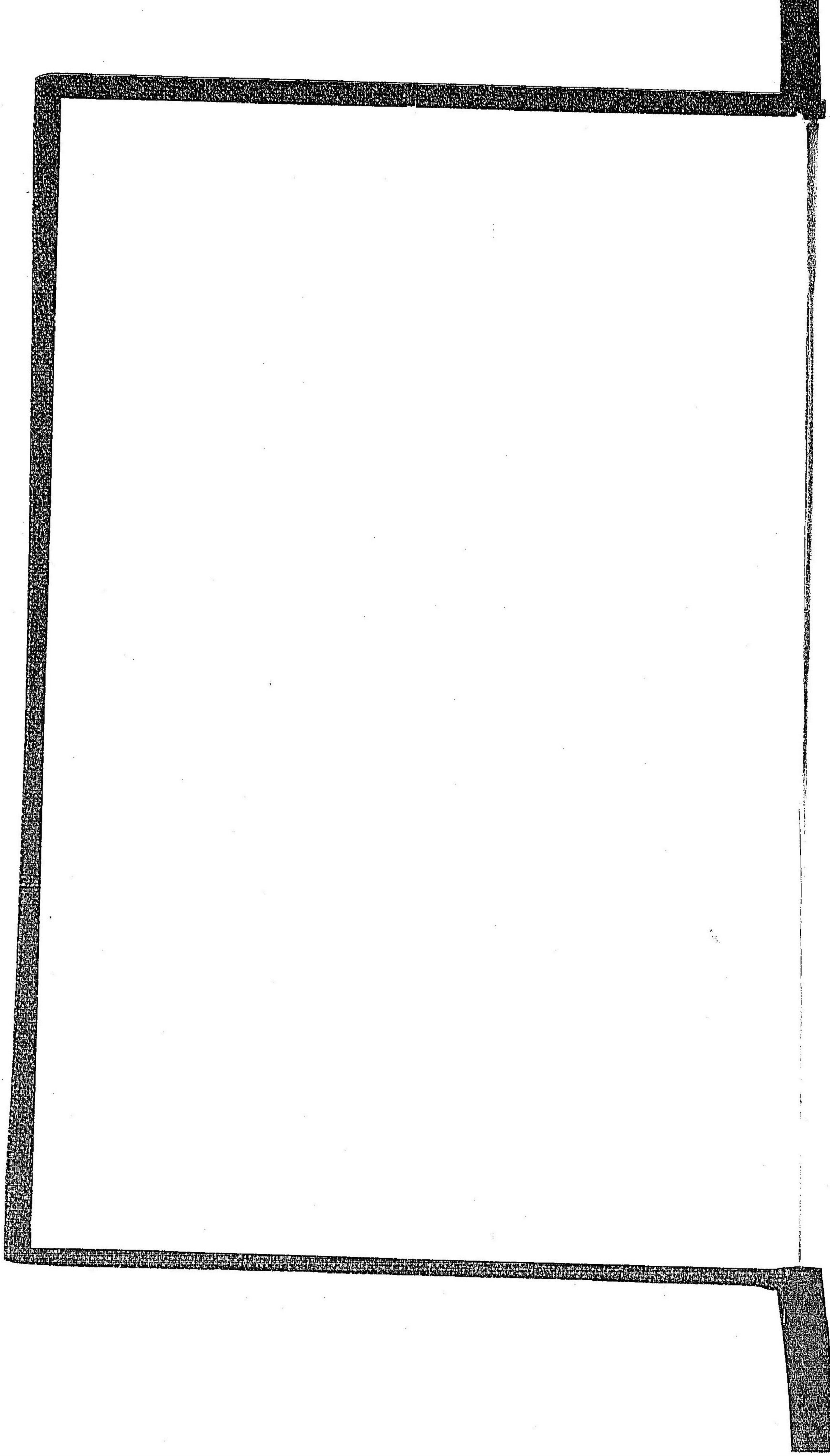
大阪市南區大和町百二十五番邸

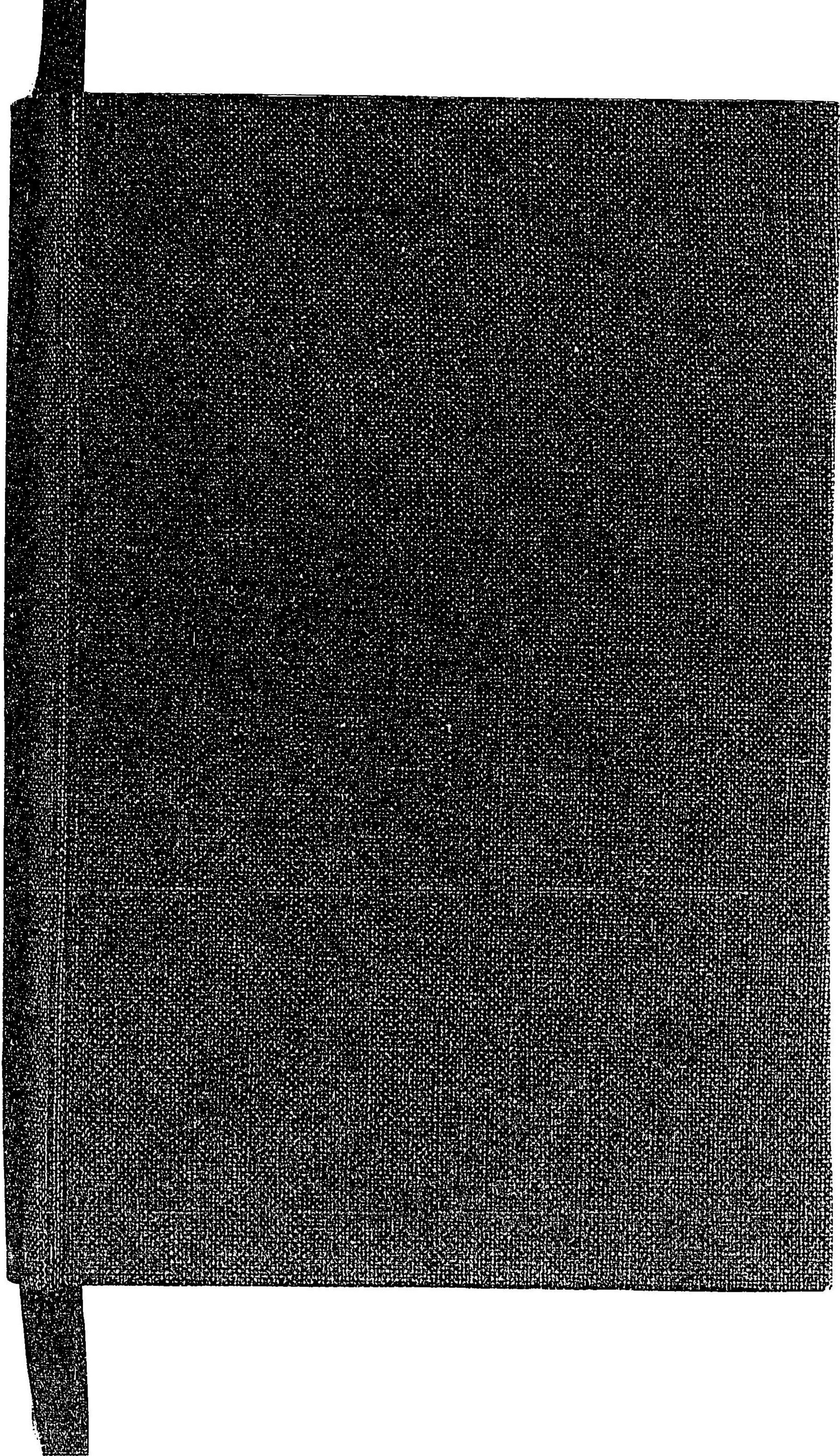
宮内重志

印刷者

大阪市南區澁谷東之町百七十五番邸
周渡社支店

前田菊松





55
23

060001-000-3

55-23

眼科学講義

宮内 重志 / 著

M32

CBJ-0031



